

User Manual

PTZ Network Camera



V1.02

弊社製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問やご要望がありましたら、お気軽に取扱店にご連絡ください。

本マニュアルは、ネットワーク上でネットワークカメラを使用・管理する方法について説明しています。ネットワーキングの経験は、製品を使用する際に役立ちます。操作の前に本マニュアルを注意深く読み、いつでも参照できるように保管してください。

本マニュアルには技術的に不正確な箇所や印刷エラーが含まれている場合があります、その内容は予告なく変更されることがあります。更新は本マニュアルの新バージョンに追加されます。本マニュアルに記載されている製品や手順は直ちに改善または更新されます。

著作権表示

本マニュアルは、翻訳や変換など、派生物を作成するためのいかなる形式や手段によっても、複製してはなりません。

カナダ産業省 ICES-003 準拠：



本クラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

安全上の指示

これらの指示は、危険や財産の損失を回避してユーザーが製品を正しく使用できるようにするものです。注意事項は、「警告」と「注意」に分けられます。

警告：これらの警告のいずれかを無視した場合、重傷または死亡に至る可能性があります。

注意：これらの注意のいずれかを無視した場合、怪我や機器の損傷が発生する可能性があります。

	
警告： 怪我や死亡を防止するためにこれらの安全対策に従ってください。	注意： 怪我や物的損害を防止するために、これらの安全対策に従ってください。

警告

- ◆ 設置は有資格のサービス担当者が行い、現地の電気安全規制に厳密に準拠する必要があります。
- ◆ 火災や感電の危険を防止するため、設置する前に製品を雨や湿気から遠ざけてください。
- ◆ ヒートシンク、電源レギュレータ、プロセッサなど、高温になる可能性がある部品には触れないでください。
- ◆ 電源：DC 12VまたはPoE
- ◆ プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- ◆ 本製品を壁や天井に取り付ける場合は、装置をしっかりと固定してください。
- ◆ 製品が正しく動作しない場合は、販売店にご連絡ください。絶対に自分でカメラを分解しようとししないでください。



注意

- ◆ カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- ◆ 極端に高温または低温の場所、ほこりの多い場所、または湿気の多い場所で装置を保管または設置したり、強い電磁波にさらしたりしないでください。
- ◆ メーカーが推奨するコンポーネントおよび部品のみを使用してください。
- ◆ カメラを落としたりカメラに衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ 熱の蓄積を防止するため、カメラ周辺の空気の循環を妨げないでください。
- ◆ レーザービームがイメージセンサーを損傷する可能性があります。イメージセンサーの表面をレーザービーム装置が使用されている場所に暴露しないでください。
- ◆ ブロワーを使ってレンズカバーのほこりを取り除いてください。
- ◆ 柔らかい乾いた布でカメラの表面を拭いてください。頑固な汚れは、少量の洗剤溶液を含ませた柔らかい布で拭き取ることができます。その後、乾拭きしてください。
- ◆ アルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性のものは表面の仕上げを傷めるので使用しないでください。

EU適合宣言



2012/19/EU (WEEE(電機電子廃棄物)指令) : この記号の付いた製品は、分別されていない自治体の廃棄物として欧州連合内で処分することはできません。適切にリサイクルするために、同等の新しい機器を購入したとき、この製品を最寄りのサプライヤーに返却するか、指定された収集場所で処分してください。



2006/66/EC (電池指令) : この製品には、分別されていない自治体の廃棄物として欧州連合内で処分できない電池が含まれています。特定の電池情報については、製品資料を参照してください。バッテリーにはこの記号が付いています。記号には、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、または水銀 (Hg) を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルするために、電池をサプライヤーまたは指定された収集場所に返却してください。

目次

第 I 章	製品説明	1
1.1	製品概要	1
1.2	主な特徴	1
1.3	ハードウェアの概要	2
1.4	システム要件	4
第 II 章	ネットワーク接続	5
2.1	カメラを LAN に接続する	5
2.1.1	カメラを PC に直接接続する	5
2.1.2	スイッチまたはルーター経由で接続する	5
2.2	動的 IP 接続	5
第 III 章	ネットワークカメラへのアクセス	7
3.1	IP アドレスの割り当て	7
3.1.1	Smart Tools を使用して IP アドレスを割り当てる	7
3.1.2	ブラウザで IP アドレスを割り当てる	10
3.2	ウェブブラウザからのアクセス	13
3.2.1	IE ブラウザ経由でアクセスする	13
3.2.2	プラグインフリーでアクセスする	15
第 IV 章	システム運用ガイド	22
4.1	ライブビデオ	22
4.1.1	ライブビューページでの操作	22
4.1.2	3D ポジショニング	25
4.1.3	設定/プリセット/パトロール/パターンを呼び出す	25
4.2	再生	29
4.3	ローカル設定	31
4.4	基本設定	31
4.4.1	ビデオ	31
4.4.2	画像	33
4.4.3	音声	41
4.4.4	ネットワーク	43
4.4.5	日付と時刻	52
4.5	詳細設定	53
4.5.1	アラーム	53
4.5.2	ストレージ	61
4.5.3	セキュリティ	65
4.5.4	SIP	68
4.5.5	Smart Event	71
4.5.6	PTZ	77
4.5.7	LPR (オプション)	84
4.5.8	ログ	91
4.6	システム	92
4.7	メンテナンス	94
4.7.1	システムメンテナンス	94
4.7.2	自動再起動	95

第 I 章 製品説明

1.1 製品概要

費用対効果が高く信頼性の高い、一貫した範囲のネットワークカメラを提供するこの製品は、お客様の要件を完全に満たすことができます。組み込み Linux オペレーティングシステムに基づき、ネットワークカメラはローカルまたはリモートで簡単に確実にアクセスおよび管理ができます。また、高性能 DSP ビデオ処理モジュールを内蔵したこのカメラは、低消費電力と高安定性を誇ります。最新の H.265/ H.264/MJPEG ビデオ圧縮アルゴリズムと、業界をリードする HD デュアルストリームテクノロジーをサポートし、限られたネットワークリソースで最高レベルのビデオ画質を実現します。完全に機能的なこのカメラは、柔軟で包括的なアラームリンケージメカニズム、デイ/ナイト自動スイッチ、プライバシーマスキングなどをサポートしています。

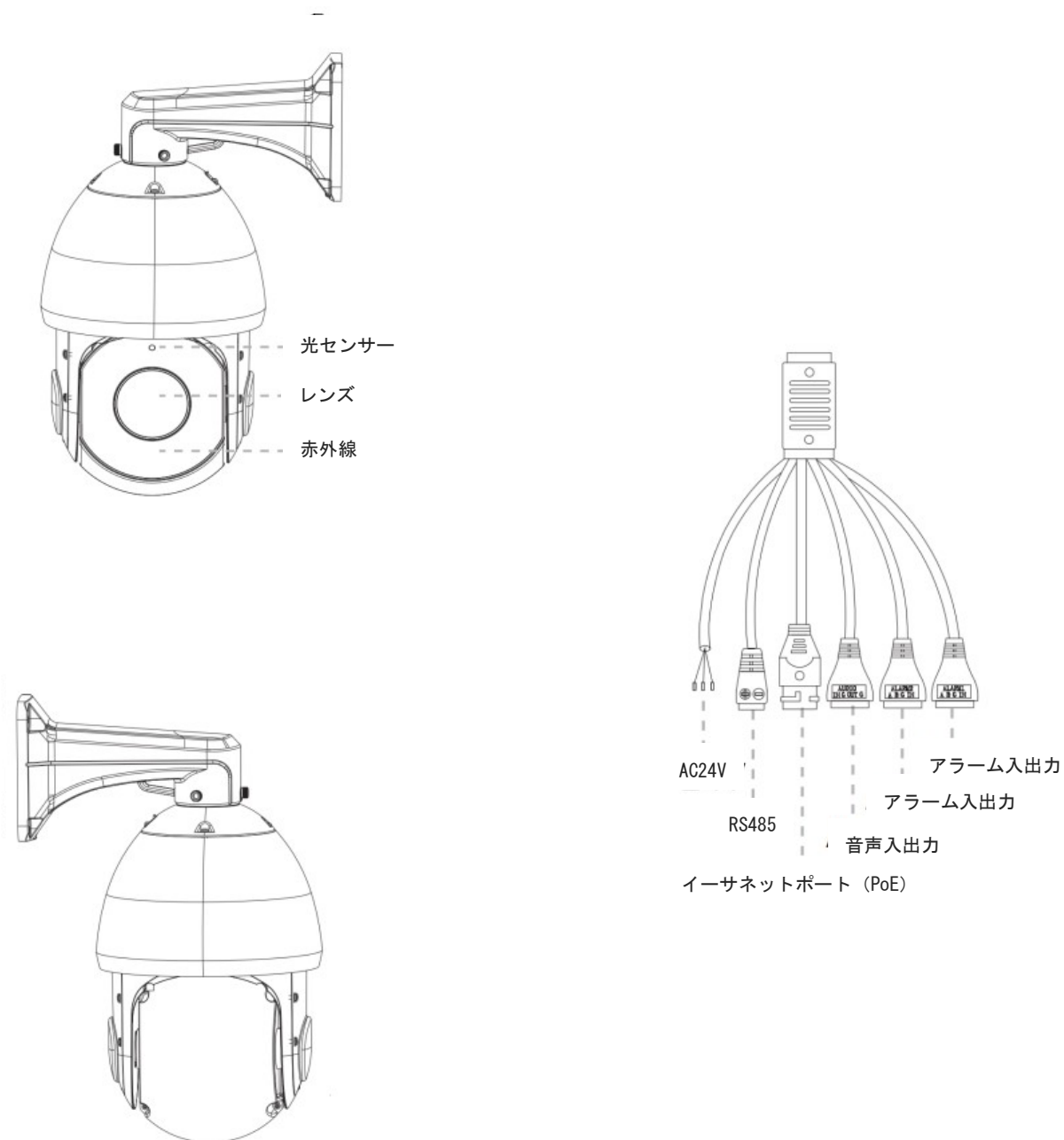
実際のアプリケーションでは、ネットワークカメラは LAN 内で独立して動作するか、強力な安全監視システムを形成するためにネットワーク化されます。金融、教育、工業生産、民間防衛、ヘルスケアなどの分野で安全のために幅広く利用されています。

1.2 主な特徴

- ◇ プロドーム PTZ...23 倍/30 倍光学ズーム、プロバレット PTZ...12 倍光学ズーム
- ◇ プロドーム PTZ...360°無制限回転範囲および 0°~90°オートフリップ垂直回転範囲
- ◇ プロバレット PTZ...360°無制限回転範囲および-45°~30°の垂直回転範囲
- ◇ 255 プリセットポイントと 8 パトロール
- ◇ 信頼性の高い Linux OS をベースにしています
- ◇ H.265/ H.264 / MJPEG ビデオ圧縮機能
- ◇ プラグインフリーモードをサポート
- ◇ スマートストリームをサポート
- ◇ ONVIF プロファイル S&G をサポート
- ◇ カメラのセキュリティに関する質問のサポートの有効化と設定 (V4x.7.0.69 以降の場合)
- ◇ サポートプライマリストリーム/セカンダリストリーム/ターシャリストリーム
- ◇ オートスイッチ付き ICR フィルター、デイナイトモード
- ◇ 内蔵 WEB サーバー、IE/Firefox/Chrome/Safari ブラウザに対応
- ◇ IPC を容易に管理するための UPnP プロトコル
- ◇ 3D ポジショニング、PTZ モーション、PTZ 制限、スケジュールタスク、オートホーム機能
- ◇ プロバレット PTZ...ホワイト LED
- ◇ モーション検知、プライバシーマスキング、ネットワーク障害検知、ROI
- ◇ FTP アップロード、SMTP アップロード、SD カード記録、SIP 機能
- ◇ G.711/AAC オーディオ圧縮機能
- ◇ オーディオ入出力
- ◇ 柔軟な管理のための 3 つの特権レベルのユーザー
- ◇ microSD/SDHC/SDXC カードのローカルストレージサポート、エッジストレージの拡張
- ◇ ローカル PAL/NTSC 信号出力

1.3 ハードウェアの概要

1. 2/5MP H.265 対応 光学 30/36/42 倍プロドーム PTZ ネットワークカメラ

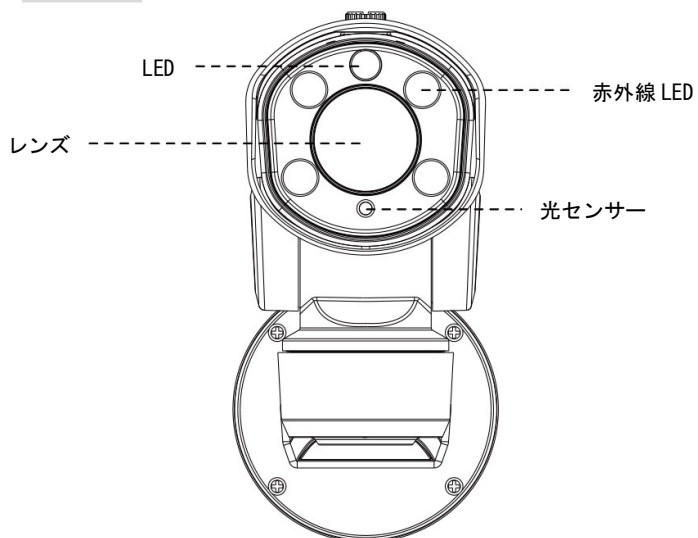


注意：

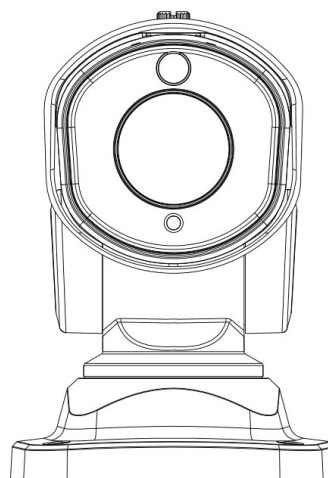
- 1) AC24V と PoE が電源に使用できます。
- 2) 4 本のネジを外して前面パネルを開くと、内蔵 SD カードスロットが見えます。

2. 2/5MP H.265 対応 光学 12 倍プロバレット PTZ ネットワークカメラ

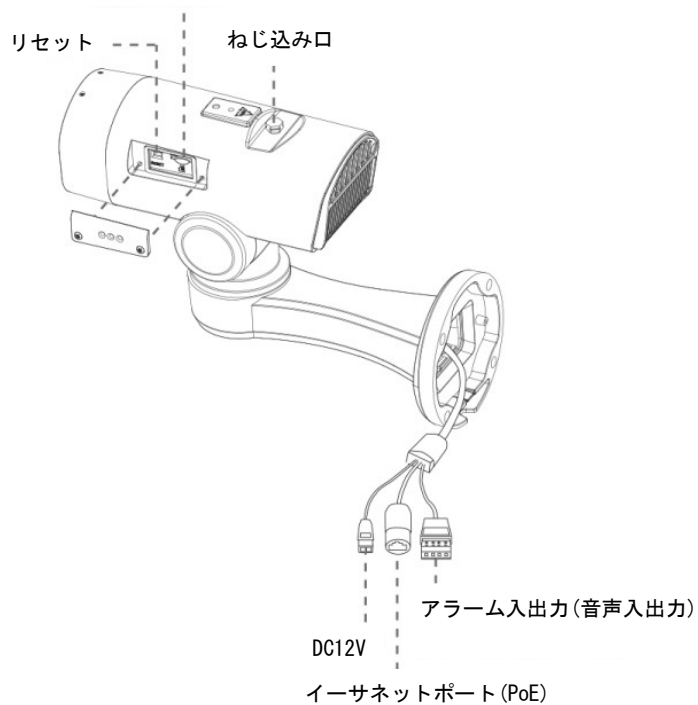
壁付け型:



据え置き型:



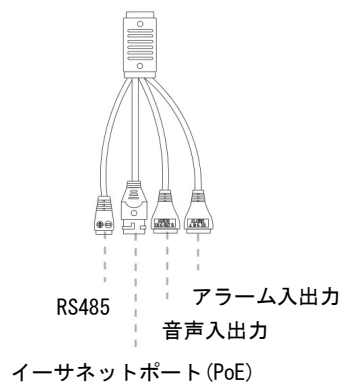
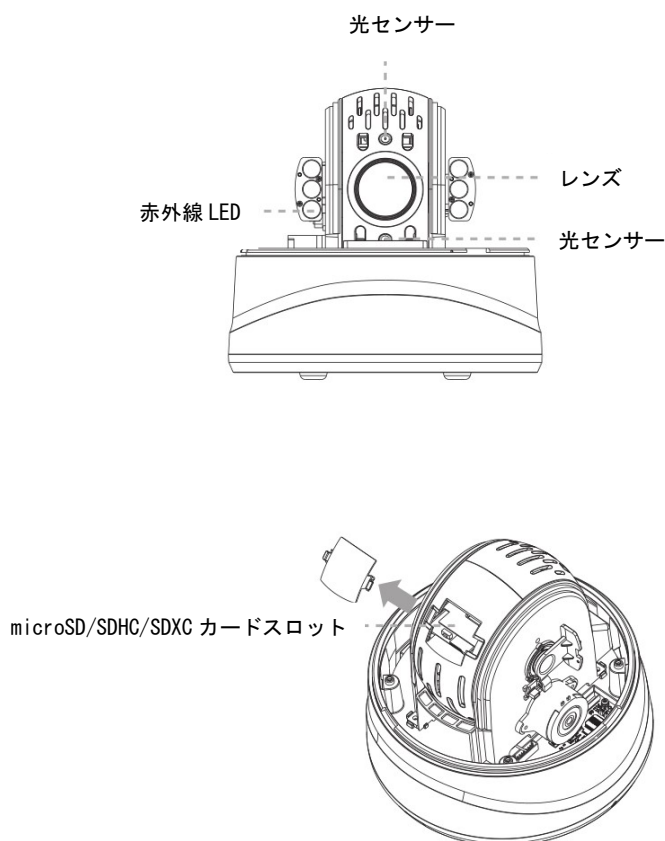
microSD/SDHC/SDXC カードスロット



注意:

- 1) リセットボタン: 「リセット」ボタンを 5 秒間押すと、デバイスは工場出荷時のデフォルトに戻ります。
- 2) 電源には、DC 12V と PoE (802.3at) があります。

3. 2/5MP H.265 対応 小型ドーム PTZ ネットワークカメラ



注意：

- 1) リセットボタン：「リセット」ボタンを 5 秒間押すと、デバイスは工場出荷時のデフォルトに戻ります。
- 2) DC 12V と PoE (802.3at) が電源に使用できます。

1.4 システム要件

オペレーティングシステム：Windows XP/Vista/7/8/10/Server 2000/Server 2008

CPU：1.66GHz 以上

RAM：1G 以上

グラフィックメモリ：128MB 以上

インターネットプロトコル：TCP/IP (IPv4/IPv6)

ウェブブラウザ：Internet Explorer 9.0 以上、Mozilla Firefox、Google Chrome、Safari (当社では IE を推奨しています)

第Ⅱ章 ネットワーク接続

2.1 カメラを LAN に接続する

カメラをスイッチまたはルーターに接続するのが最も一般的な接続方法です。カメラには、その LAN と互換性のある IP アドレスを割り当てる必要があります。

2.1.1 カメラを PC に直接接続する

この方法では、カメラに接続されているコンピューターだけがカメラを見ることができます。カメラには、コンピューターと互換性のある IP アドレスが割り当てられている必要があります。詳細は次の図のとおりです。

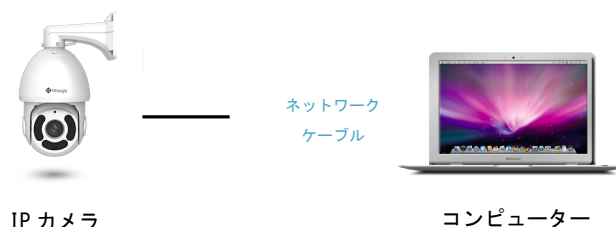


図 2-1-1 カメラを直接 PC に接続

2.1.2 スイッチまたはルーター経由で接続する

次の図を参照して、ネットワークカメラをスイッチまたはルーター経由で LAN に接続してください。



図 2-1-2 スイッチまたはルーター経由で接続

2.2 動的 IP 接続

◆ ルーター経由でネットワークカメラを接続する

ステップ 1: ネットワークカメラをルーターに接続します。

ステップ 2: カメラで、LAN IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを割り当てます。

ステップ 3: ルーターで、ポート転送を設定して下さい（例えば 80、8000 および 554 ポート）。ポート転送の手順はルーターによって異なりますので、ポート転送の方法については、ル

ーターのユーザーマニュアルを参照してください。

ステップ4：ドメイン名のプロバイダーから提供されたドメイン名を使用してください。

ステップ5：ルーターの設定インターフェースでDDNS設定を行います。

ステップ6：ドメイン名でカメラにアクセスしてください。



図 2-2 動的 IP を使用したルーター経由でネットワークカメラを接続

第Ⅲ章 ネットワークカメラへのアクセス

アクセスを可能にするには、カメラに IP アドレスを割り当てる必要があります。

3.1 IP アドレスの割り当て

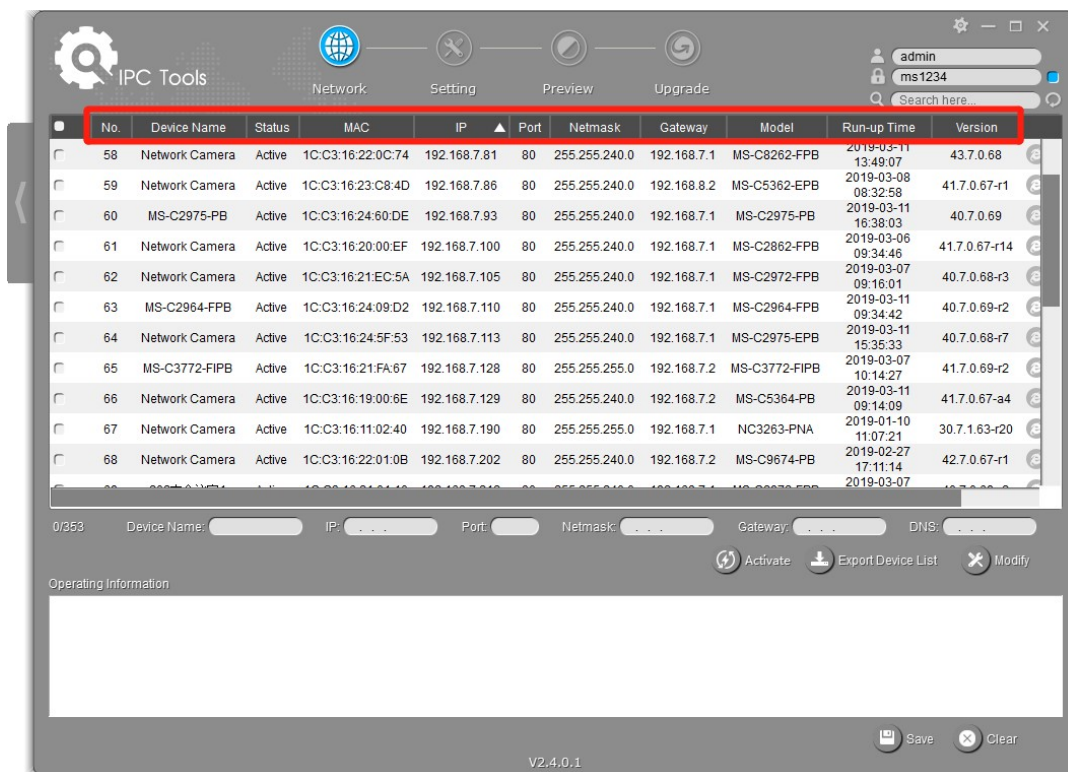
アクセスを可能にするには、ネットワークカメラに IP アドレスを割り当てる必要があります。ネットワークカメラのデフォルトの IP アドレスは 192.168.5.190 です。デフォルトのユーザー名は「admin」、パスワードは「123456」です。

Smart Tools またはブラウザを介してカメラの IP アドレスが変更できます。カメラをコンピュータと同じ LAN に接続してください。

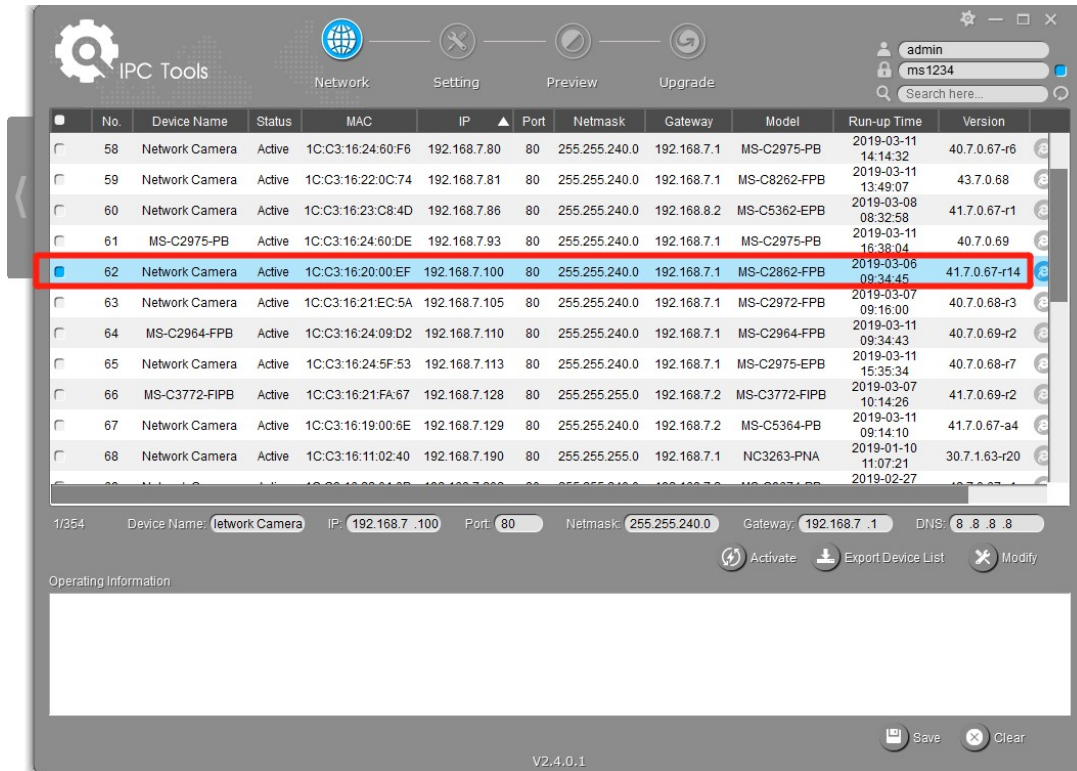
3.1.1 Smart Tools を使用して IP アドレスを割り当てる

Smart Tools は、LAN に接続された複数のオンラインネットワークカメラを自動的に検知し、IP アドレスを設定し、ファームウェアアップグレードを管理することができるソフトウェアツールです。複数のカメラに IP アドレスを割り当てるときにお勧めします。

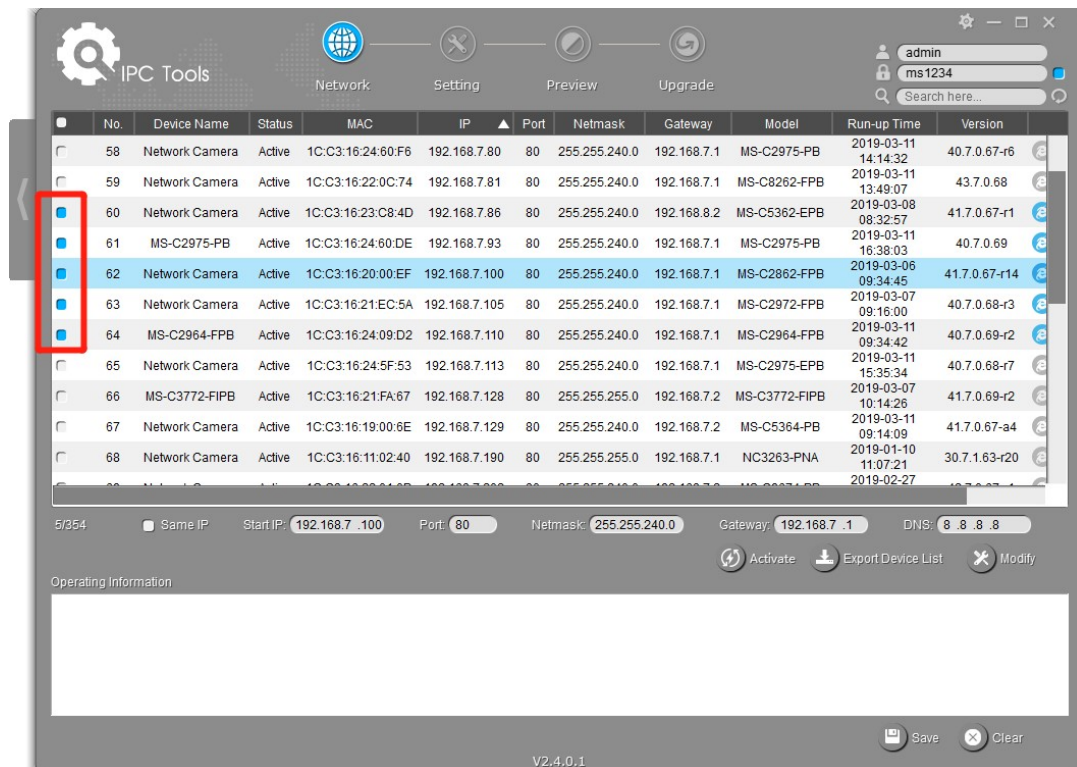
- ステップ 1： Smart Tools をインストールします（ソフトウェアは弊社の Web サイトからダウンロードできます）。
- ステップ 2： Smart Tools を起動し、IPC Tools ページをクリックしてから、IP アドレス、MAC アドレス、ステータス、ポート番号、ネットマスクを含むデバイス情報を入力すれば、すべてのネットワークカメラのゲートウェイが表示されます。詳細は以下の通りです。



ステップ3: MACアドレスに従って1台または複数のカメラを選択してください。

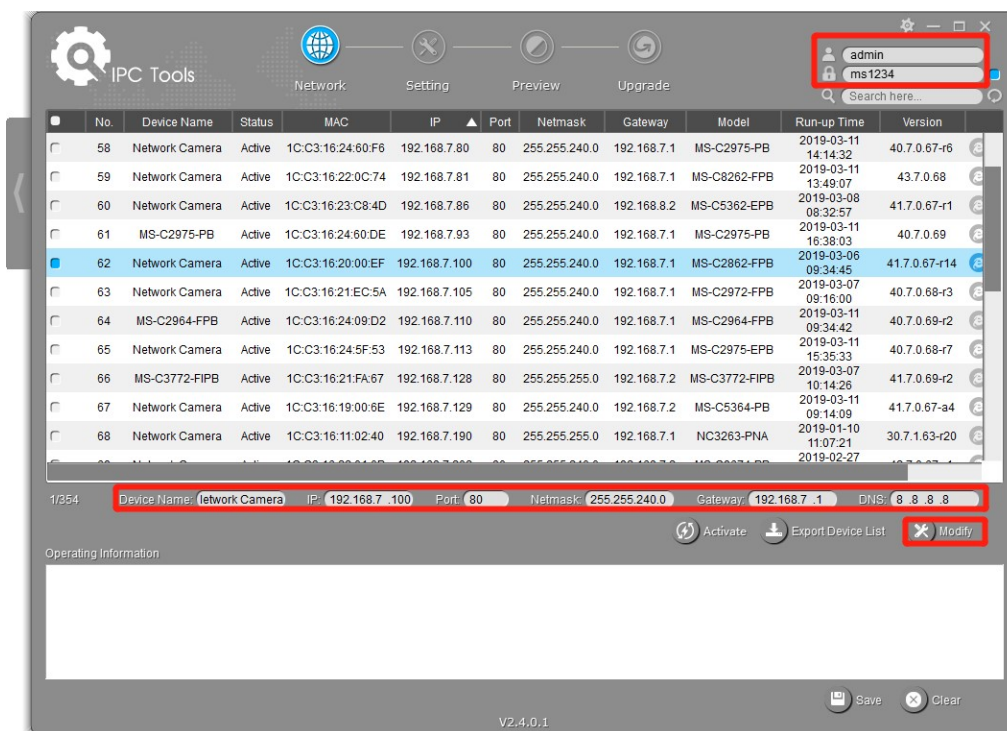


1台のカメラを選択




複数のカメラを選択

ステップ4: 選択したカメラのステータスバーに「Active」と表示されている場合は、ユーザー名とパスワードが直接入力できます(バージョンが4x.7.0.69未満のカメラはデフォルトでadmin/ms1234を使用しています)。IPアドレスまたは他のネットワーク値を変更してから「Modify」ボタンをクリックします。

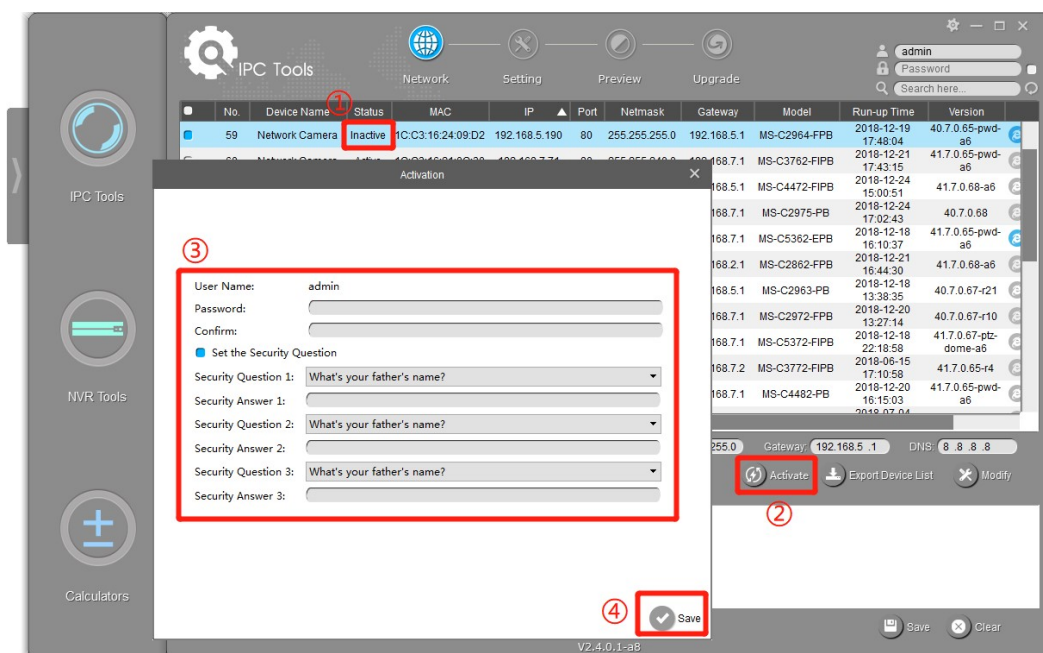


初めて使用する際に、選択したカメラ（バージョン V4x.7.1.69 以降のカメラ）のステータスバーに

「Inactive」と表示されている場合は、 をクリックしてパスワードを設定します。パスワードを忘れた場合のために、カメラを有効にするときにセキュリティの質問を設定することもできます（3つのセキュリティの質問に正しく答えることでパスワードをリセットできます）。「Save」をクリックすると、有効化が成功したことが示されます。

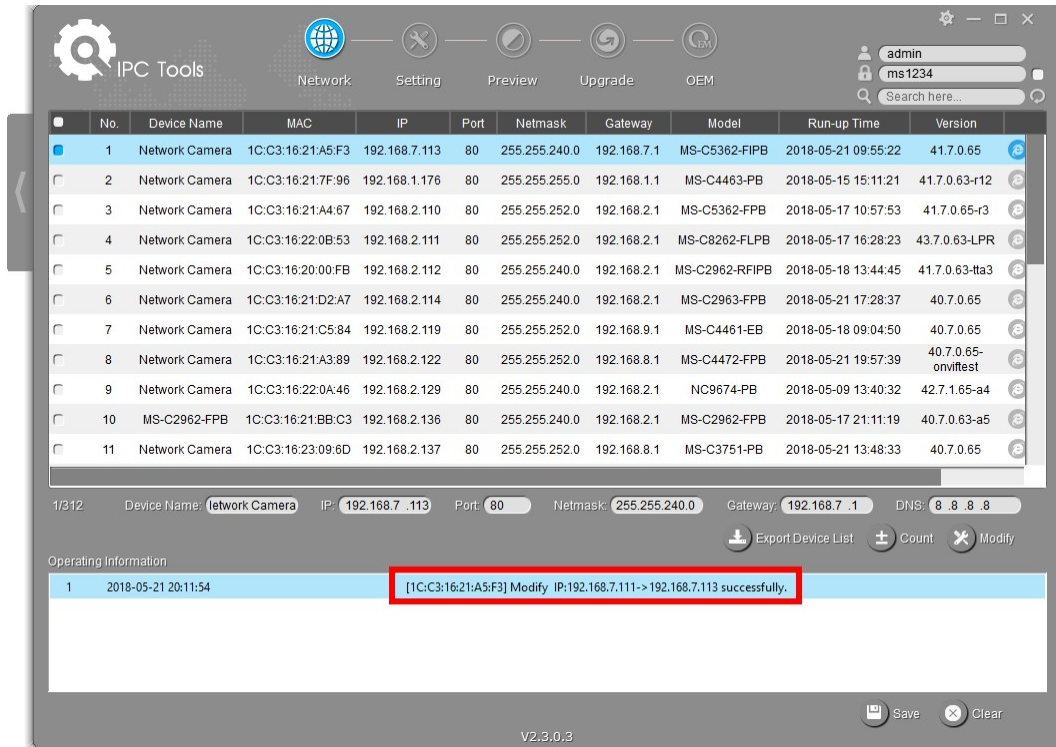
注意：

- 1) パスワードは8文字から32文字の長さで、少なくとも1つの数字と1つの文字を含む必要があります。
- 2) カメラを有効にするには Smart Tools を V2.4.0.1 以上にアップグレードする必要があります。

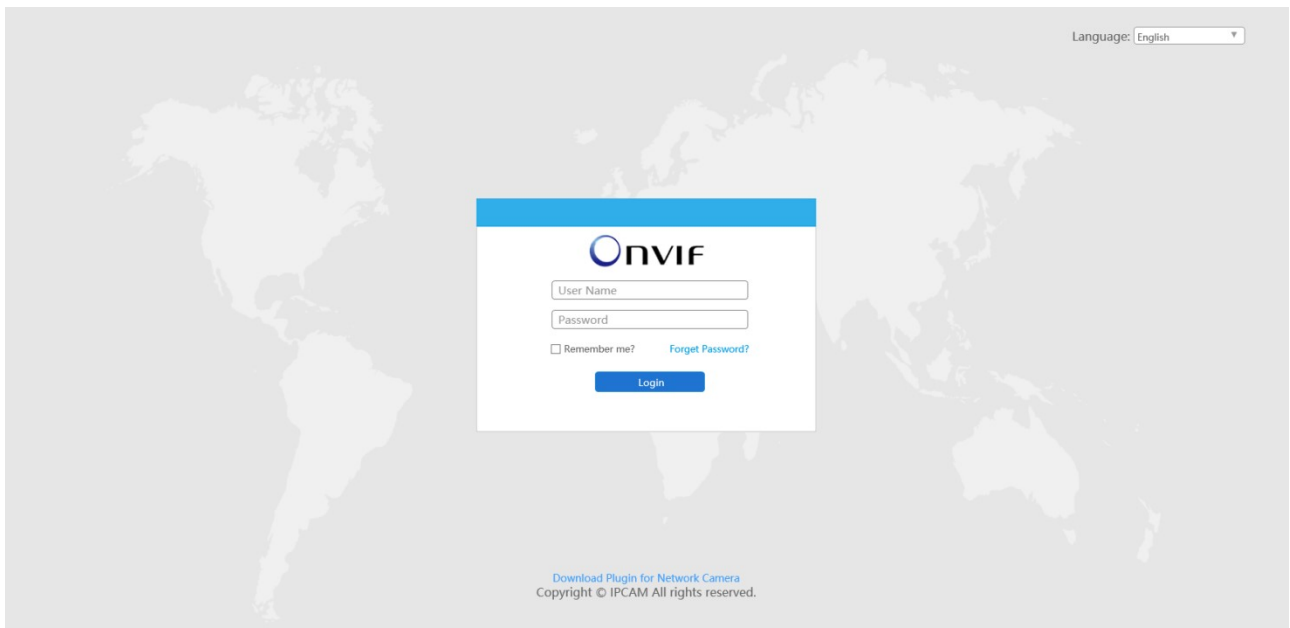


有効にした後は、IP アドレスまたは他のネットワーク値が変更できます。変更後は「Modify」ボタンをクリックしてください。

ステップ5: IPアドレスが変更されました。



ステップ6: 選択したカメラをダブルクリックすると、Web ブラウザを経由して直接カメラにアクセスできます。Internet Explorer のウィンドウがポップアップします。



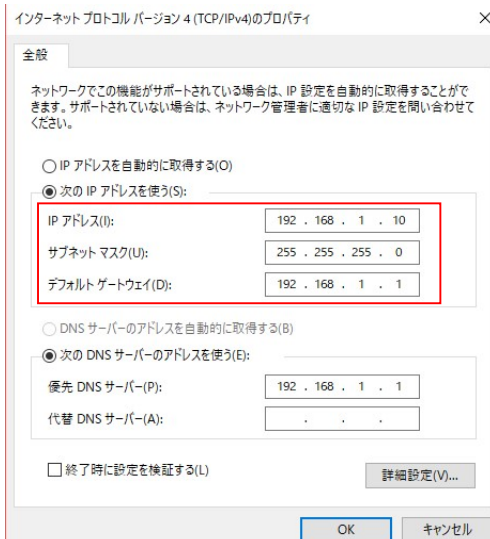
3.1.2 ブラウザで IP アドレスを割り当てる

コンピュータのネットワークセグメントとカメラのネットワークセグメントが異なる場合は、手順に従って IP アドレスを変更してください。

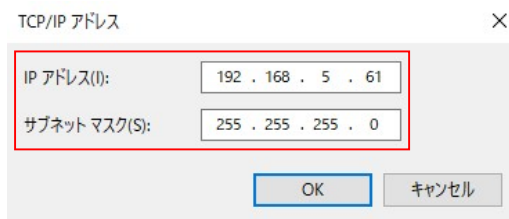
ステップ1: コンピュータの IP アドレスを 192.168.5.0 セグメントに変更します。以下の 2 つの方法があります。

a. スタート→コントロールパネル→ネットワークとインターネット→ネットワーク接続→ローカルエ

リア接続の順にクリックした後、ダブルクリックします。



- b. 「詳細設定」をクリックし、「IP 設定」→「IP アドレス」→「追加」の順にクリックします。ポップアップウィンドウで、ネットワークカメラと同じセグメントにある IP アドレスを入力します（例：192.168.5.61、ただしこの IP アドレスは既存のネットワーク上の IP アドレスと競合してはならないことに注意してください）。



ステップ 2： ブラウザを起動します。アドレスバーに、カメラのデフォルトの IP アドレスを入力します。

<http://192.168.5.190>

ステップ 3： カメラのファームウェアのバージョンが V4x 7.1.69 未満の場合は、ログインページが直接表示されます。ログインページが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザー名 : **admin**

デフォルトパスワード : **123456**

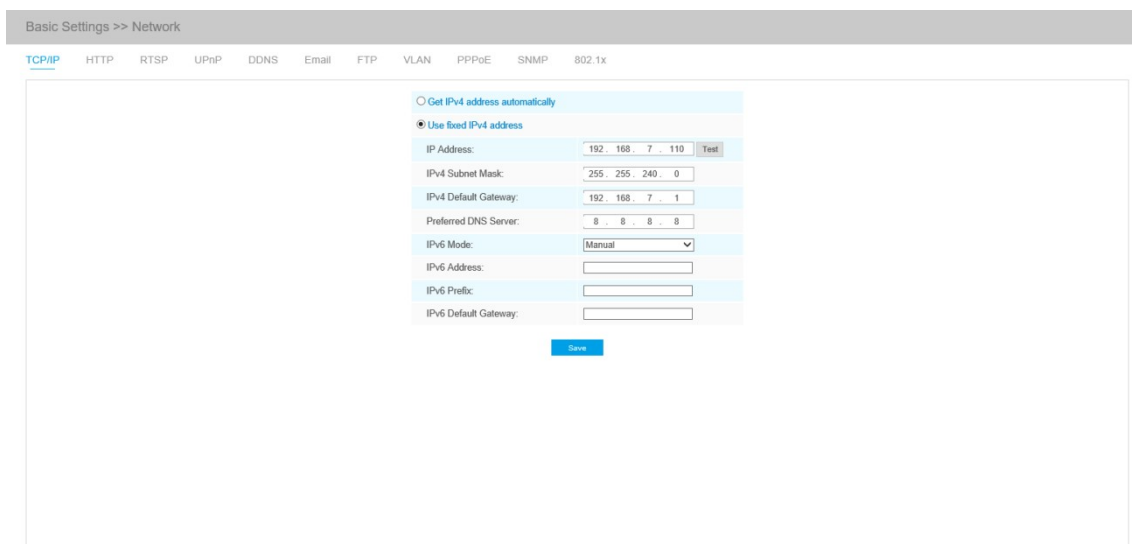


カメラのファームウェアバージョンがV4x.7.1.69以降の場合は、初めて使うとき、最初にパスワードを設定する必要があります。起動後、デバイスに3つのセキュリティの質問を設定することもできます。その後、ユーザー名（admin）とカスタムパスワードを使用してデバイスにログインできます。

注意：

- 1) パスワードは8文字から32文字の長さで、少なくとも1つの数字と1つの文字を含む必要があります。
- 2) あらかじめセキュリティの質問を設定している場合は、パスワードを忘れたときに、ログインページの「forget password」をクリックして、3つの質問に答えてパスワードをリセットできます。

ステップ 4： ログイン後、「Configuration」→「Basic Settings」→「Network」→「TCP/IP」を選択してください。ネットワーク設定ページが表示されます（次の図のとおり）。



ステップ 5： IP アドレスまたは他のネットワーク値を変更してください。次に「Save」ボタンをクリックしてください。

ステップ 6： これでデフォルト IP アドレスの変更が完了しました。

3.2 ウェブブラウザからのアクセス

このカメラは、最も標準的なオペレーティングシステムとブラウザで使用できます。推奨ブラウザは Internet Explorer、Firefox、Chrome、Safari です。

3.2.1 IE ブラウザ経由でアクセスする

ブラウザを使ってカメラにアクセスする前に、まず MsActiveX をインストールする必要があります。以下のステップを参照してください。


ステップ 1: IE ブラウザを起動してカメラの IP アドレスを入力してください。

ステップ 2: ユーザー名とパスワードを入力して「Login」をクリックしてください。

(デフォルトのユーザー名は「admin」、パスワードは「123456」です。)

ステップ 3: デバイスに初めてログインすると、ブラウザはコントロールのインストールを促します。

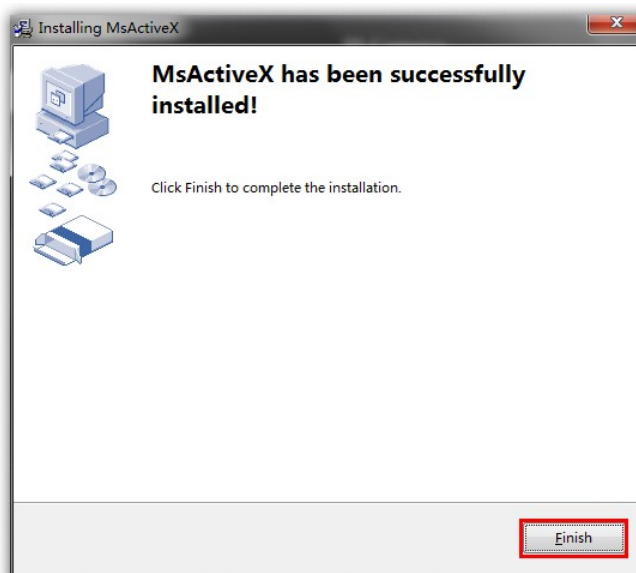
図 3-2-1 のとおり「Click here to download and install controls manually」をクリックしてください。



注意:

コントロールのインストール中は、ブラウザを閉じてください。

ステップ 4: プロンプトに従ってコントロールをインストールします。完了すると、図 3-2-2 のとおりウィンドウが表示されます。「Finish」をクリックしてブラウザを更新すると、ビデオが表示されます。

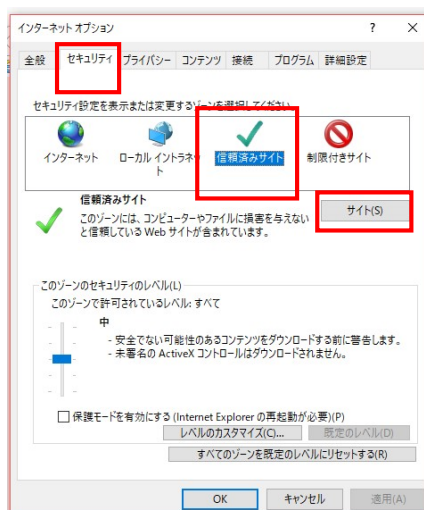


IE9 以上のブラウザを使用している場合は、カメラのウェブリンクを信頼済みサイトとして追加することをお勧めします。以下の説明を参照してください。

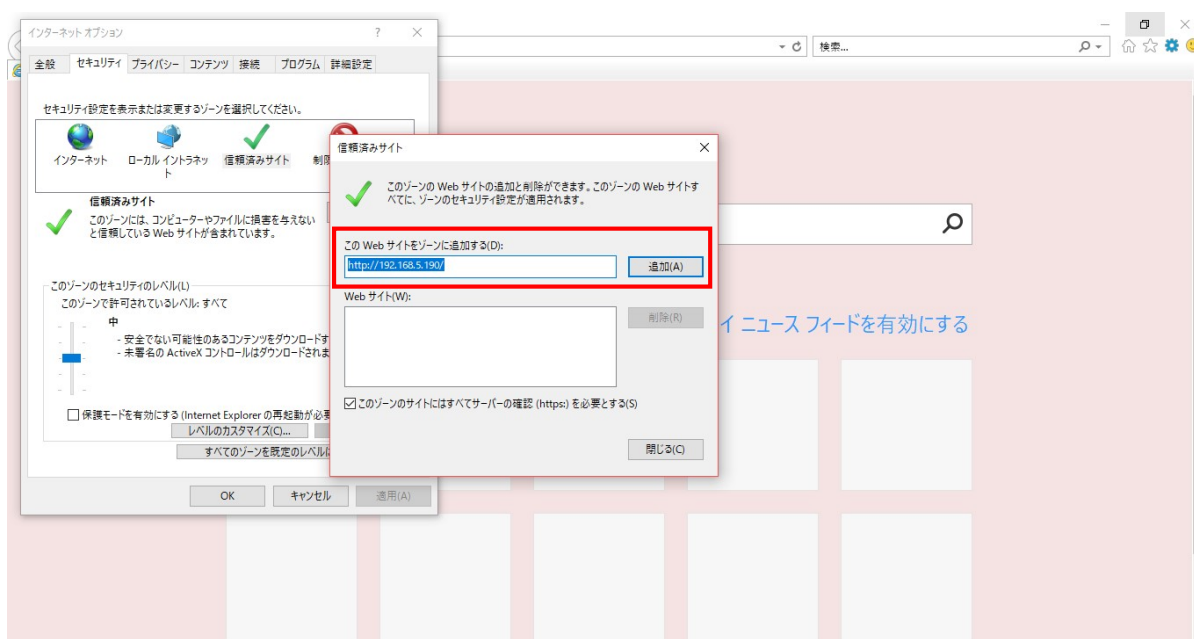
ステップ 1: IE 9 以降のバージョンのブラウザを起動し、「設定」→「インターネットオプション」を選択します。



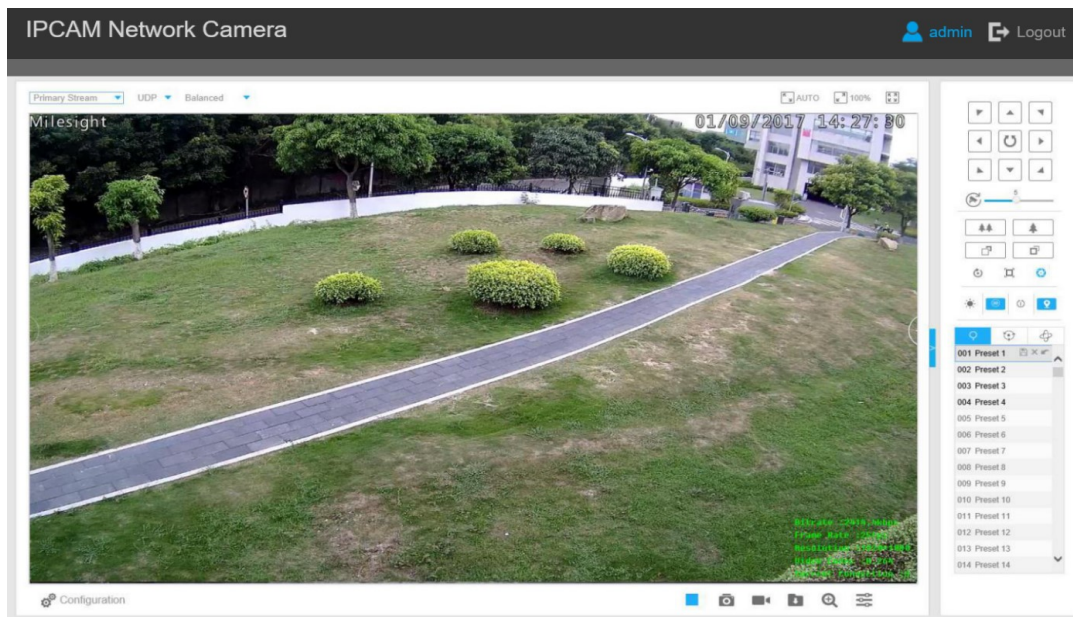
ステップ 2: 「セキュリティ」、次に「信頼済みサイト」→「サイト」を選択します。



ステップ 3: カメラの IP アドレスを空欄に入力し、「追加」をクリックしてください。



ステップ 4： IP アドレスを入力して下さい。ネットワークカメラの Web GUI に正常にログオンすると、ユーザーは次のようにライブビデオを見ることができます。



3.2.2 プラグインフリーでアクセスする

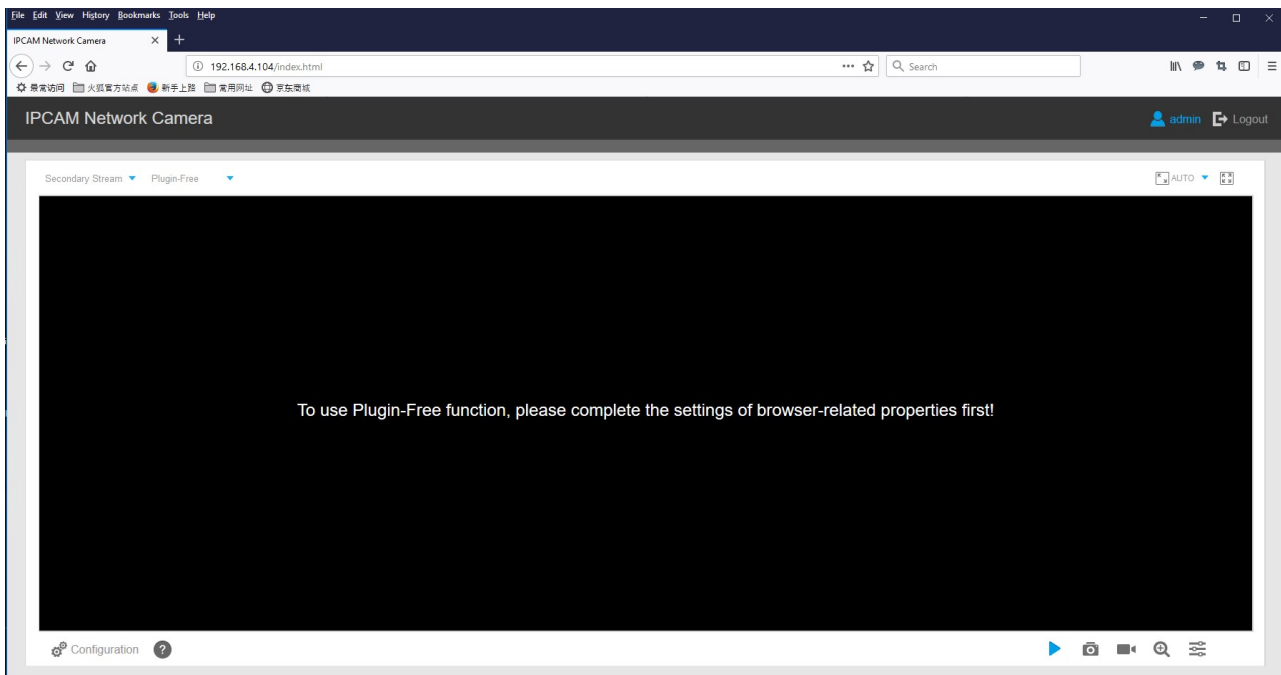
プラグインフリーモードにより、プラグインなしでブラウザでビデオをプレビューすることができます。現在のプラグインフリーモードは、Windows システム、MAC システムおよび Android システム用の Chrome および Firefox ブラウザでサポートされています。H.265 と H.264 の両方のビデオコーデックはカメラのプラグインフリーモードでサポートされており、デフォルトではセカンダリストリームを再生します。

注意：

- 1) プラグインフリーモードを使用するには、カメラを V4x.7.1.70 以上にアップグレードする必要があります。
- 2) Chrome ブラウザを使用している場合、プラグインフリーモードはブラウザのバージョンが V69 以降の場合にのみサポートされます。
- 3) Firefox ブラウザを使用している場合、プラグインフリーモードはブラウザのバージョンが V65 以降の場合にのみサポートされます。

①Chrome ブラウザを使用している場合

ステップ 1： Chrome ブラウザからカメラにアクセスします。



ステップ 2: ウェブページの左下の“?” をクリックして、下記のプラグインフリーモードの説明を参照できます。

Plugin-Free Mode instruction:

Step 1:

Input the URL in address bar:

<chrome://flags/#enable-webassembly-threads>

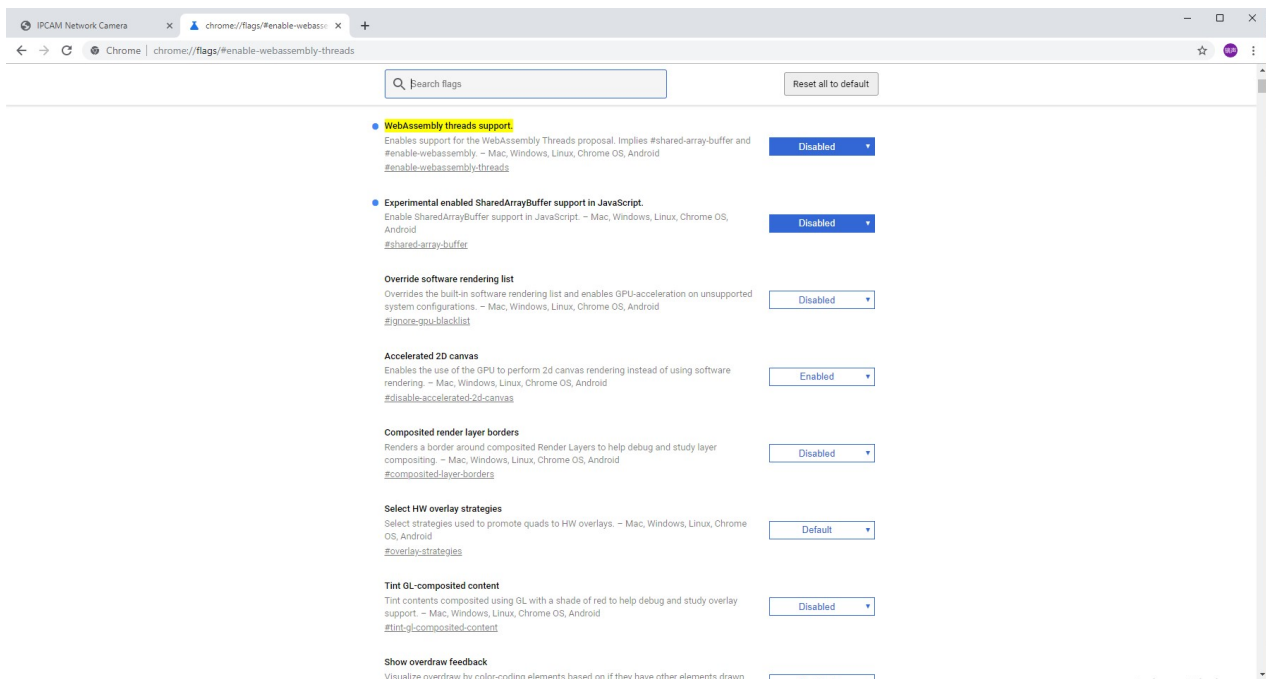
Step 2:

Set 2 flags to True status and reboot browser:

--WebAssembly threads support.

--Experimental enabled SharedArrayBuffer support in JavaScript.

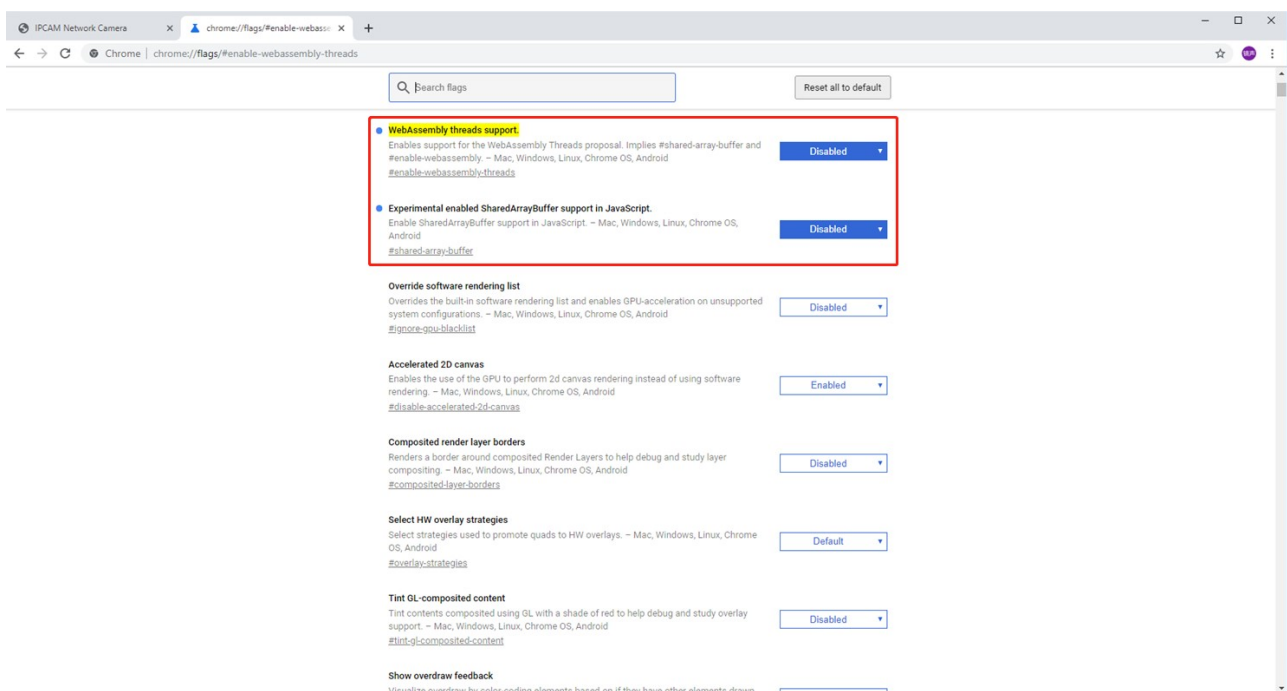
ステップ 3: アドレスバーに URL を入力: <chrome://flags/#enable-webassembly-threads>
下記の Web ページに入ります。



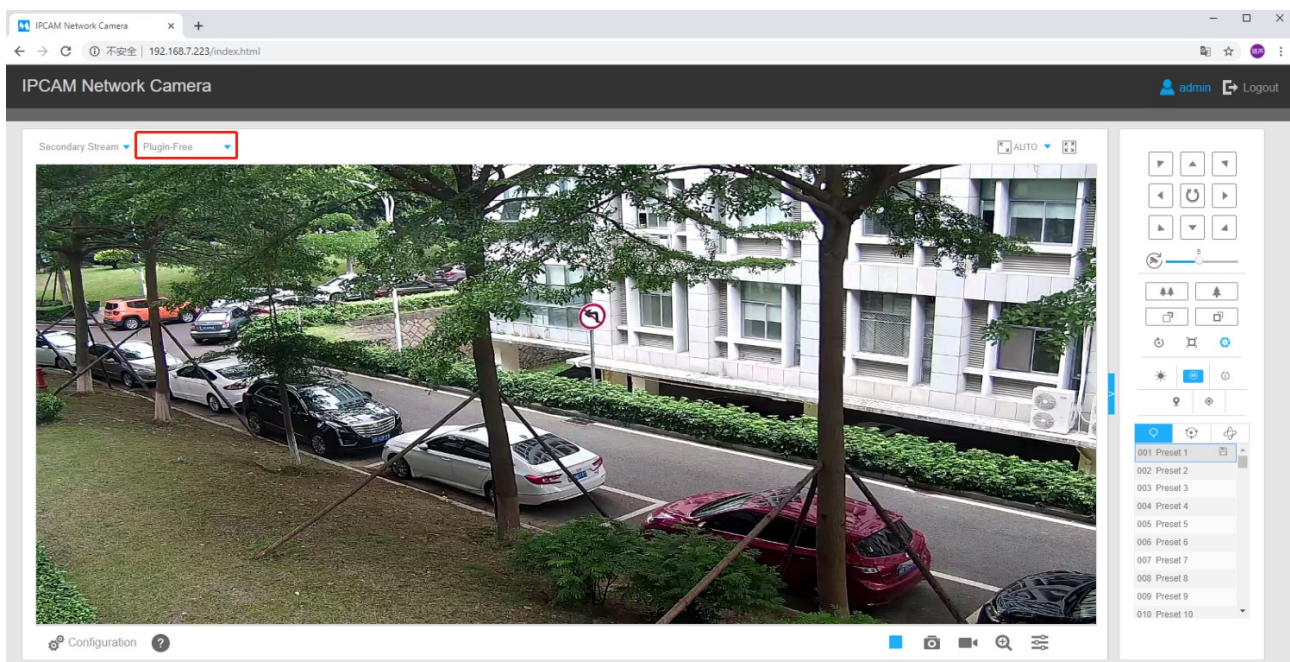
ステップ 4 : 2つのフラグを True ステータスに設定してブラウザを再起動します。

--"WebAssembly threads"をサポートします。

--JavaScript での"Experimental enabled SharedArrayBuffer" をサポートします。



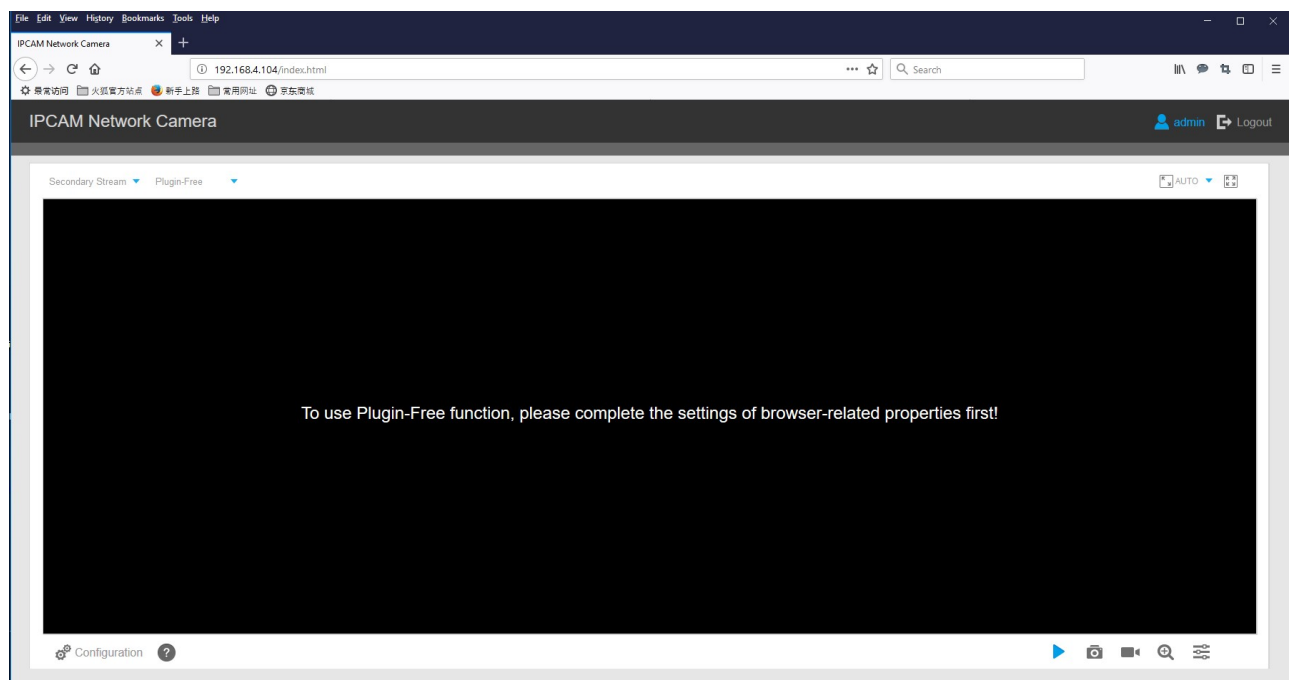
ステップ 5 : ライブビューインターフェイスでプラグインフリーモードを選択することで、プラグインなしでビデオをプレビューできます。




ライブビューや他の設定インターフェースでビデオをプレビューすることをサポートします。

②Firefox ブラウザを使用している場合

ステップ 1 : Firefox ブラウザからカメラにアクセスします。



ステップ 2 : ウェブページの左下の“” をクリックして、下記のプラグインフリーモードの説明を参照できます。

Plugin-Free Mode instruction:

Step 1:

Input the URL in address bar:

<about:config>

And accept the requiring.

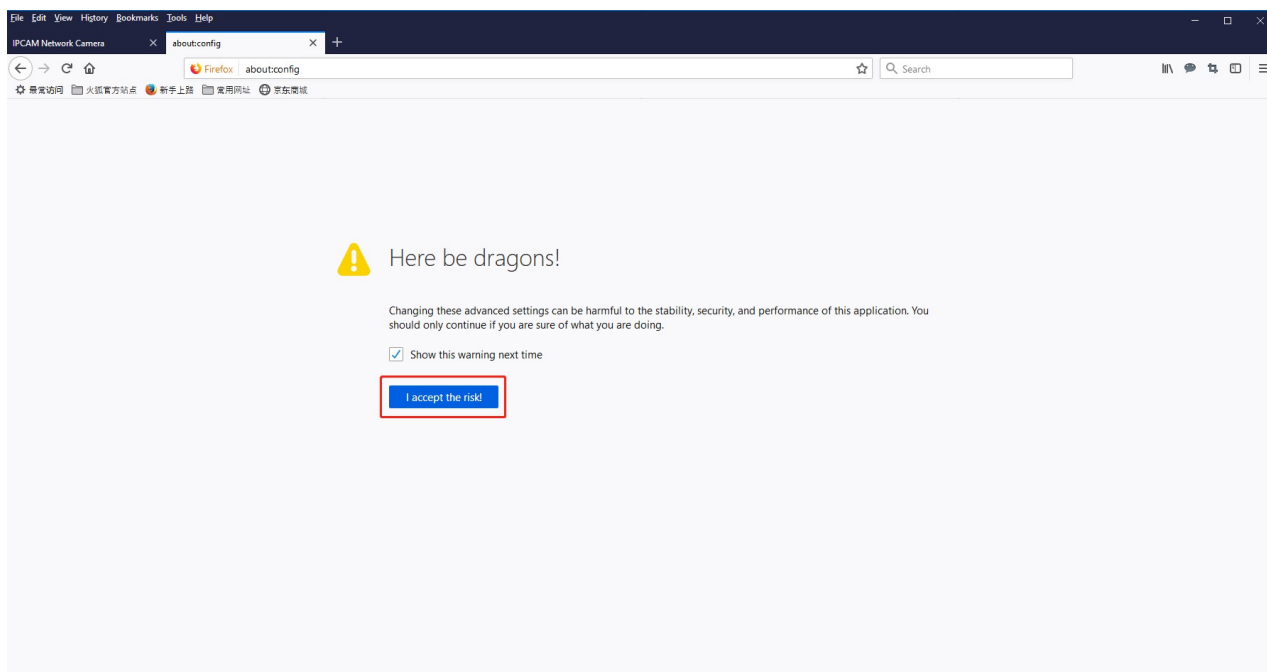
Step 2:

Set 2 flags to Enabled status and reboot browser:

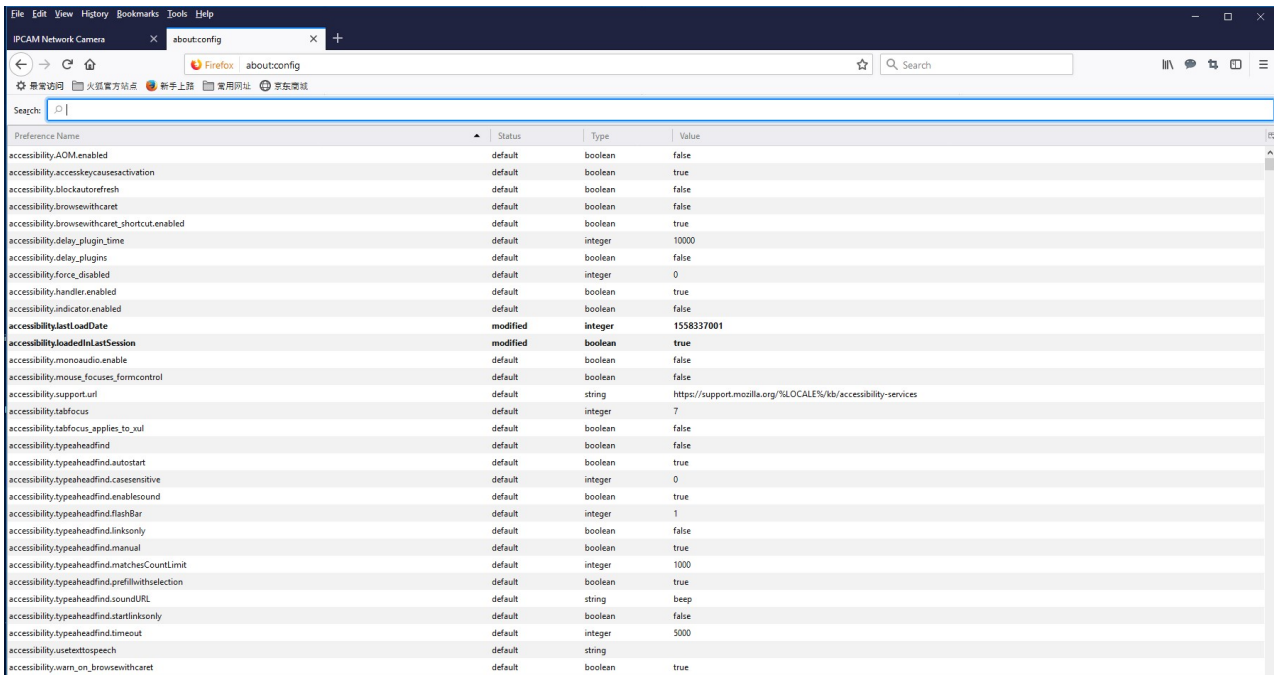
--javascript.options.wasm.

--javascript.options.shared_memory.

ステップ 3： アドレスバーに URL を入力：<about:config>
そして要求を受け入れます。



下記の Web ページに入ります。



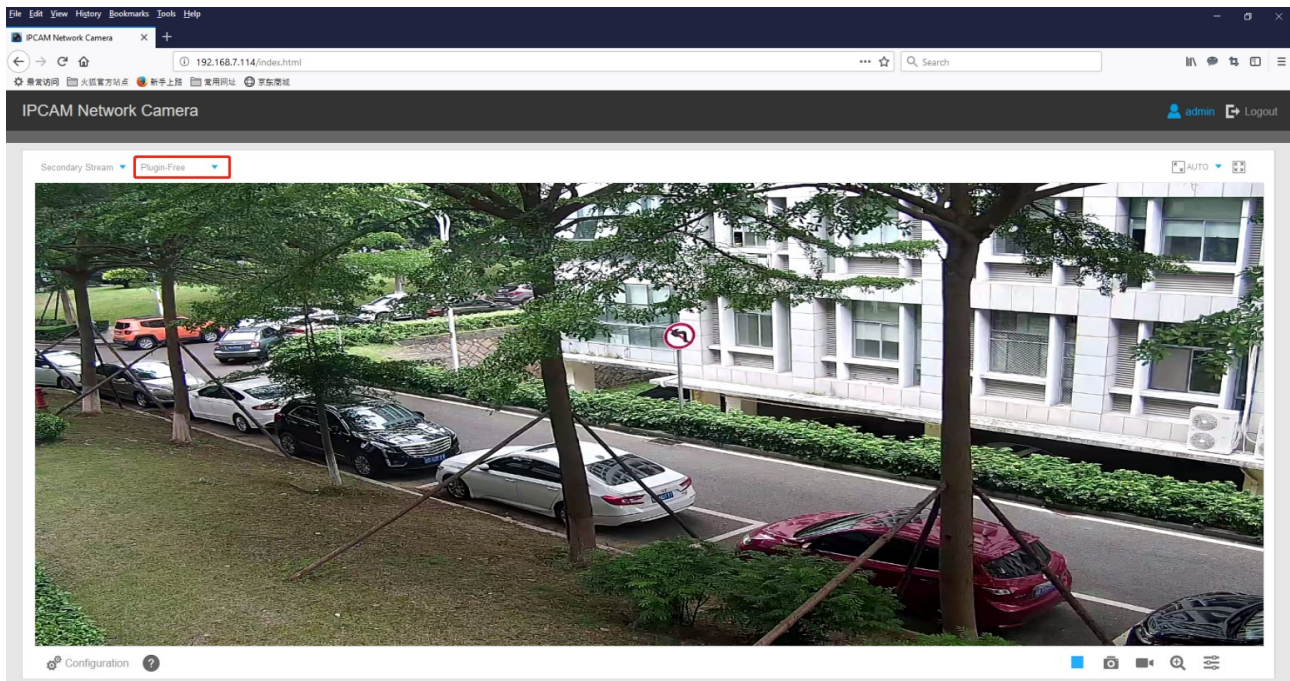
ステップ 4 : 2つのフラグを True ステータスに設定してブラウザを再起動します :

- javascript.options.wasm.
- javascript.options.shared_memory.

Preference Name	Status	Type	Value
javascript.options.wasm	default	boolean	true
javascript.options.wasm_baselinejit	default	boolean	true
javascript.options.wasm_ionjit	default	boolean	true
javascript.options.wasm_verbose	default	boolean	false

Preference Name	Status	Type	Value
javascript.options.shared_memory	modified	boolean	true

ステップ 5 : プラグインフリーモードを選択すると、プラグインなしでビデオをプレビューできます。

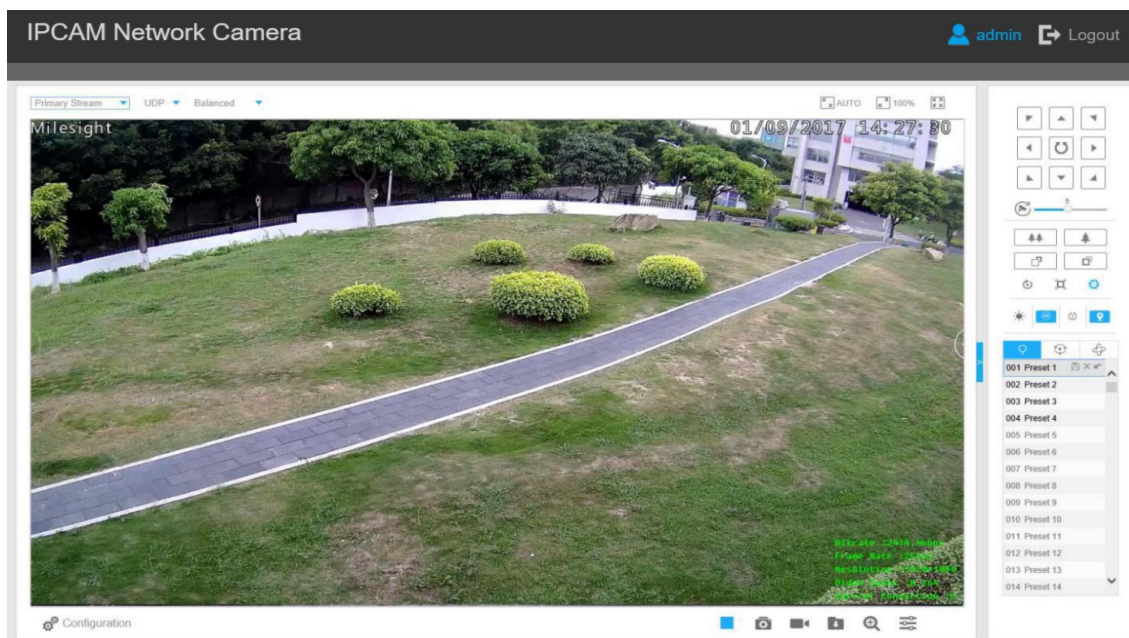


ライブビューや他の設定インターフェースでビデオをプレビューすることをサポートします。

第IV章 システム運用ガイド




4.1 ライブビデオ



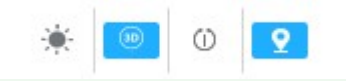





ネットワークカメラの Web GUI に正常にログインすると、ユーザーは次のようにライブビデオを見ることができます。



4.1.1 ライブビューページでの操作

表 4-1-1 ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
1	 PTZコントロール	ナビゲーションキーは方向を制御するために使用されます。回転キーは自動回転に使用されます
	 PTZスピード	パン/チルト動作の速度を 1 から 10 の範囲で調整します
2		クリックしてズームイン、ズームアウト


3		<p>クリックすると、レンズの近くまたは遠くに焦点が合います</p>
4		<p>レンズ初期化、補助焦点、自動絞り</p>
5		<p>30 秒間照明：クリックすると、30 秒間照明用の白色 LED が開閉します。</p>
		<p>3D ポジショニング：クリックすると、3D ポジショニングが有効または無効になります。</p>
		<p>ワンタッチパトロール：クリックするとパトロールします。</p> <p>自動ホーム：クリックすると、自動ホームが有効になります。</p>
	 <p>画像調整</p>	<p>輝度：シーンの輝度を調整します。</p> <p>コントラスト：色と明るさのコントラストを調整します。</p> <p>彩度：画像の彩度を調整します。彩度が高いほど、色がより「澄んだ／色鮮やか」に見え、低いほど「色味が乏しく」見えます。</p> <p>鮮明度：画像の鮮明度を調整します。鮮明度が高いほど、ピクセルの境界が鮮明になり、画像がより「鮮明」に見えます。</p> <p>ノイズ除去レベル：ノイズ除去レベルを調整します。</p> <p>デフォルト：輝度、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。</p>
7		<p>クリックすると設定ページにアクセスできます。</p>
8		<p>現在のビデオウィンドウに表示するストリーム（Primary/Secondary/Tertiary）を選択します。</p>
9		<p>ソフトウェアバージョンが 43 以上のカメラでのみ利用可能です。</p> <p>Web Components：Firefox、Safari、Chrome（Chrome バージョン 44 以下）をサポート。ビュー表示にはコンポーネントをインストールする必要があります。</p> <p>MJPEG：Firefox、Safari、Chrome（Chrome バージョン 45 以上）でビュー表示をサポート。</p> <p>（注意：IE はデフォルトで Web Components mode を選択しません。この場合、オプションは表示されません。）</p>
10		<p>TCP：より信頼性の高い接続。</p> <p>UDP：より瞬間的な接続。ただし、ライブビューがうまく表示されない場合は、TCP 接続に変更してください。</p> <p>HTTP：特にインターネット環境において、より速くより安全な接続。</p>

11	 Balanced	Least Delay : 最も瞬間的なモード。 Balanced : Least Delay と Best Fluency との間のバランスの取れたモードで、許容可能な遅れを保ちながら滑らかさを維持します。 Best Fluency : 最も滑らかなモード。
12	 ウィンドウサイズ	クリックするとウィンドウサイズで画像が表示されます。
13	 実際のサイズ	クリックすると、実際のサイズで画像が表示されます。
14	 全画面	クリックすると画像が全画面表示されます。
15	 録画	録画中は、アイコンが赤に変わります。
16	 アラーム	Smart Event のアラームを作動させるとアイコンが表示されます。
17	 アラーム	動作検知のアラームを作動させるとアイコンが表示されます。
18	 アラーム	上記2種類のアラームを除いた他のアラームを作動させるとアイコンが表示されます。
19	 ライブビュー開始/停止	ライブビュー開始/停止
20	 キャプチャ	クリックして現在の画像を撮り、設定したパスに保存します。 デフォルトのパスは C:\VMS\+-1\ IMAGE-MANUAL
21	 録画停止/開始	クリックしてビデオ録画を開始し、設定したパスに保存します。 デフォルトパスは C:\VMS\+-1\MS_Record. です。もう一度クリックすると録画が停止します。
22	 音声再生	音声入出力を有効にします。音声設定ページでも設定できます。
23	 パス設定保存	ライブビューの操作で撮られた画像やビデオ録画のストレージパスを設定します。
24	 デジタルズーム有効	有効にすると、マウスホイールを使ってビデオ画像の特定のエリアを拡大できます。



4.1.2 3D ポジショニング

3D ポジショニングでは、ユーザーはマウスクリックとドラッグを使用して PTZ を制御できます。

ステップ 1: ライブビューインターフェースのツールバーで、 をクリックします。

ステップ 2: 3D ポジショニング機能进行操作する

ライブビューの位置を左クリックすると、対応する位置がライブビューの中央に移動します。

▶マウスの左ボタンを押したままライブビューの右下または右上にマウスをドラッグすると、赤い四角形が表示されます。対応する位置がライブビューの中心に移動してズームインします。

▶ライブビュー上でマウスの左ボタンを押したままマウスを左下または左上にドラッグすると、赤い長方形が表示されます。対応する位置がライブビューの中心に移動され、ズームアウトされます。

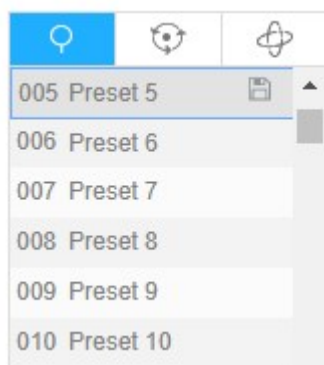
▶長方形が大きいほど、ズームイン/アウトが小さくなります。

4.1.3 設定/プリセット/パトロール/パターンを呼び出す


プリセットは、設定済みの画像位置です。プリセットリストから呼び出しボタンをクリックすると、目的の画像位置にすばやく移動できます。

プリセットを設定:

ステップ 1: PTZ コントロールパネルで、プリセットリストからプリセット番号を選択します。



ステップ 2: PTZ コントロールボタンを使ってレンズを目的の位置に移動します。


ステップ 3:  をクリックして現在のプリセットの設定を保存します。

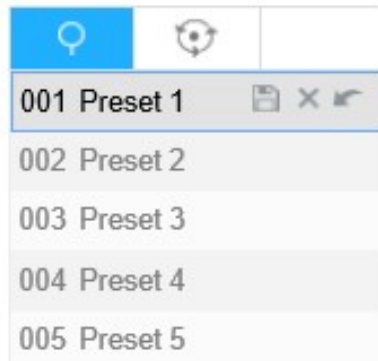
ステップ 4:  をクリックして選択したプリセットを削除します。

注意:

最大 237 のプリセットを設定できます (18 のプリセットは変更できません)。

プリセットを呼び出す:

プリセットリストから定義済みのプリセットを選択し、 クリックしてプリセットを呼び出します。

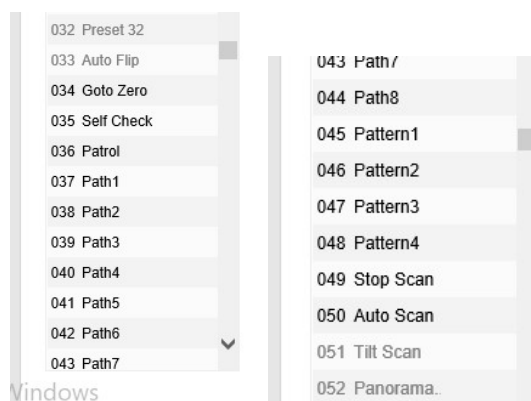


注意：

以下のプリセットは特別なコマンドであらかじめ定義されています。電話をかけることしかできませんが、設定することはできません。たとえば、プリセット 035 は「セルフチェック」です。プリセット番号 035 を呼び出すと、PTZ カメラはすぐにセルフチェック機能を開始します。

表 4-1-2 特別なプリセット

特別なプリセット	機能	特別なプリセット	機能
33	オートフリップ (プロドーム PTZ のみ)	42	パス 6
34	0 へ戻ります	43	パス 7
35	セルフチェック	44	パス 8
36	パトロール	45	パターン 1
37	パス 1	46	パターン 2
38	パス 2	47	パターン 3
39	パス 3	48	パターン 4
40	パス 4	49	スキャン停止
41	パス 5	50	オートスキャン





パトロールを設定/呼び出す：

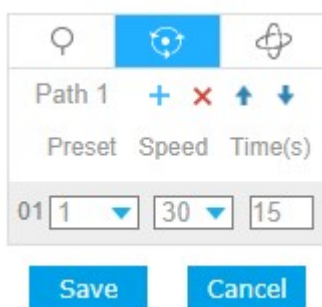
パトロールは記憶された一連のプリセット機能です。パトロール設定リストで設定して呼び出すことができます。あなたは最大 8 パトロールをカスタマイズすることができ、それは 48 のプリセットで設定することができます。パトロールを設定する前に、パトロールに追加したいプリセットが定義されていることを確認してください。

パトロールを設定：

ステップ 1： PTZ コントロールパネルで、 をクリックしてパトロール設定インターフェイスに入ります。

ステップ 2： パトロール番号を選択すると、設定アイコンが表示されますので、 をクリックしてください。


ステップ 3：  クリックすると、図 4-1-5 に示すように、このパトロールにプリセットが追加されます。



ステップ 4： プリセット番号、パトロール速度、パトロール時間を設定します。

表 4-1-3 パトロール設定の説明

アイテム	説明
パトロールスピード	あるプリセットから別のプリセットに移動する速度。
パトロール時間	1パトロールポイントにとどまる期間。PTZ カメラ設定したパトロール時間の経過後に別のパトロール地点に移動します。


ステップ 5： パトロール設定を保存するために、 クリックします。

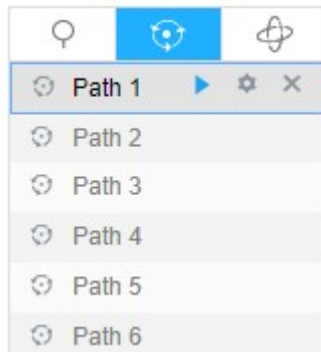
注意：

A.パトロール速度はパトロールモードでのみ機能します。

B.パトロール時間は、プロバレット PTZ の場合は 15~120 秒、プロドーム PTZ の場合は 0~120 秒にする必要があります。

パトロールを呼び出す：

PTZ コントロールパネルで、図 4-1-6 に示すように、パトロールリストから定義済みのパトロールを選択し、 クリックしてパトロールを呼び出します。




注意：

パトロールリストの後ろにある3つのボタンは、再生、設定、削除を意味します。

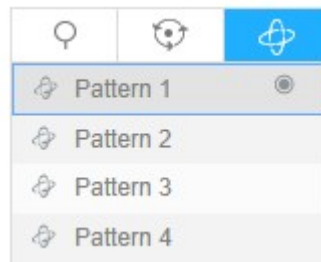
パターンを設定/呼び出す：

パターンは、一連の記憶された一連のパン、チルト、ズームおよびプリセット機能です。パターン設定画面で呼び出すことができます。最大4パターンまで設定できます。

パターンを設定：

ステップ1：PTZコントロールパネルで、 をクリックしてパターン設定インターフェースに入ります。

ステップ2：下図に示すように、パターンリストからパターン番号を選択します。



ステップ3： をクリックしてパン、チルト、ズームの動作を記録します。

ステップ4：PTZコントローラーボタンを使ってレンズを目的の位置に移動します。

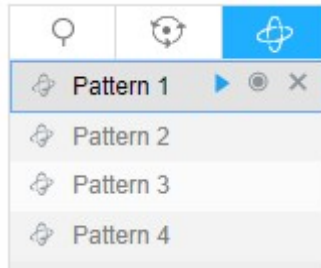
ステップ5： をクリックして、すべてのパターン設定を保存します。

注意：

OSD上の数値のパーセンテージは、パターンの残りのスペースです。100%から始めて0%を使い果たしてください。

パターンを呼び出す：

PTZコントロールパネルで、パターンリストから定義済みのパターンを選択し、クリックしてパターンを呼び出します（図 4-1-8 を参照）。



注意：

パターンリストの後ろの3つのボタンは、再生、停止、録音、削除を意味します。

パターンを設定するとき、パンとチルトは有効ですが、制限は停止し、オートフリップは無効になります。また、3D位置決め操作はサポートされていません。

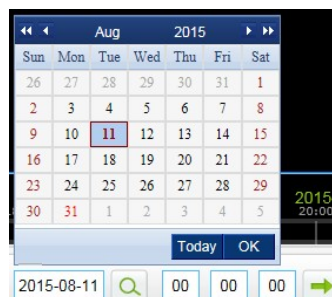
4.2 再生

このセクションでは、SD カードに保存されている録画済みビデオファイルの表示方法について説明します。

ステップ 1： メニューバーの「Playback」をクリックして再生インターフェースに入ります。




ステップ 2： 日付ボタンをクリックして、日付ウィンドウが表示されたら日付を選択します。



注意：

明るい赤の日付は現在の日付を意味します。濃い赤の数字と白い背景の日付は週末を意味します。濃い赤の数字と青い背景の日付は、今選択されている日付を意味します。

ステップ3:  をクリックして、この日に見つかったビデオファイルを再生します。

再生インターフェースのボタン上のツールバーを使用して再生の進行状況を制御できます。

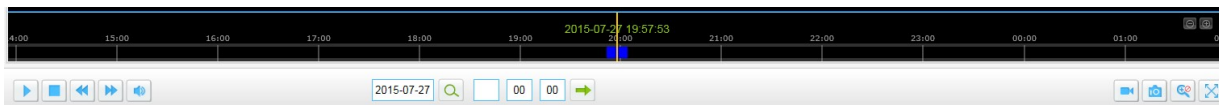


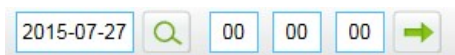


表 4-1-2 ボタンの説明

ボタン	操作
	再生
	一時停止
	停止
	スロー再生
	倍速再生
	音声 On/Off
	検索
	移動
	時間絞り込み／拡大
	録画開始／停止
	スナップショット
	ズーム On/Off
	全画面

注意：

マウスでプログレスバーをドラッグして正確な再生ポイントを決めます。時間を入力して  をクリックし、「Set Playback Time」フィールドで再生ポイントを決めることもできます。  をクリックして、プログレスバーをズームアウト／ズームインすることもできます。



4.3 ローカル設定

この設定ページでは、録画ファイル長さとストレージパスをカスタマイズできます。

Local Settings

Live View Settings

Record File Length:

Record File Path:

Preview Picture Path:

Playback Settings

Playback Record File Path:

Playback Picture Path:

4.4 基本設定

4.4.1 ビデオ

このモジュールでは、ストリームパラメータを設定し、さまざまなネットワーク環境や要求に適応させることができます。

プライマリストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Video Codec:

Frame Size:

Maximum Frame Rate: fps

Bit Rate: kbps

Smart Stream:

Level:

Bit Rate Control:

Profile:

I-frame Interval: frame(1-120)

セカンダリストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream **Secondary Stream** Tertiary Stream

Enable

Video Codec:

Frame Size:

Maximum Frame Rate: fps

Bit Rate: kbps

Smart Stream:

Level:

Bit Rate Control:

Profile:

I-frame Interval: frame(1-120)

ターシャリストリーム設定

Basic Settings >> Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Enable:	<input checked="" type="checkbox"/>
Video Codec:	H.264
Frame Size:	640*480
Maximum Frame Rate:	25 fps
Bit Rate:	1024 kbps
Smart Stream:	On
Level:	5
Bit Rate Control:	CBR
Profile:	Main
I-frame Interval:	50 frame(1-120)

Save

表 4-4-1 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Video Codec	H.265/H.264/MJPEG が利用可能
Frame Size	オプションに含まれるのは 8M(3840×2160)、6M(3072×2048)、5M(2592×1944)、5M(2560×1920)、5M(2560×1440)、4M(2592×1520)、3M(2304×1296)、3M(2048×1536)、1080P(1920×1080)、2M(1600×1200)、1.3M(1280×960)、720P(1280×720)、D1(704×576) セカンダリストリーム用に含まれるのは 704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176 ターシャリストリーム用に含まれるのは 1920×1080、1280×720、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320×176
Maximum Frame Rate	1 秒あたりの最大リフレッシュフレームレート
Bit Rate	ビットレートを 32～16384 Kbps に設定してください。 より高い値はより高いビデオ品質に対応し、より高い帯域幅も同様に必要とされます。
Smart Stream	Smart Stream モードは、高品質の画像を確保しながらネットワークカメラの帯域幅とデータ保存要件を大幅に削減する 10 レベルの調整が可能な Codec です。Smart Stream モードの On/Off は任意に設定できます。 Level : ニーズに合わせてレベル 1～10 が利用可能
Bit Rate Control	CBR : 固定ビットレート。CBR 出力は一定です。 VBR : 可変ビットレート。VBR ファイルでは時間セグメント毎に出力データ量が変化します。
Image Quality	Low/Medium/High が利用可能。この項目は VBR を選択した場合のみのオプションです。
Profile	H.264 用のオプション。ニーズに合わせて Main/High が選択可能

I-frame Interval	I-frame interval を 1~120 に設定してください。デフォルトは 50 です。この項目は H.265/H.264 を選択した場合のみのオプションです。数は必ずフレーム数の倍数にしてください。
JPEG Quality	Low/Medium/High/Higher が利用可能。この項目は MJPEG を選択した場合のみのオプションです。

注意：

「Frame Size」のオプションは、選択したモデルによって異なります。

4.4.2 画像

このモジュールでは、表示情報、画像の強調、デイ/ナイト設定を設定できます。（OSD オン・スクリーン・ディスプレイ）コンテンツとビデオ時間を表示することで豊富な画像情報が表示できます。

表示

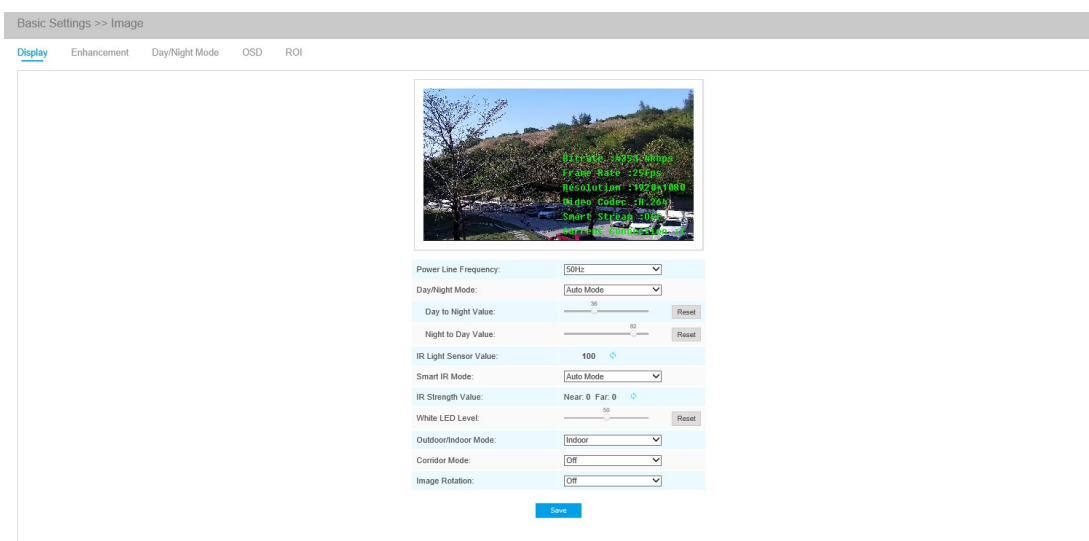
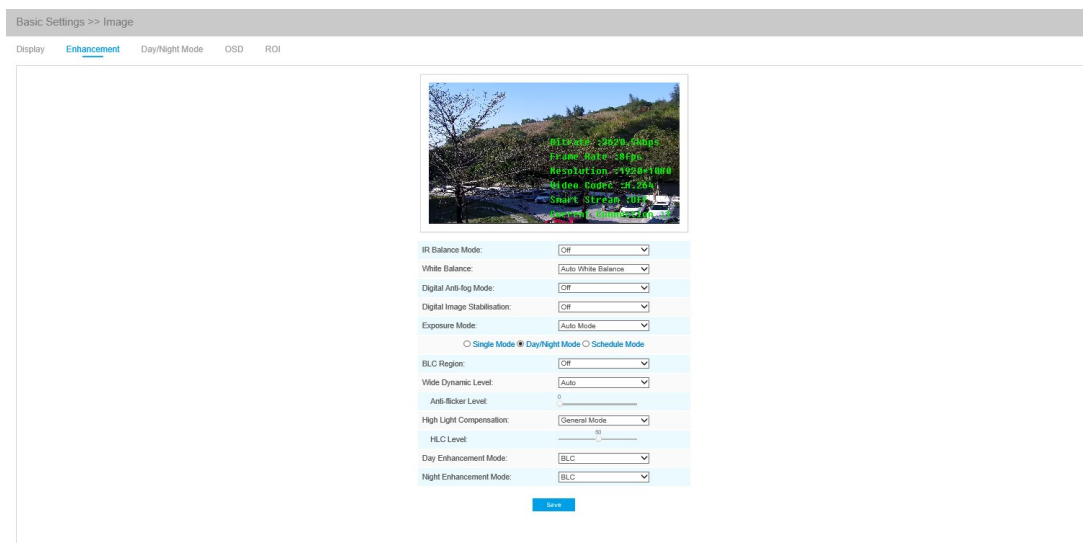


表 4-4-2 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Power Line Frequency	NTSC モードでは 60Hz フリッカ、PAL モードでは 50Hz フリッカ
Day/Night Mode	露出レベル、最大露出時間、IR-CUT 間隔など、このモードに関連したいくつかのパラメータがあります。 Night Mode：ナイトモード設定に基づいてライブビューで表示 Day Mode：デイモード設定に基づいてライブビューで表示 Auto Mode：環境に基づいてライブビューで表示し、デイモードをナイトモードに、またはナイトモードをデイモードに切り替える感度を設定 Customize：ナイトモードを開始/終了する時間設定に基づいてライブビューで表示

Day to Night Value	デイモードからナイトモードに切り替えるための感度です。赤外線センサーの現在値がこの値より低い場合、デイモードからナイトモードに切り替わります。
Night to Day Value	ナイトモードからデイモードに切り替えるための感度です。赤外線センサーの現在値がこの値より大きい場合、ナイトモードからデイモードに切り替わります。
IR Light Sensor Value	赤外線センサーの現在値
Smart IR Mode	赤外線 LED 技術の向上により、オブジェクトの距離に関係なく、ハイビームとロービームを組み合わせることで、より優れた画像の明瞭度と品質の提供が可能です。また、ロービームとハイビームの輝度は、ズーム比に基づいて手動または自動で調整できます。さらに、赤外線反射防止パネルを使用することで、赤外線の透過率が大幅に向上しています。 最高の効果を達成するため、赤外線強度設定のオートモードまたはカスタマイズをサポートします。
Near view level	ロービーム LED 照明の光の強度を 0~100 に調整します。
Far view level	ハイビーム LED 照明の光の強度を 0~100 に調整します。
IR Strength Value	ロービーム LED 照明とハイビーム LED 照明の光の量の現在値
Outdoor/Indoor Mode	ニーズに合わせて屋外または室内モードを選択します。
Corridor Mode	利用可能な3つのオプションから、ニーズに合わせて1つ選択できます。 Off : 画像を通常の方法に維持 Clockwise90° : 画像を時計回りに90°回転 Anticlockwise90° : 画像を反時計回りに90°回転
Image Rotation	利用可能な4つのオプションから、ニーズに合わせて1つ選択できます。 Off : 画像を通常の方法に維持 Rotating 180° : 画像を上下に反転 Flip horizontal : 画像を水平に反転 Flip vertical : 画像を垂直に反転

機能強化



機能強化（H.264 シリーズ）

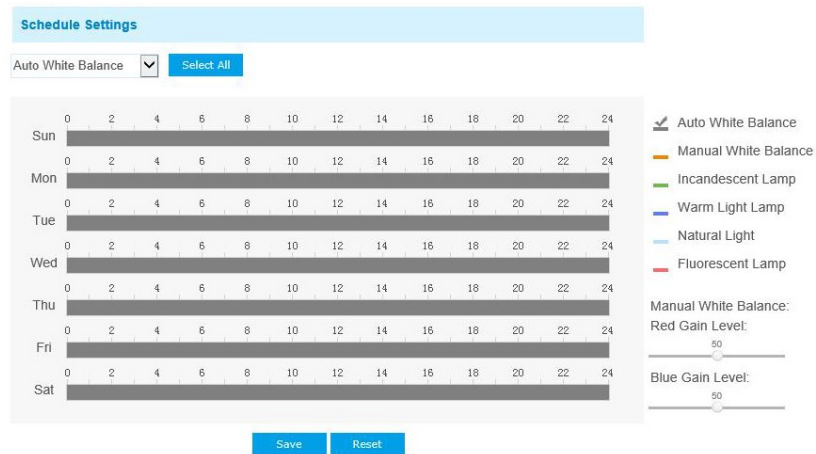
表 4-4-3 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
IR Balance Mode	赤外線 LED を On/Off するオプションがあります。 IR Balance Mode は、露出過多や暗さの問題を避け、赤外線 LED は実際の照明に応じて変化します。
White Balance	白いオブジェクトを白く映し、環境光による色のゆがみを除去します。 Auto White Balance : このオプションは自動的にホワイトバランス機能を有効にします。 Manual White Balance : このオプションは H.265 シリーズ専用です。赤ゲインレベルと青ゲインレベルを手動で設定してください。 Incandescent Lamp : 光が白熱灯と似ている場合は、このオプションを選択します。 Warm Light Lamp : 光が暖色光ランプと似ている場合は、このオプションを選択します。 Natural Light : 自然光以外の光がない場合は、このオプションを選択します。 Fluorescent Lamp : 光が蛍光灯と似ている場合は、このオプションを選択します。 Schedule mode : 上記のモードを有効/無効にするスケジュールをカスタマイズできます。
Reduce Motion Blur	この機能は H.264 シリーズ専用です。動くオブジェクトの画質は向上しますが、静止したオブジェクトの画質は低下する可能性があります。
Digital Anti-fog Mode	この機能は H.265 シリーズ専用です。霧が発生しているときの画質が向上します。図 4-4-10 を参照してください。
Digital Image Stabilization	この機能は H.265 シリーズ専用です。画像のぶれを軽減します。
Exposure Mode	Auto Mode、Manual Mode、Schedule Mode が利用できます。 Auto Mode : カメラは光環境に応じて輝度を自動的に調整します。 Manual Mode : カメラは設定値に応じて輝度を調整します。露出時間は 1~

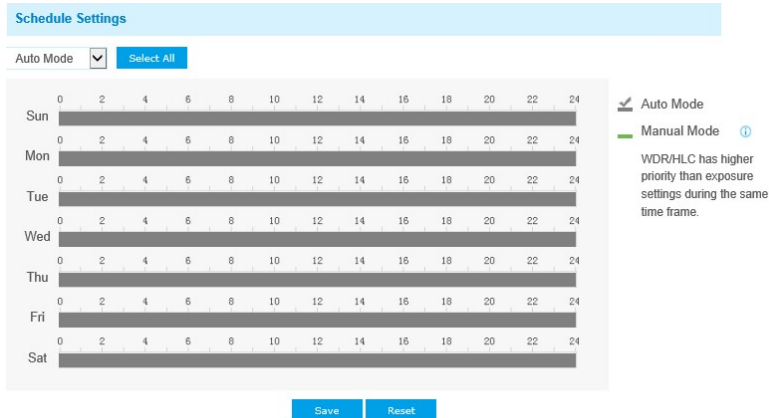
	<p>1/100000 秒の間で設定できます。値が高いほど、画像は明るくなります。</p> <p>Schedule Mode : Auto Mode と Manual Mode を有効/無効にするスケジュールをカスタマイズできます。</p>
Single Mode	BLC/WDR/HLC のシングルモードを設定します。
Day/Night Mode	Day Enhancement Mode/Night Enhancement Mode で BLC/WDR/HLC を個別にサポートします。
Schedule Mode	BLC/WDR/HLC のスケジュールモードを設定します。
BLC Region	<p>Off、Customize、Centre が使用できます (Single Mode では、WDR が無効の場合にのみ有効)。</p> <p>Off : 全視野を計算し、適切な光量補正を行います。</p> <p>Customize : このオプションを使用すると、補正エリアまたは補正無しエリアを手動でカスタマイズできます。</p> <p>Centre : このオプションは自動的にウィンドウの中央に補正エリアを設定し、必要な光量補正を行います。</p>
Wide Dynamic Range (WDR)	<p>同じフレーム内の明るい部分と暗い部分の両方を捉えて表示できるこの機能を使えば、明るい部分と暗い部分にある両方のオブジェクトの詳細が見られます。</p> <p>Off : WDR機能を無効にします。</p> <p>On : WDRを有効にします。Low/High/Autoの3つのレベルがあります。</p> <p>Customize : WDR機能を有効/無効にし、Low/High/Autoレベルを設定するスケジュールをカスタマイズします。</p>
Wide Dynamic Level	WDR を Low/High/Auto でレベル設定します。
Anti-flicker Level	照明条件によって画面に発生するちらつきを軽減します。ちらつき防止調整は 10 段階あります。
High Light Compensation (HLC)	<p>光が強いときに明るさを通常の範囲に調整する H.265 シリーズ専用の機能です。図 4-4-11 を参照してください。</p> <p>Off : HLC 機能を無効にします。</p> <p>General Mode : HLC の一般モードを有効にします。HLC レベル設定があります。</p> <p>Enhanced Mode : HLC の拡張モードを有効にします。HLC レベル設定があります。</p>
HLC Level	HLC レベルを選択します。
Day Enhancement Mode	BLC/WDR/HLC が利用できます。
Night Enhancement Mode	BLC/DR/HLC が利用できます。
Schedule Setting	BLC/WDR/HLC モードを有効/無効にするスケジュールをカスタマイズします。

注意：

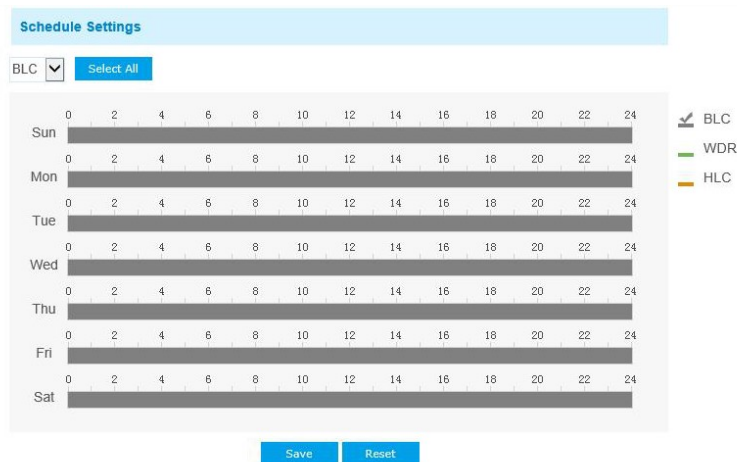
1) 異なるホワイトバランスモードを有効/無効にするスケジュールをカスタマイズできます。



2) 異なる露出モードを有効/無効にするスケジュールをカスタマイズできます。

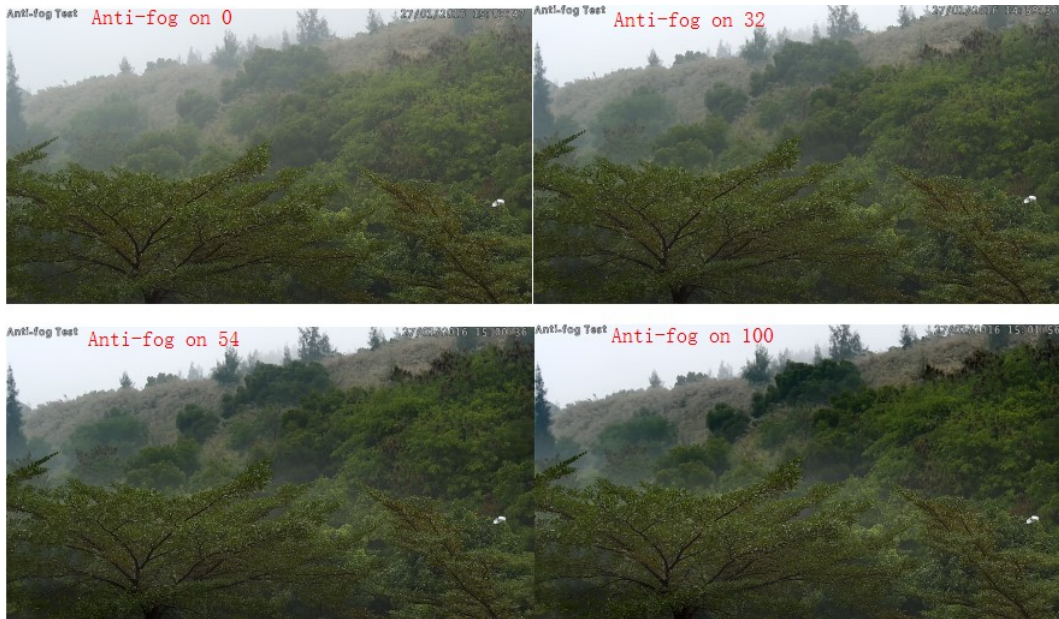


3) BLC/WDR/HLC モードを有効/無効にするスケジュールをカスタマイズできます。



4) 同じ時間フレームの中では、露出 (exposure) 設定のほうが WDR/HLC より優先順位が高くなっています。

5) 曇り止め画像



6) HLC 画像



デイ/ナイトモード

Basic Settings >> Image

Display Enhancement **Day/Night Mode** OSD ROI

Day/Night Mode							
Day/Night Mode	Exposure Level	Minimum Shutter	Maximum Shutter	IR-CUT Latency	IR-CUT	LED	Color Mode
Night Mode:	5	1/25	1/100000	5s	Off	AI LED On	B/W
Day Mode:	5	1/25	1/100000	5s	On	AI LED Off	Color

Schedule Mode								
<input type="checkbox"/>	Timer	Exposure Level	Minimum Shutter	Maximum Shutter	IR-CUT Latency	IR-CUT	LED	Color Mode
<input type="checkbox"/>	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	AI LED Off	B/W
<input type="checkbox"/>	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	AI LED Off	B/W
<input type="checkbox"/>	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	AI LED Off	B/W
<input type="checkbox"/>	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	AI LED Off	B/W
<input type="checkbox"/>	00:00 - 24:00	5	1/25	1/100000	5s	Off	AI LED Off	B/W

表 4-4-4 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Exposure Level	ニーズに合わせてレベル0～10が利用できます。
Minimum Shutter	最小シャッターは最大露出時間と同じです。最小シャッターを 1～1/100000 秒に設定してください。
Maximum Shutter	最大シャッターは最小露出時間と同じです。最大シャッターを 1～1/100000 秒に設定してください。
IR-CUT Latency	あるモードから別のモードに切り替える間隔です。
IR-CUT	赤外線カットを On または Off にします。
IR LED	赤外線 LED を On または Off にします。
Color Mode	デイ/ナイトモードで B/W またはカラーモードを選択します。
Schedule Mode	異なった時間における特別な要求をカスタマイズできます。デイモードとナイトモードは設定に従って自動的に切り替わります。

オン・スクリーン・ディスプレイ(OSD)

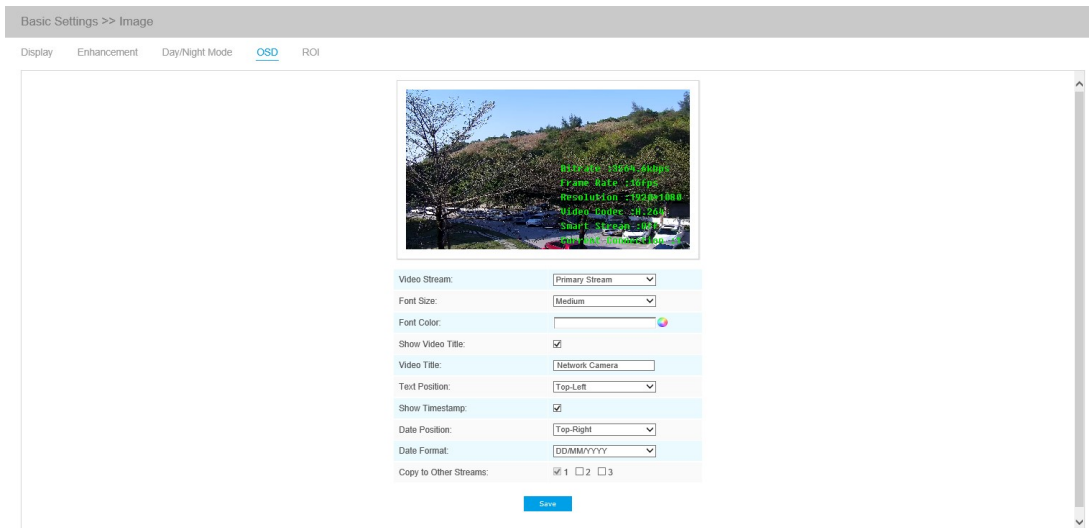


表 4-4-5 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Video Stream	有効にしてプライマリストリームとセカンダリストリームの OSD を設定します。
Font Size	タイトルと日付に最小/小/中/大/最大/オートが使用できます。

Font Color	タイトルと日付に異なった色が使用できます。
Show Video Title	ボックスにチェックを入れるとビデオタイトルが表示されます。
Video Title	OSD コンテンツがカスタマイズできます。
Text Position	画像上の OSD 表示位置
Show Time stamp	ボックスにチェックを入れると画面に日付が表示されます。
Date Position	画像上の日付表示位置
Date Format	日付のフォーマット
Copy to other streams	他のストリームに設定をコピーします。

ROI

対象領域（略：ROI）は、特定の目的のために識別されたデータセット内の選択されたサンプルのサブセットです。ユーザーは、対象を絞ったプレビューと録画のため、シーンの最大3つの主要領域を選択し、別々のストリームで送信することができます。

ROI 技術を使用すると、50%超のビットレートを節約できるため、要求される帯域幅が少なくなり、ストレージの使用量が減少します。従って、高解像度を得るために低いビットレートを設定することができます。

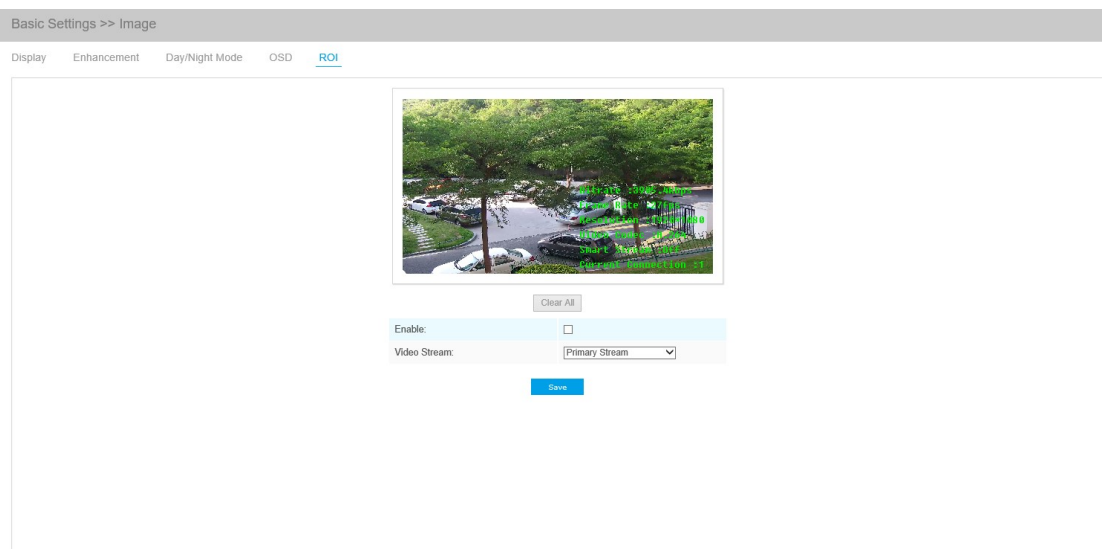


表 4-4-7 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable	ボックスにチェックを入れると ROI 機能が有効になります。

Clear All	以前に設定した全てのエリアがクリアされます。
Video Stream	ビデオストリームを選択します。

注意：

低ビットレートが設定できます。例えば、512Kbps のビットレートと 1080P の解像度を設定すると、ROI の画質が他の領域よりも鮮明でなめらかになります。

4.4.3 音声

この音声機能により、カメラからの音声を聞いたり、カメラ側に音声を送信したりできます。この機能で双方向通信も可能です。音声入力、設定された特定のアラームレベルを超えたときアラームが作動し、アラーム発生時には、設定された音声が再生できます。

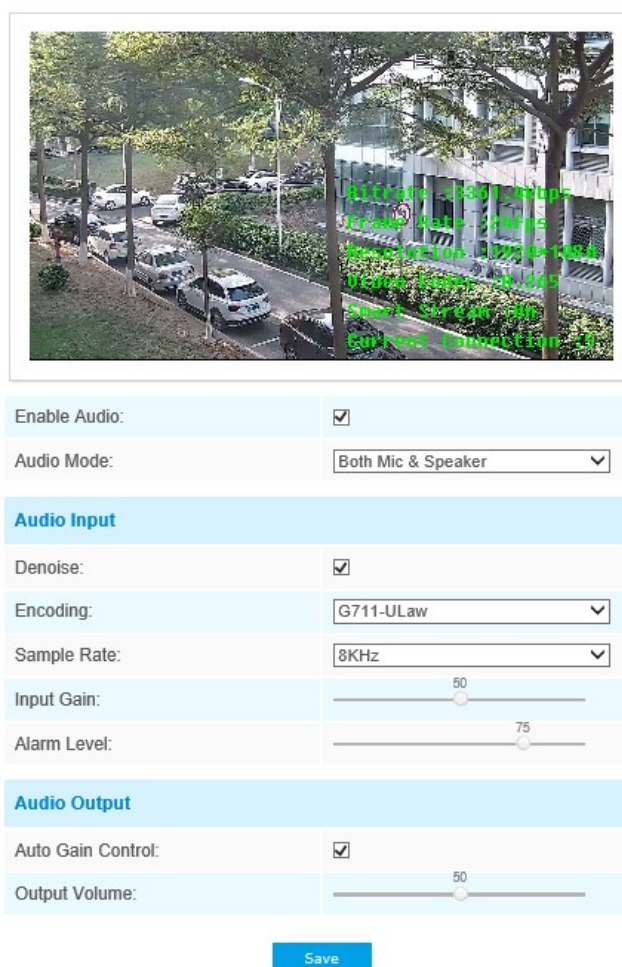


表 4-4-8 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable Audio	ボックスにチェックを入れると音声機能が有効になります。

Audio Input	<p>Denoise : On/Off を設定します。この機能を On に設定すると、検知されたノイズをフィルタリングすることができます。</p> <p>Encoding : G711-ULaw、G711-ALaw および AAC LC が利用できます。</p> <p>Sample Rate : 8KHz/16KHz の 2 つのオプションがあります。</p> <p>Input Gain : 入力音声ゲインレベル、0~100</p> <p>Alarm Level: 音声アラームが有効になっていて、入力音量がアラームレベル 0~100 より大きい場合、アラームが作動します。</p>
Audio Output	<p>Auto Gain Control (AGC) : この機能は H.265 シリーズ専用で、音声品質を向上させます。</p> <p>Output Volume : 出力音量を調整します。</p>

最大5つの音声ファイルを Audio web ページの Flash または SD カードに手動でアップロードできます。また、アップロード時に音声ファイルの名前を編集することもできます。

Audio File Storage Type:

Audio File Upload

Audio File Name:

Audio File:

ID	Audio File Name	Delete
1	audio	✖

Note: Only support '.wav' audio files with codec type PCM/PCMU/PCMA, 64kbps or 128kbps bitrate and no more than 500k!

注意 :

- 1) 音声モードと音声出力は特定のモジュール専用です。
- 2) Codec タイプが PCM/PCMU/PCMA、64kbps または 128kbps および 500k 以下の「.wav」音声ファイルのみをサポートします

4.4.4 ネットワーク

TCP/IP

<input type="radio"/> Get IPv4 address automatically	
<input checked="" type="radio"/> Use fixed IPv4 address	
IP Address:	<input type="text" value="192 . 168 . 8 . 156"/> <input type="button" value="Test"/>
IPv4 Subnet Mask:	<input type="text" value="255 . 255 . 252 . 0"/>
IPv4 Default Gateway:	<input type="text" value="192 . 168 . 8 . 1"/>
Preferred DNS Server:	<input type="text" value="8 . 8 . 8 . 8"/>
IPv6 Mode:	<input type="text" value="Manual"/> ▼
IPv6 Address:	<input type="text"/>
IPv6 Prefix:	<input type="text"/>
IPv6 Default Gateway:	<input type="text"/>

表 4-4-9 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Get IPv4 Address Automatically	DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得します。
Use fixed IP address	IPv4 Address : ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用されるアドレス。 IPv4 Subnet Mask : ネットワークカメラが配置されているサブネットを識別するために使用されます。 IPv4 Default Gateway : デフォルトルーターアドレス Primary DNS : DNS サーバーはドメイン名を IP アドレスに変換します。 IPv6 Mode : IPv6 用に別のモードを選択します。手動/ルート広告/DHCPv6 IPv6 Address : ネットワーク上のネットワークカメラを識別するための IPv6 アドレスです。 IPv6 Prefix : IPv6 アドレスのプレフィックス長を定義します。 IPv6 Default Gateway : デフォルトルーターの IPv6 アドレス

注意 :

「Test」ボタンはIPが競合しているかどうかをテストするために使用されます。

HTTP

HTTP Enable:	<input checked="" type="checkbox"/>
HTTP Port:	<input type="text" value="80"/>
HTTPS Enable:	<input checked="" type="checkbox"/>
HTTPS Port:	<input type="text" value="443"/>
HTTPS Settings	
Installed Certificate:	<input type="text" value="C=US, H/IP=maylong"/> <input type="button" value="Reset"/>
Attributes:	<pre>Awarded to: C=US, H/IP=maylong Issuer: C=US, H/IP=maylong Period of Validity: Feb 16 02:29:45 2016 ~ Nov 11 02:29:45 2018</pre>
Installation Type:	<input type="text" value="Create a Private Certificate"/> ▼
Create a Private Certificate:	<input type="button" value="Create"/>
<input type="button" value="Save"/>	

表 4-4-10 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
HTTP Enable	HTTP の使用を開始または停止します。
HTTP Port	Web GUIログインポート、デフォルトは80、ONVIFポートと同じです。
HTTPS Enable	HTTPS の使用を開始または停止します。
HTTPS Port	HTTPS経由のWeb GUIログインポート、デフォルトは443です。
HTTP Settings	SSL証明書をアップロードして設定します。

HTTP URL は以下のとおりです。

ストリーム	URL
メインストリーム	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpeg.cgi
セカンダリストリーム	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegcif.cgi
ターシャリストリーム	http://username:password@IP:port/mjpegthird.cgi

注意：

モデルが「-A」の H.264 カメラのメインストリームを除き、ストリームの Codec タイプを MJPEG に変更する必要があります。

RTSP

RTSP Port:	<input type="text" value="554"/>	
Playback Port:	<input type="text" value="555"/>	
RTP Packet:	<input type="text" value="Better Compatibility"/>	
Multicast Group Address:	<input type="text" value="239 . 6 . 6 . 6"/>	
QoS DSCP(0~63):	<input type="text" value="0"/>	

Save



表 4-4-11 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
RTSP Port	RTSP のポート、デフォルトは 554 です。
Playback Port	再生ポート、デフォルトは 555 です。
RTP Packet	「Better Compatibility」と「Better Performance」の 2 つのオプションがあります。カメラの画像が乱れる場合は、このオプションを切り替えてください。
Multicast Group Address	マルチキャスト機能をサポートします。
QoS DSCP	DSCP の有効値の範囲は 0~63

RTSP URL は以下のとおりです。

ストリーム	URL
メインストリーム	rtsp://username:password@IP:port/main
セカンダリストリーム	rtsp://username:password@IP:port/sub
ターシャリストリーム	http://username:password@IP:port/third

注意：

- 1) 「RTSP Port」の右側にある「」をクリックして RTSP URL のフォーマットを取得します。
- 2) 「Playback Port」の右側にある「」をクリックして再生のヒントを取得します。
- 3) DSCP は、「Differentiated Service Code Point」を指しており、DSCP 値は、データの優先順位を示すために IP ヘッダーで使用されます。
- 4) 設定を有効にするには再起動が必要です。
- 5) ターシャリストリームは、モデルに「-A」または「-B」が付いているカメラにのみ搭載されています。

UPnP

ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）は、ネットワーク機器、ソフトウェア、およびその他のハードウェアデバイス間の互換性を提供するネットワークアーキテクチャです。UPnPプロトコルは、装置がシームレスに接続することを可能にし、家庭および企業環境におけるネットワーク化を容易にします。この機能を有効にすると、ポートごとにポートマッピングを設定する必要がなくなり、カメラはルーターを経由してワイドエリアネットワークに接続されます。

Enable UPnP:	<input type="checkbox"/>		
Port Mapping			
Enable Port Mapping:	<input type="checkbox"/>		
Name:	<input type="text" value="UPnP"/>		
Type:	<input type="text" value="Auto"/>		
Protocol Name	External Port	Internal Port	Status
HTTP	<input type="text" value="21202"/>	<input type="text" value="80"/>	Invalid
RTSP	<input type="text" value="23202"/>	<input type="text" value="554"/>	Invalid
Playback	<input type="text" value="25202"/>	<input type="text" value="555"/>	Invalid
<input type="button" value="Save"/>			

表 4-4-12 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable	チェックボックスにチェックを入れて UPnP 機能を有効にします。
Enable Port Mapping	チェックボックスにチェックを入れてポートマッピングを有効にします。
Name	オンラインで検知されたデバイスの名前は編集できます。
Type	Auto : 設定なしで、対応するHTTPとRTSPポートを自動的に取得します。 Manual : 適切なHTTPポートとRTSPポートを手動で設定する必要があります。 Manualを選択すると、自分でポート番号の値をカスタマイズできます。

DDNS

DDNS を使用すると、IP アドレスではなくドメイン名を経由してカメラにアクセスできます。IP アドレスが変更されてドメイン情報が動的に更新されます。プロバイダーからアカウントを登録する必要があります。

DDNS is not running

Enable DDNS:

Provider: freedns.afraid.org

Hash:

Host Name:

Save

DDNS のプロバイダーとして「freedns.afraid.org」を選択できます。ユーザー登録をしてポート転送を行った後は、デバイスにアクセスできます。

表 4-4-13 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable DDNS	チェックボックスにチェックを入れて DDNS サービスを有効にします。
Provider	DDNS プロバイダーからサポートを受けてください : ddns.milesight.com 、 freedns.afraid.org 、 dyndns.org 、 www.no-ip.com 、 www.zoneedit.com DDNS のプロバイダーをカスタマイズすることもできます。
Hash	検証に使用される文字列。「freedns.afraid.org」の場合のみ。
User name	DDNS プロバイダーからのアカウント名。「freedns.afraid.org」には使用できません。
Password	アカウントのパスワード。「freedns.afraid.org」には使用できません。
Host name	アカウントで有効になっている DDNS 名

注意：

- 1) DDNS を使用する前に、HTTP ポートと RTSP ポートのポート転送を行ってください。
- 2) RTSP の内部ポート番号と外部ポート番号が同じであることを確認してください。

E メール

アラームビデオファイルは、SMTP サーバーを経由して特定のメールアカウントに送信できます。使用する前に必ず SMTP を正しく設定してください。

User Name:	<input type="text" value="hdipnc"/>
Sender Email Address:	<input type="text" value="hdipnc@sina.com"/>
Password:	<input type="password" value="*****"/>
SMTP Server:	<input type="text" value="smtp.sina.com"/>
SMTP Port:	<input type="text" value="25"/>
Recipient Email Address1:	<input type="text" value="user@domain.com"/>
Recipient Email Address2:	<input type="text"/>
Encryption:	<input type="radio"/> SSL <input type="radio"/> TLS

表 4-4-14 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
User Name	送信者の名前。通常はアカウント名と同じです。
Sender Email Address	ビデオファイルを添付した E メールを送信するための E メールアドレス
Password	送信者のパスワード
SMTP Server	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名（例：smtp.gmail.com）
SMTP Port	SMTP サーバーのポート。SMTP のデフォルトの TCP/ IP ポートは 25 です（保護されていません）。SSL/TLS ポートの場合は、使用するメールによって異なります。
Recipient Email Address1	ビデオファイルを受信するためのメールアドレス
Recipient Email Address2	ビデオファイルを受信するためのメールアドレス
Encryption	SMTP サーバーが要求する場合は、チェックボックスにチェックを入れて SSL または TLS を有効にしてください。

FTP

アラームビデオファイルは特定の FTP サーバーに送信できます。使用する前に FTP を必ず正しく設定してください。

FTP Server Settings	
Server Address:	<input type="text" value="192.168.8.72"/>
Server Port:	<input type="text" value="21"/>
User Name:	<input type="text" value="admin"/>
Password:	<input type="password" value="*****"/>
FTP Storage Settings	
Storage Path:	<input type="text" value="Child Directory"/>
Parent Directory:	<input type="text" value="IP Address"/>
Child Directory:	<input type="text" value="Device Name"/>
Alarm Action File Name:	<input type="text" value="Customize"/>
Video File Name:	<input type="text" value="YYYY-MM-DD"/>
Image File Name:	<input type="text" value="YYYY-MM-DD"/>
Timing Snapshot File Name:	<input type="text" value="Default(YYYY-MM-DD)"/>

表 4-4-15 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Server Address	FTP サーバーアドレス
Server Port	FTP サーバーのポート、一般的には 21
User Name	FTP サーバーへのログインに使用されるユーザー名
Password	ユーザーパスワード
Storage Path	ビデオと画像が FTP サーバーにアップロードされるストレージパス Root Directory、Parent Directory、Child Directory、Customize の 4 つの FTP ストレージパスタイプがあります。
Parent Directory	Parent Directory のフォルダ名として IP アドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。
Child Directory	Child Directory のフォルダ名として IP アドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。
Multilevel Folder Name	ストレージパスが 2 レベルを超える場合は、ここに手動でマルチレベル FTP ストレージパスを入力します。
Alarm Action File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD) を選択するか、Alarm Action File Name をカスタマイズします。
Video File Name	Video File Name をカスタマイズする場合は YYYY-MM-DD/MM-DD-YYYY/DD-MM-YYYY/Add Prefix が可能です。

Image File Name	Image File Name をカスタマイズする場合は YYYY-MM-DD/MM-DD-YYYY/DD-MM-YYYY/Add Prefix が可能です。
Timing Snapshot File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/DD-MM-YYYY/Add prefix/ベースファイル名で上書きが可能です。

注意：

Parent Directory は Root Directory の下、Child Directory は Parent Directory の下にあります。

VLAN

仮想 LAN (VLAN) は、コンピュータネットワークのデータリンク層 (OSI 層 2) において分割され分離されている任意のブロードキャストドメインです。LAN は「ローカルエリアネットワーク」の略語です。VLAN を使用すると、ホストが同じネットワークスイッチ上にない場合でも、ネットワーク管理者はホストをグループにまとめることができます。VLAN メンバーシップがソフトウェアを介して設定できるため、ネットワークの設計と展開が大幅に簡素化できます。VLAN がないと、リソースのニーズに応じてホストをグループ化するために、ノードの移動やデータリンクの再配線が必要になります。

VLAN Enable:	<input checked="" type="checkbox"/>
VLAN ID(1~4094):	<input type="text" value="1"/>
VLAN IP:	<input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/>
VLAN Netmask:	<input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/>
VLAN Gateway:	<input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/> <input type="text" value="."/>

注意：

スイッチに VLAN を設定する方法は、スイッチのユーザーマニュアルを参照してください。

PPPoE

このカメラは PPPoE 自動ダイヤルアップ機能をサポートしています。カメラがモデムに接続された後、カメラは ADSL ダイヤルアップによってパブリック IP アドレスを取得します。ネットワークカメラの PPPoE パラメータを設定する必要があります。

Enable PPPoE:	<input type="checkbox"/>
Dynamic IP:	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
User Name:	<input type="text"/>
Password:	<input type="text"/>
Confirm Password:	<input type="text"/>

注意：

- 1) 取得したIPアドレスはPPPoEを介して動的に割り当てられるため、IPアドレスはカメラの再起動後に常に変更されます。動的IPの不便さを解決するには、DDNSプロバイダーからドメイン名を入手する必要があります (例 : DynDns.com) 。
- 2) インターネットサービスプロバイダーからのユーザー名とパスワードの割り当てが必要です。

SNMP

SNMP 機能を設定して、カメラのステータス、パラメータ、およびアラーム関連の情報を取得し、ネットワークに接続されているカメラを遠隔管理できます。

SNMP を設定する前に、SNMP ソフトウェアをダウンロードし、SNMP ポート経由でカメラ情報を受信してください。Trap address を設定すると、カメラはアラームイベントと例外メッセージを監視センターに送信できます。

SNMP v1/v2	
SNMP V1 Enable:	<input type="checkbox"/>
SNMP V2c Enable:	<input type="checkbox"/>
Write Community:	<input type="text" value="public"/>
Read Community:	<input type="text" value="private"/>
SNMP v3	
SNMP V3 Enable:	<input type="checkbox"/>
Read Security Name:	<input type="text"/>
Level of Security:	<input type="text" value="no auth,no priv"/>
Write Security Name:	<input type="text"/>
Level of Security:	<input type="text" value="no auth,no priv"/>
SNMP Port	
SNMP Port:	<input type="text" value="161"/>

表 4-4-16 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
SNMP v1/2/3	SNMP のバージョン。SNMP ソフトウェアのバージョンを選択してください。 SNMP v1 : セキュリティを提供しません。 SNMP v2 : アクセスにパスワードが必要です。 SNMP v3 : 暗号化を提供し、HTTPS プロトコルを有効にする必要があります。
Write Community	Write Community の名前を入力してください。
Read Community	Read Community の名前を入力してください。
Trap Address	Trap address を入力してください。
Trap Port	Trap port を設定してください。デフォルトは 162 です。
Trap Community Name	Trap community の名前を入力してください。
Read Security Name	Read Security Community の名前を入力してください。
Level of Security	利用可能な 3 つのレベルがあります : (auth、priv) 、 (auth、no priv) および (no auth、no priv)
Write Security Name	Write Security Community の名前を入力してください。

Level of Security	利用可能な 3 つのレベルがあります : (auth、priv)、(auth、no priv)および(no auth、no priv)
SNMP Port	SNMP のポート、デフォルトは 161 です。

注意 :

- 1) SNMPソフトウェアの設定は、ここで行う設定と同じにする必要があります。
- 2) 設定を有効にするには再起動が必要です。

802.1x

IEEE 802.1X 規格はネットワークカメラでサポートされており、この機能を有効にするとカメラデータが保護され、カメラを IEEE 802.1X で保護されたネットワークに接続するときにユーザー認証が必要になります。

Enable 802.1x:	<input checked="" type="checkbox"/>
Protocol:	EAP-MD5 ▼
Eapol Version:	1 ▼
User Name:	<input type="text"/>
Password:	<input type="password"/>
Confirm Password:	<input type="password"/>

4.4.5 日付と時刻

Current System Time	
Date:	<input type="text" value="03/02/2018"/>
Time:	<input type="text" value="01:42:00"/>
Set the System Time	
Time Zone:	-8 United States - Pacific Time ▼
Daylight Saving Time:	Disabled ▼
NTP Sync:	<input checked="" type="checkbox"/> Interval: <input type="text" value="1 day"/> ▼
<input type="radio"/> Synchronize with computer time	
Date:	<input type="text" value="03/02/2018"/>
Time:	<input type="text" value="17:41:59"/>
<input type="radio"/> NTP server	
<input type="radio"/> Manual	

現在のシステム時刻

システムの現在の日付と時刻

システム時刻を設定する

表 4-4-17 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Time Zone	現在地のタイムゾーンを選択してください。
Daylight Saving time	Daylight Saving Time を有効にします。
NTP Sync	インターバル時間に従って定期的に時間を更新します。
Synchronize with computer time	時間をコンピューターと同期させます。
NTP server	NTP サーバーのアドレスを入力してください。
Encryption Type	設定した SNTP サーバーの時間と選択したタイムゾーンとを同期させます。
Manual	システム時刻を手動で設定します。

4.5 詳細設定

4.5.1 アラーム


動作検知 (Motion Detection)

ステップ 1: 動作領域(Motion Region)を設定します。

Enable Motion Detection:

Onvif Motion ActiveCells Settings:

Set Motion Region



Bitrate : 6241.7kbps
Frame Rate : 31fps
Resolution : 1920x1080
Video Codec : H.264
Smart Stream : OFF
Current Compression : 1/4

Select All Clear All

Note: Please draw the screen for setting!

Sensitivity

表 4-5-1 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable Motion Detection	チェックボックスにチェックを入れて動作検知機能を有効にしてください。
Onvif Motion ActiveCells Settings	オプションには、「Normal」および「Compatible」があります。他社製ソフトウェアの動作領域の設定が当社のもとは異なる場合は、このオプションを「Compatible」に設定してください。
Select All	ボタンをクリックすると、エリア内の動きが検知されます。
Clear All	ボタンをクリックすると、前に描かれた領域が削除されます。
Sensitivity	感度レベル、1～10

ステップ 2：動作検知スケジュールを設定します。

Schedule Settings

[Edit](#)

ステップ 3：Alarm Action を設定します。

Alarm Action

Save Into Storage:	<input type="checkbox"/> File Format: Record ▼ <small>(Please mount storage device.)</small>
Upload Via FTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Record ▼
Upload Via SMTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Snapsho ▼
External Output:	<input type="checkbox"/> <small>(Please configure the External Output Action Time.)</small>
Play Audio:	<input type="checkbox"/> <small>(Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)</small>
Alarm to SIP Phone:	<input type="checkbox"/> <small>(Please open the SIP.)</small>
HTTP Notification:	<input type="checkbox"/>

表 4-5-2 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Save Into Storage	アラーム記録ファイルを SD カードまたは NAS に保存します。
Upload Via SMTP	SMTP 経由でファイルをアップロードします。
External Output	カメラに外部出力が搭載されている場合は、動作持続時間を設定した後に、機能を有効にできます。
Play Audio	カメラに音声スピーカーが搭載されている場合は、音声スピーカーの設定を行った後に機能を有効にできます。
Play Buzzer	カメラにブザーが搭載されている場合は、チェックボックスにチェックを入れて機能を有効にできます。
Alarm to SIP Phone	SIP 機能を有効にした後、SIP 電話の呼び出しをサポートします。
HTTP Notification	指定された HTTP URL におけるアラームニュースのポップアップをサポートします。
White LED	アラームが作動すると、白色 LED が点灯して、検出されたオブジェクトを警告します（プロバレット PTZ のみ）。
PTZ Motion	モーションアラームが作動すると、PTZ Motion はカメラがレンズをモーション作動位置に移動してズームインすることを可能にします。
Call Preset/ Call Patrol/ Call Pattern (only for External Input)	モーションアラームがトリガされると、指定されたプリセット/パトロール/パターンが呼び出されます。

注意：

HTTP notification 機能は、カメラが VMS ソフトウェアにメッセージを送信するための単なる 1 つの方法です。メッセージが何を意味するのかを定義し、この種のメッセージを受け取った後に何をすべきかを決定するのは VMS です。そのため、カメラの HTTP Notification 機能を使用できるのは、VMS がこの種のメッセージフォーマットをサポートしている場合だけです。

ここでは HTTP Notification 機能を紹介する例として Digifort を取り上げます。

以下は、Digifort VMS とカメラに HTTP Notification を設定する詳細なステップです。

ステップ 1：アラームを有効にし、動作領域と検知スケジュールを設定します。

ステップ 2：Alarm Action として HTTP Notification にチェックを入れて、フィールドを埋めてから Alarm setting を保存します。

HTTP Notification:	<input checked="" type="checkbox"/>
HTTP Notification URL:	192.168.8.75:8601/Interface /Cameras/MotionDetection /Notify?Camera=annie
HTTP User Name:	admin
HTTP Password:	*****

HTTP User Name: admin (カメラのユーザー名)

HTTP Password: 123456 (カメラのパスワード)

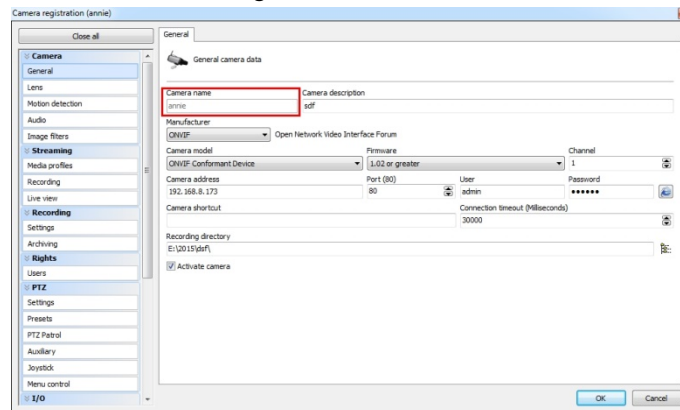
HTTP Notification URL:

<http://IP:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=CameraName>

IP は Digifort がインストールされている PC の IP を指します。

8601 は Digifort の動作信号用のポートです。

CameraName は、下の図のように、Digifort VMS で設定したカメラ名です。

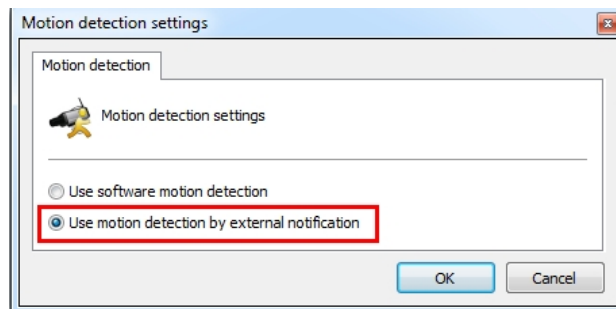


例：

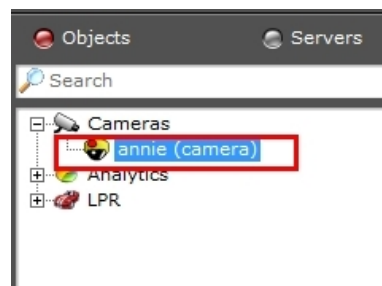
<http://192.168.8.75:8601/Interface/Cameras/MotionDetection/Notify?Camera=annie>

この URL フォーマットは Digifort VMS で正確にサポートされているので、上記のようにカメラに設定してカメラをうまく作動させることができます。

ステップ 3：「Use motion detection by external notification」を選択します。



ステップ 4：成功すると、カメラに動作検知アラームが設定されていれば Surveillance の中でデバイスアイコンが黄色に変わるのが見えます。



従って、この機能をうまく使うことができるかどうかを決めるのは VMS ソフトウェアです。

ステップ 5：Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Pre-record:	0 second ▼
Snapshot:	1 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

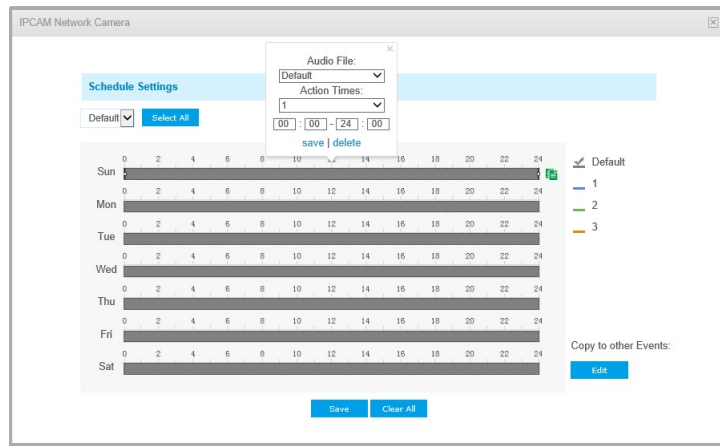
[Save](#)

表 4-5-3 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Record Video Sections	6つの異なる時間が利用可能です（5、10、15、20、25、30秒）。
Pre-record	アラーム前の録画時間を予約します。0～10秒
Snapshot	スナップショット数。1～5
Snapshot Interval	スナップショットに1を超える数を選択しない限り、編集できません。
External Output Action Time	アラームが持続する時間。最初に Alarm Action の External Output を有効にしない限り編集できません。
Audio Action Settings	音声スケジュールを設定して、異なる音声ファイルと動作時間を、異なる時間に作動させます。これは、アラーム動作に対応しています。
Play Audio Interval	オート/10秒/30秒/1分/5分/10分が利用可能です。
White LED Flash Mode	Twinkle: 白色 LED は回復する前に点滅し続けます。 Always: 白色 LED は回復する前に常に開きます。
White LED Flash Time	フラッシュの持続時間： Twinkle: 1秒から10秒まで Always: 1秒から60秒まで
Proportional Zoom Times	PTZ モーションがトリガーされたときに比例ズームすることをサポートします。
PTZ Motion Recovery Time	1つのアラームの持続時間。 それはフラッシュ時間より長くなければなりません。

注意：

- 1) 回復時間はフラッシュ時間より短くはいけません。
- 2) Audio Action のスケジュールをカスタマイズできます。



音声アラーム (Audio Alarm)

音声アラーム機能を使用する前に「Audio」を有効にします。

Enable Audio Alarm:

Schedule Settings

Sun	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Mon	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Tue	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Wed	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Thu	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Fri	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sat	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24

Edit

Alarm Action

Save Into Storage: File Format: Record (Please mount storage device.)

Upload Via FTP: File Format: Record

Upload Via SMTP: File Format: Snapshot

External Output: (Please configure the External Output Action Time.)

Play Audio: (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)

Alarm to SIP Phone: (Please open the SIP.)

HTTP Notification:

Alarm Setting

Record Video Sections: 5 seconds

Pre-record: 0 second

Snapshot: 3

Snapshot Interval: 1 second

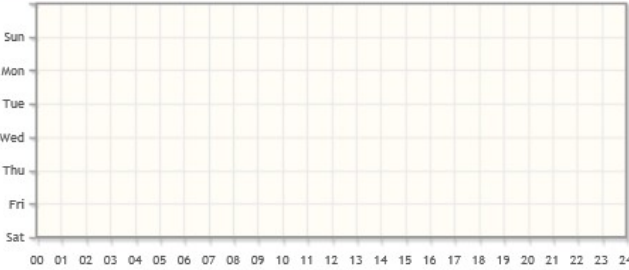
External Output Action Time: 30 seconds

Audio Action Settings: **Edit**

Play Audio Interval: Auto

項目の意味はここでは繰り返さないのので、表 4-5-2 と 4-5-3 を参照してください。

外部入力 (External Input)

Enable External Input:	<input type="checkbox"/>
Schedule Settings	
	
<input type="button" value="Edit"/>	
Alarm Action	
Save Into Storage:	<input type="checkbox"/> File Format: Record <input type="button" value="v"/> (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Record <input type="button" value="v"/>
Upload Via SMTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Snapshot <input type="button" value="v"/>
External Output:	<input type="checkbox"/> (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	<input type="checkbox"/> (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)
Alarm to SIP Phone:	<input type="checkbox"/> (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	<input type="checkbox"/>
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds <input type="button" value="v"/>
Pre-record:	0 second <input type="button" value="v"/>
Snapshot:	3 <input type="button" value="v"/>
Snapshot Interval:	1 <input type="text"/> second <input type="button" value="v"/>
External Output Action Time:	30 seconds <input type="button" value="v"/>
Audio Action Settings:	<input type="button" value="Edit"/>
Play Audio Interval:	Auto <input type="button" value="v"/>

項目の意味はここでは繰り返さないで、表 4-5-2 と 4-5-3 を参照してください。

その他のアラーム

Alarm Type	Network Lost ▼
Enable Network Lost Alarm:	<input type="checkbox"/>
Alarm Action	
Save Into SD Card:	<input type="checkbox"/> File Format: AVI ▼ (Please insert SD card.)
External Output:	<input type="checkbox"/> (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	<input type="checkbox"/> (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)
Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Pre-record:	0 second ▼
Snapshot:	1 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

[Save](#)

表 4-5-4 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Alarm Type	Network Lost、Tampering および IP Address Conflicted が使用可能です。 チェックボックスにチェックを入れて、選択したアラームのタイプを有効にしてください。
Alarm Action	Save Into SD Card : アラーム記録ファイルを SD カードに保存します。 External Output : カメラに外部出力が搭載されている場合は、動作持続時間を設定した後に、機能を有効にできます。 Play Audio : カメラにスピーカーが搭載されている場合は、音声スピーカーを設定した後に機能を有効にできます。 Play Buzzer : カメラにブザーが搭載されている場合は、チェックボックスにチェックを入れて機能を有効にできます。 White LED: カメラが装備されている場合、アラームがトリガーされたときに白色 LED が警告信号として点滅することがあります (Mini (PoE) PTZ Bullet のみ)。
Alarm Setting	Record Video Sections : 6 つの時間が利用可能です(5、10、15、20、25、30 秒)。 Pre-record : アラーム前の録画時間を予約します。0~10 秒 Snapshot : スナップショット数。1~5 Snapshot Interval : スナップショットに 1 を超える数を選択しない限り、編集できません。 Trigger Duration: アラームが持続する時間。これは、最初にアラームアクションの

外部出力を有効にしている場合を除き、編集できません。

External Output Action Time : アラーム持続時間。最初に Alarm Action の External Output を有効にしない限り編集できません。

Audio Action Settings : 音声スケジュールを設定して、異なる音声ファイルと動作時間を、異なる時間に作動させます。これは、アラーム動作に対応しています。

Play Audio Interval : オート / 10 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分が利用可能です。

White LED Flash Mode: Twinkle と Always 利用可能です。

White LED Flash Time: フラッシュの持続時間は Twinkle の場合 1 秒から 10 秒まで、Always の場合 1 秒から 60 秒まで。

White LED Effective Mode: 常に、Light Environment と Customize は利用可能です。

Always Mode では、白色 LED を常に点灯させることができます。光環境モードでは、現在の光強度に基づいて白色 LED を点灯させる有効光強度を設定できます。カスタマイズモードでは、白色 LED を制御するための開始時間と終了時間を設定できます。

外部出力 (External Output)

External Output	
Normal Status:	<input type="radio"/> Open <input checked="" type="radio"/> Grounded
Current Status:	Grounded

まず Normal Status を設定してください。Current Status が Normal Status と異なる場合、アラームが発生します。

4.5.2 ストレージ

始める前に :

録画を設定するには、ネットワークストレージデバイスがネットワーク内にあるか、SD カードがカメラに挿入されていることを確認してください。

必要に応じてストレージモードを選択してください。

ストレージ管理

SD カード :

SD Card Settings	
Total Size:0M Free Size:0M Used Size:0M	<input type="button" value="Format"/>

Note: Please insert SD card.

表 4-5-5 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Format	フォーマット SD カード。SD カード内のファイルは削除されます。
Mount/UnMount	SD カードのマウント／マウント解除
Delete	サイクリックストレージを有効にし、空きディスク容量が特定の値に達すると、設定に応じて自動的に特定の割合でファイルを削除します。

NAS

ネットワークディスクはネットワーク内で使用可能で、記録されたファイルなどを保存するように正しく設定されている必要があります。

NAS (Network Attached Storage) は、ストレージデバイスを既存のネットワークに接続し、データとファイルのサービスを提供します。

NAS Settings

Server Address:

File Path:

Mounting Type:

表 4-5-6 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Server Address	NAS サーバーの IP アドレス
File Path	NAS ファイルのパスを入力します。例：「\path」
Mounting Type	NFS と SMB/CIFS が利用可能です。SMB/CIFS が選択されている場合は、セキュリティを保証するためにユーザー名とパスワードを設定できます。

注意：

最大 5 台の NAS ディスクをカメラに接続できます。

録画設定

Storage Settings

Enable Recycle Storage:

Save

Schedule Settings

Sun																							
Mon																							
Tue																							
Wed																							
Thu																							
Fri																							
Sat																							

Edit

表 4-5-7 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable Recycle Storage	リサイクルストレージを有効／無効にします。このオプションを有効にすると、空きディスク容量が特定の値に達するとファイルが削除されます。
Schedule Settings	録画スケジュールを編集するには、「Edit」ボタンをクリックします。

注意：

SD カードまたは NAS が利用可能です。

スナップショット設定

Snapshot Settings	
Enable Timing Snapshot:	<input type="checkbox"/>
Interval:	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="hour"/>
Save Into Storage:	<input type="checkbox"/> (Please mount storage device.)
File Name:	<input type="text" value="Add Time Suffix"/>
Upload Via FTP:	<input type="checkbox"/>
Upload Via SMTP:	<input type="checkbox"/>

[Save](#)

Schedule Settings	
Sun	
Mon	
Tue	
Wed	
Thu	
Fri	
Sat	
	00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

[Edit](#)

表 4-5-8 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Snapshot Settings	<p>Enable Timing Snapshot : チェックボックスにチェックを入れて Timing Snapshot 機能を有効にします。</p> <p>Interval : スナップショットの間隔を設定します。数字を入力して単位(ミリ秒、秒、分、時間、日)を選択してください。</p> <p>Save Into Storage : スナップショットを SD カードまたは NAS に保存し、ファイル名を選択して Time Suffix を追加するか、ベースファイル名を上書きします。</p> <p>Save Into NAS : スナップショットを NAS に保存し、ファイル名を選択して Time Suffix を追加するか、ベースファイル名を上書きします。</p> <p>Upload Via FTP : FTP 経由でスナップショットをアップロードします。</p> <p>Upload Via SMTP : SMTP 経由でスナップショットをアップロードします。</p> <p>注意 :</p> <p>Time Suffix 追加を選択すると、すべてのスナップショット画像が保存されますが、ベースファイル名上書きを選択した場合は、最新の画像が 1 つだけ保存されます。</p> <p>SD カードまたは NAS にベースファイル名上書き追加を選択すると、「スナップショット」という名前のファイルが生成され、スナップショットがそこに保存されます。</p>
Schedule Settings	「Edit」ボタンをクリックして録画スケジュールを編集します。

エクスプローラー

ファイルが SD カードまたは NAS に保存されるよう設定されている場合、ファイルはこのページに表示されます。

ビデオを録画するためのタイムスケジュールを毎日設定し、希望する場所にビデオファイルを保存できます。

(注意: SD カードを挿入するとファイルが表示されます。電源が入っているときに SD カードを抜き差ししないでください。)

ビデオファイルは日付順に並べられます。ファイルを検索するには、ファイルのタイプと Start Time/End Time を設定します。ファイルは毎日対応する日付で表示され、ここからファイルをコピーしたり削除したりできます。SD カード内のファイルには ftp でアクセスできます。例: `ftp://username:password@192.168.5.190` (ユーザー名とパスワードはカメラアカウントと同じであり、続く IP は自身のデバイスの IP です。)

Show entries Download

<input type="checkbox"/>	File Name	Start Time	End Time	Type	Size	File Search
Please mount storage device first!						

Main Type:

Sub Type:

Start Time:

End Time:

Showing 0 to 0 of 0 entries First Previous Next Last

4.5.3 セキュリティ

ユーザー

Manage Privilege

Allow Anonymous Viewing:

Security Question

Security Question:

Account Management

ID	User Name	Privilege
1	admin	Administrator

Admin Password:	<input type="text"/>
User Level:	Operator ▼
User Name:	<input type="text"/>
Password:	<input type="text"/>
Confirm:	<input type="text"/>

Note: You can only add 20 users

表 4-5-9 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
<p>Manage Privilege</p>	<p>Allow anonymous viewing : チェックボックスにチェックを入れると、デバイスのアカウントを持っていないユーザーからの訪問が可能になります。</p>
<p>Security Question</p>	<p>カメラのセキュリティに関する質問を 3 つ設定するには、「Edit」ボタンをクリックします。パスワードを忘れた場合は、ログインページの「Forget Password」ボタンをクリックして、3 つのセキュリティの質問に正しく答えることでパスワードをリセットできます。</p> <div data-bbox="619 992 1259 1469" data-label="Form"> </div> <p>以下に 12 のデフォルトの質問があります。セキュリティの質問もカスタマイズできます。</p> <div data-bbox="576 1585 1302 1955" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> What's your father's name? What's your favorite sport? What's your mother's name? What's your mobile number? What's your first pet's name? What's your favorite book? What's your favorite game? What's your favorite food? What's your lucky number? What's your favorite color? What's your best friend's name? Where did you go on your first trip? Customized Question </div>

Account Management	<p>「Add」ボタンをクリックすると、アカウント管理ページが表示されます。次の情報を入力してカメラにアカウントを追加できます。追加されたアカウントはアカウントリストに表示されます。アカウントリスト内のアカウントは編集・削除ができます（管理者アカウントを除く）。</p> <p>Admin Password：正しい管理者パスワードを入力した後にのみアカウントを追加できます。</p> <p>User Level：アカウントの特権を設定します。</p> <p>User Name：アカウント作成のためのユーザー名を入力します。</p> <p>Password：アカウントのパスワードを入力します。</p> <p>Confirm：パスワードを確認します。</p>
Administrator	<p>管理者は、ユーザーパスワードの変更、ユーザーの追加または削除を含む、デバイスのすべての設定ページを管理できます（デフォルトユーザー「admin」は削除できません）。</p>
Operator	<p>オペレータはユーザーページを除くすべての設定ページを管理できます。</p>
Viewer	<p>ビューアは設定を変えることはできません。</p>

注意：

- 1) 54 を超えるバージョンでは、オペレータとビューアユーザーはデフォルトで閉じられていますが、ユーザーページへの追加は可能です。
- 2) 20 ユーザーのみ追加可能です。
- 3) V4x.7.0.69 以降の場合、初めてログインするときに、デフォルトの管理者パスワードを削除してパスワードを設定できます。また、デバイスに対するセキュリティの質問の設定もサポートされています。ユーザーは、パスワードを忘れた場合に正しいセキュリティの質問に答えることでパスワードをリセットできるので、ユーザーには便利です。

アクセスリスト

General Settings

Maximum Number of Concurrent Streaming:

IP Access List

Rule:

IP Address:

Enable Access List Filtering:

Filter Type: Allow Deny

表 4-5-10 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
General Settings	Maximum number of concurrent streaming : 最大同時ストリーミング数を選択します。オプションには無制限、1~9 があります。
IP access list	Rule : Single、Network and Range が利用可能です。 IP address : デバイスにアクセスするためのアドレスを入力します。
Enable access list filtering	ある IP アドレスへのアクセスまたはアクセス制限が可能です。
Filter type	アクセスまたはアクセス制限

セキュリティサービス

SSH Settings

Enable SSH:

SSH Port:

[Save](#)

表 4-5-11 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
SSH Settings	Secure Shell (SSH) には多くの機能があります。Telnet を置き換えることができ、FTP、POP、さらには PPP 用のセキュアチャネルも提供します。

4.5.4 SIP

Session Initiation Protocol (SIP) は通信プロトコルであり、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク上の音声およびビデオ通話などのマルチメディア通信を制御するために広く使用されています。ユーザーはこのページで SIP 関連のパラメータを設定できます。ネットワークカメラは、アラームが作動したときに呼び出す SIP エンドポイントとして設定できます。ビデオ IP 電話を使用している場合は、許可された番号に電話をかけて、ビデオを確認することもできます。この機能を使用するには、SIP ページの設定が正しく行われている必要があります。SIP を介してビデオを取得する方法は 2 つあります。1 つは IP アドレスを直接ダイヤルすること、もう 1 つはアカウント登録モードです。詳細は次のとおりです。

方法1 : IPダイレクトモード

SIP電話でカメラのIPアドレスを直接ダイヤルすると、ビデオを見ることができます。

(**注意** : SIP電話とカメラは同じネットワークセグメントにある必要があります)。

方法2 : アカウント登録モード

1) SIPを使用する前に、SIPサーバーからカメラのアカウントを登録する必要があります。

- 2) 同じSIPサーバーからSIPデバイスの別のユーザーアカウントを登録します。
- 3) SIPデバイスからカメラのユーザーIDを呼び出すと、SIPデバイス上のビデオを取得します。

SIP 設定

Unregistered	
Enable:	<input type="checkbox"/>
Register Mode:	Enable ▼
User ID:	500
User Name:	sipclient
Password:
Server Address:	192.168.5.101
Server Port:	5060
Connection Protocol:	UDP ▼
Video Stream:	Secondary Stream ▼
Max Call Duration:	1800 s (0 means no limitation.)

Note:SIP supports Direct IP call.

Save

表 4-5-12 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Unregistered/ Registered	SIP 登録ステータス。「Unregistered」または「Registered」が表示されます。
Enable	SIP の使用を開始または停止します。
Register Mode	Enable mode または Disable mode のどちらを使用するかを選択します。Enable mode は登録アカウントで SIP を使用することを意味します。Disable mode は、アカウントを登録せずに SIP を使用し、単に IP アドレスを使用して電話をかけることを指します。
User ID	SIP ID
User Name	SIP アカウント名
Password	SIP アカウントパスワード
Server Address	サーバーIP アドレス
Server Port	サーバーポート
Connection Protocol	UDP/TCP
Video Stream	ビデオストリームを選択します。
Max Call Duration	SIP を使用するときの最大電話時間です。

注意：

- 1) SIP は直接 IP 通話をサポートします。
- 2) SIP は、H.265 / H.264 または MPEG4 ビデオ圧縮によるセカンドストリームのみをサポートします。

アラーム電話リスト

Phone Type:	Phone Number ▼
To Phone Number:	<input type="text"/>
Remark Name:	<input type="text"/>
Duration:	From 00 ▼ : 00 ▼ To 24 ▼ : 00 ▼

表 4-5-13 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Phone Type	電話番号（電話番号による電話） & ダイレクト IP 電話（ピアツーピア IP 電話を受け入れるにはチェックを入れます。）
To Phone Number/ IP Address	電話番号または IP アドレスによる電話
Remark Name	表示名
Duration	SIP を使用するタイムスケジュール

ホワイトリスト

Phone Type:	Phone Number ▼
Phone Number:	<input type="text"/>

Enable White List Number Filter:	<input type="checkbox"/>
----------------------------------	--------------------------

表 4-5-14 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Phone Type	電話番号（電話番号による電話） & ダイレクト IP 電話
Phone Number/ IP Address	ホワイトリストに載っている電話番号または IP アドレスなど

Enable White List Number Filter

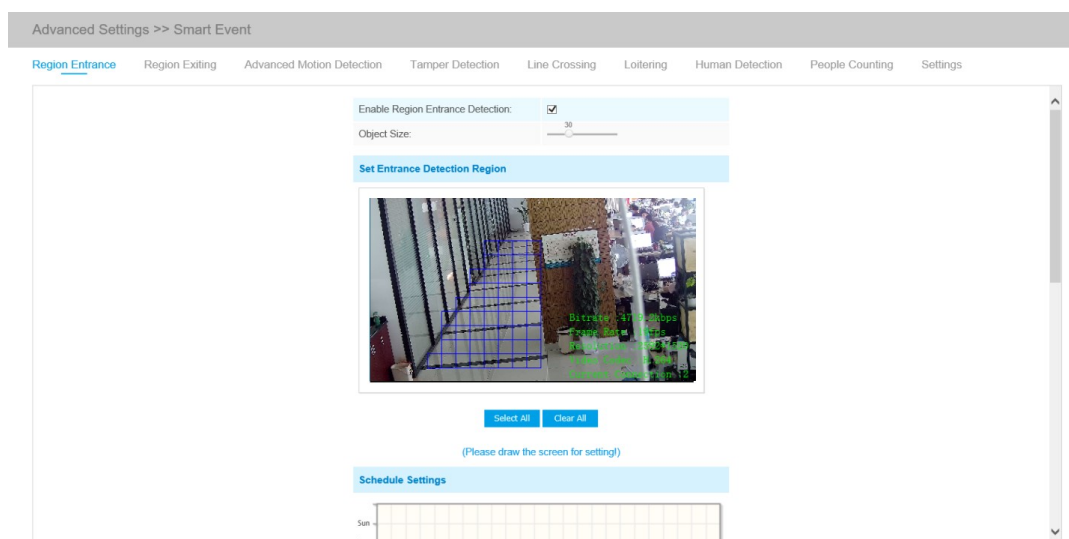
有効にすると、指定の電話番号または IP アドレスのみにアクセスできます。

4.5.5 Smart Event

Smart Event は、ビデオコンテンツ分析 (VCA) 技術を使用しています。この技術は、娯楽、ヘルスケア、小売、自動車、輸送、ホームオートメーション、セキュリティなど、幅広い分野で使用されています。VCA は、高度で正確なスマートビデオ分析をネットワークカメラに提供します。この技術は 8 つの検知モード (基本的な機能と高度な機能に分けられており、様々な監視シーンに対して、包括的な監視機能とより速いカメラの応答を可能にします) を通してネットワークカメラの性能を強化します。

Region Entrance (領域に入る)

Region Entrance は、不審者やオブジェクトの侵入による潜在的な脅威から特別な場所を保護するのに役立ちます。Region entrance を有効にすることで、オブジェクトが選択された領域に侵入するとアラームが作動します。



ステップ 1: Entrance Detection Region を設定します。

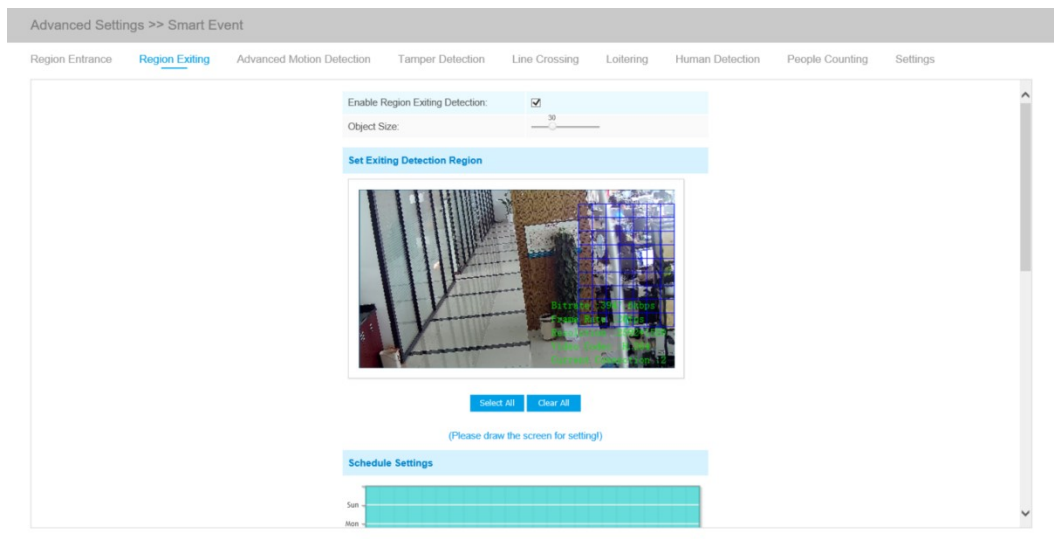
ステップ 2: 検知スケジュールを設定します。

ステップ 3: Alarm action を設定します。

ステップ 4: Alarm settings を設定します。

Region Exiting (領域から出る)

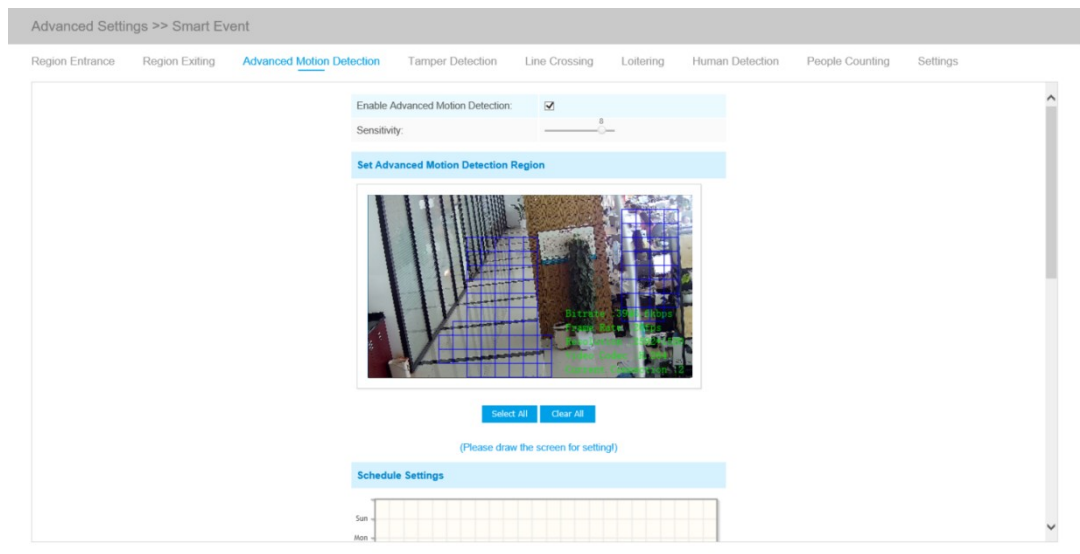
Region Exiting は、どんな人物またはオブジェクトも監視されている領域から出ないようにすることで、人物やオブジェクトが領域から出るとアラームが作動します。



- ステップ 1： 検知されるオブジェクトサイズを設定します。
- ステップ 2： Exiting Detection Region を設定します。
- ステップ 3： 検知スケジュールを設定します。
- ステップ 4： Alarm action を設定します。
- ステップ 5： Alarm settings を設定します。

Advanced Motion Detection（高度動作検知）

従来の動作検知とは異なり、Advanced Motion Detection は、照明の変化や自然な木の動きなどの「ノイズ」を除去した上で、物体が選択した範囲内で移動するとアラームが起動します。



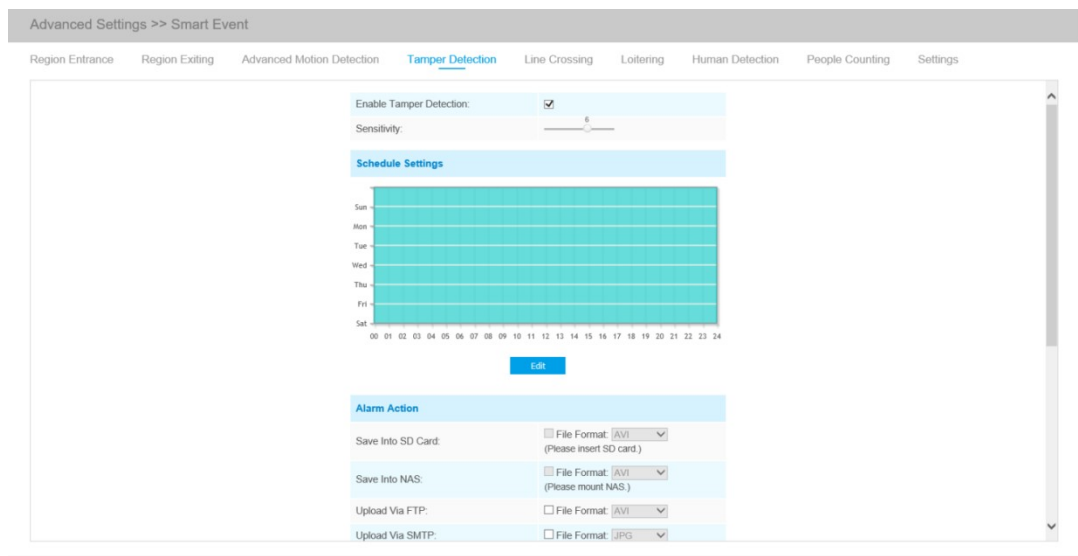
- ステップ 1： 検知感度を設定します。
- ステップ 2.： Advanced Motion Detection Region を設定します。
- ステップ 3： 検知スケジュールを設定します。
- ステップ 4： Alarm action を設定します。
- ステップ 5： Alarm settings を設定します。

注意：

感度は、さまざまな要件に応じてさまざまな動きを検知するように設定できます。感度が低い場合は、わずかな動きではアラームは作動しません。

Tamper Detection（干渉検知）

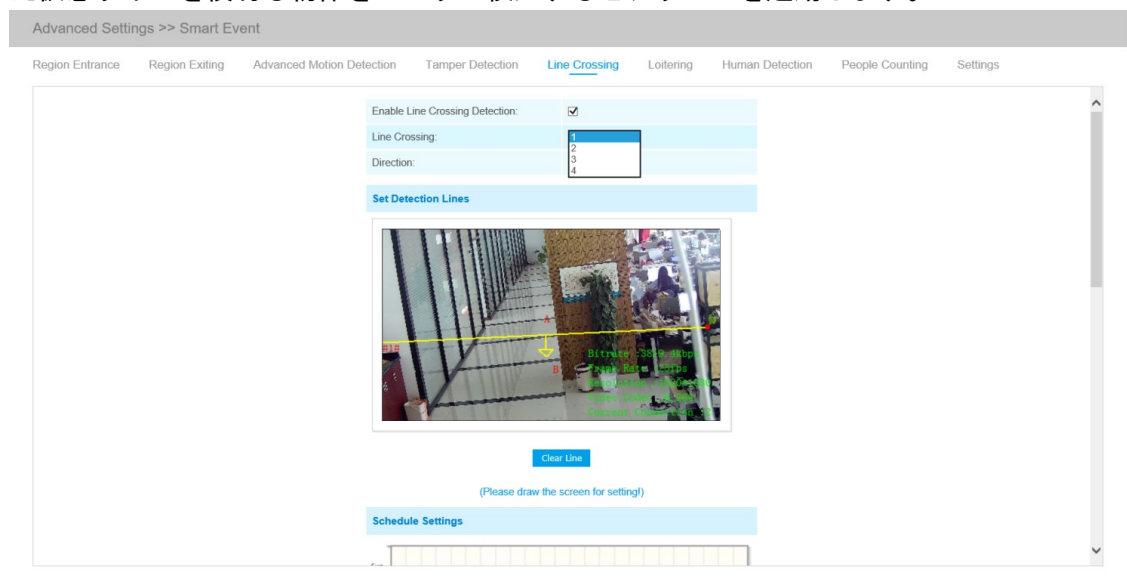
Tamper Detection は、カメラの焦点が合っていない、妨げられている、または勝手に動いているなどの外部の干渉を検知します。



- ステップ 1： 検知感度を設定します。
- ステップ 2： 検知スケジュールを設定します。
- ステップ 3： Alarm action を設定します。
- ステップ 4： Alarm settings を設定します。

Line Crossing Detection（ラインクロス検知）

Line Crossing Detection は、ほとんどの屋内・屋外環境で対応するように設計されています。定義された仮想ラインを横切る物体をカメラが検知するとアラームを起動します。



- 設定手順は次のとおりです。
- ステップ 1： ラインの本数を選択してください。

Line Crossing:	1 2 3 4
Enable Line Crossing Detection:	<input checked="" type="checkbox"/>
Direction:	A->B

ステップ 2 : Line Crossing Detection 機能を有効にして Direction (方向) を定義してください。

Line Crossing:	4
Enable Line Crossing Detection:	<input checked="" type="checkbox"/>
Direction:	A->B B->A A<->B
Set Detection Lines	

ステップ 3 : 検知ラインを引きます。

ステップ 4 : 検知スケジュールを設定します。

ステップ 5 : Alarm action を設定します。

ステップ 6 : Alarm settings を設定します。

注意 :

一度に 4 ラインまで設定できます。アラームを起動するために選択する 3 つの方向モードがあります。
 [A→B]は[A]側から[B]側に物体が横切った際にアラームが起動します。
 [B→A]は[B]側から[A]側に物体が横切った際にアラームが起動します。
 [A↔B]は物体が左右どちらから横切った際にもアラームが起動します。

Loitering Detection (徘徊検知)

Loitering Detection は事前に定義した範囲を一定時間徘徊する物体を検知します。

ステップ 1 : Min. Loitering Time (最小徘徊時間) を設定します。

ステップ 2 : Object Size を設定します。

ステップ 3 : Loitering Detection Region を設定します。

ステップ 4 : 検知スケジュールを設定します。

ステップ 5 : Alarm action を設定します。

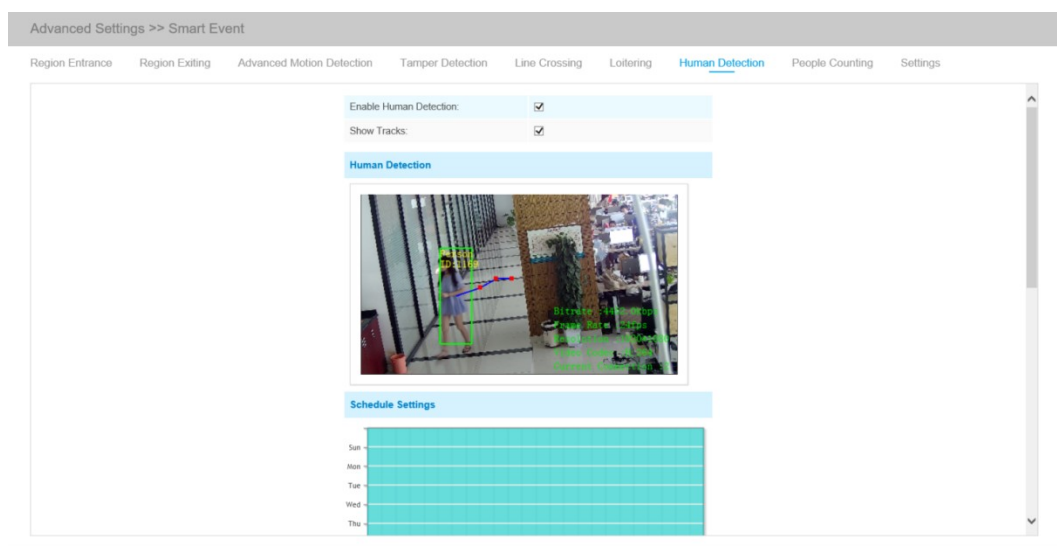
ステップ 6 : Alarm settings を設定します。

注意：

あらかじめ設定した最小徘徊（3～300 秒）とサイズを超えた物体が、指定した範囲を徘徊している場合にアラームを起動します。

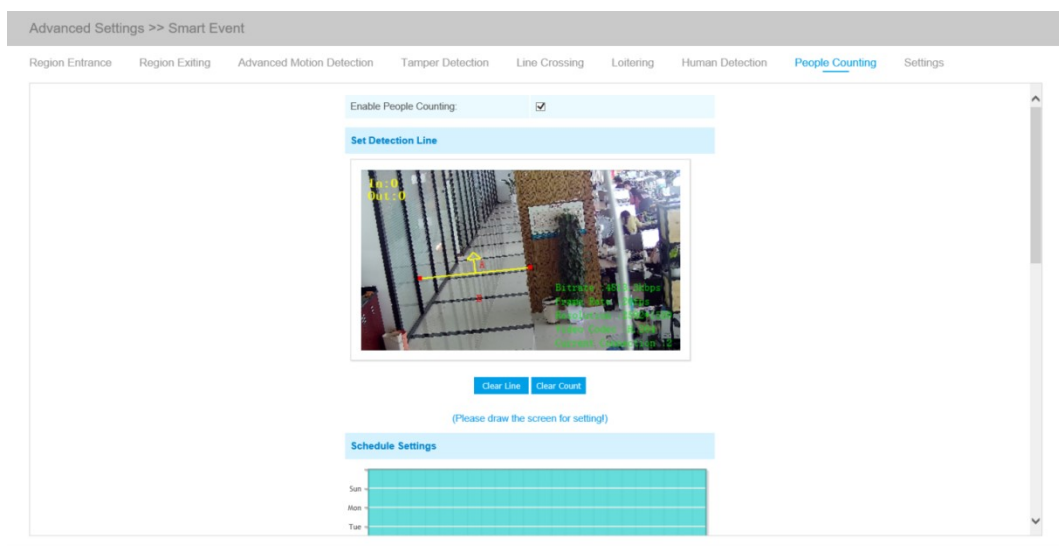
Human Detection（人物検知）

Human Detection は、オブジェクトが人間か物体か判断します。人物の検知を有効にした場合、検知エリアにオブジェクトが現れると、フレームに ID が表示されます。オブジェクトが人の場合は、「人」としてマークされます。「Show Tracks」を有効にすると、動いているオブジェクトの通った跡が画面に表示されます。




People Counting（人物カウント）

People Counting は、設定時間中に何人の人が出入りするかをカウントします。



- ステップ 1： 検知ラインを設定します。
- ステップ 2： 検知スケジュールを設定します。
- ステップ 3： Counting OSD を設定します。

Counting OSD	
Show Video Title:	<input checked="" type="checkbox"/>
Font Size:	Small
Font Color:	 
Text Position:	Top-Left

People Counting の OSD は自動ゼロ調整をサポートしています。

Enable Auto Reset:	<input checked="" type="checkbox"/>
Day:	Everyday
Time:	00:00:00

ステップ 4 : 「Edit」 をクリックしてカウントログを確認します。データログは設定した時間間隔と範囲に従って、Excel スプレッドシートとして自動的に FTP/SMTP/ストレージにエクスポートされます。

Log Settings	
Logs:	Edit
Enable Auto Export Logs:	<input checked="" type="checkbox"/>
Day:	Everyday
Time:	00:00:00
Export Time Range::	All
Export to:	<input type="checkbox"/> FTP <input type="checkbox"/> SMTP <input type="checkbox"/> Storage

ステップ 5 : Alarm Trigger を設定します。Thresholds (しきい値) が 1~9999 の特定の値に達すると、アラームが鳴ります。

Alarm Trigger	
Enable Alarm	<input checked="" type="checkbox"/>
Thresholds:	<input type="checkbox"/> In: <input type="text" value="9999"/>
	<input type="checkbox"/> Out: <input type="text" value="9999"/>
	<input type="checkbox"/> Capacity: <input type="text" value="9999"/>
	<input type="checkbox"/> Sum: <input type="text" value="9999"/>

ステップ 6 : Alarm action を設定します。

ステップ 7 : Alarm settings を設定します。

注意 :

矢印の方向に交差すると「In」と記録され、反対側は「Out」と記録されます。

設定

VCA は、VCA 機能全体に対する主要な設定を提供します。「Minimum Size」は、オブジェクトが他の設定を起動させるのに十分大きいかを設定します。画面に描く枠は、オブジェクトのサイズが枠よりも大きい場合にのみ、他の VCA 機能の設定が有効になることを意味します。「Maximum Size」は反対の意味であり、オブジェクトのサイズが枠よりも小さい場合に限り、他の VCA 機能の設定が有効になり

ます。

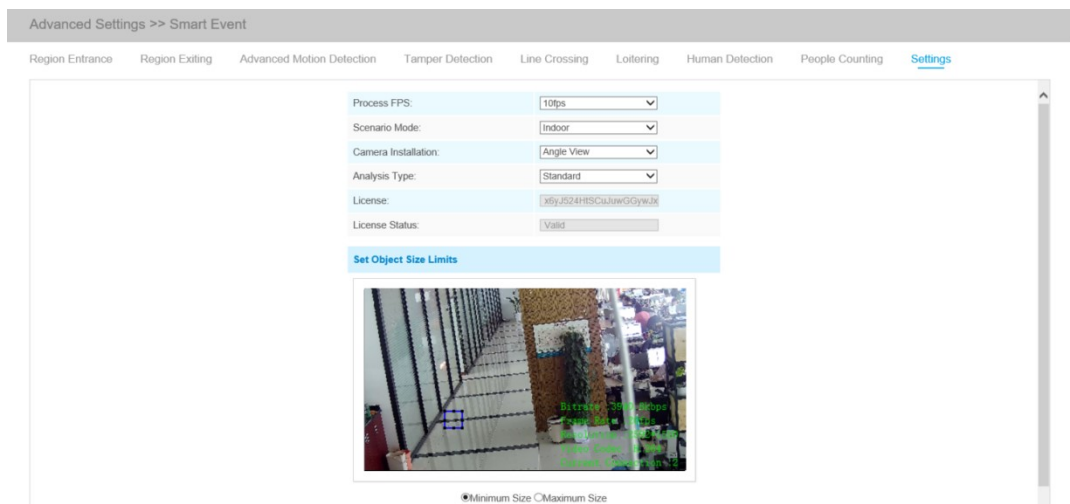


表 4-5-15 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Process FPS	プロセス fps には 5 つの異なる期間 (5、10、15、20、25、fps) があります。
Scenario Mode	ニーズに合わせて Indoor または Outdoor モードを選択します。
Camera Installation	Angle View、Horizontal View、Overhead View など、カメラの取り付けビューを選択します。
Analysis Type	分析タイプとして Standard または Advanced を選択します。
License	カメラの情報によって生成されます。
License Status	Valid、Invalid、Expired、Unactivated など、現在のライセンスのステータスを表示します。
Minimum Size	検知されたオブジェクトの最小サイズを設定するためにスクリーンを描くか、ピクセルを入力します。オブジェクトがこのサイズより小さいと検知されません。デフォルトの最小サイズは 3 * 3 です。
Maximum Size	検知されたオブジェクトの最大サイズを設定するためにスクリーンを描くか、ピクセルを入力します。オブジェクトがこのサイズより大きい場合は検知されません。デフォルトの最大サイズは 320 * 240 です。

4.5.6 PTZ

PTZ 設定では、パン/チルト/ズームに関する機能とパラメータを設定できます。

PTZ パラメータは主に基本パラメータ、オートホーム、PTZ 制限、初期位置 (プロバレット PTZ)、プライバシーマスク、スケジュールタスク、オートトラッキング、設定クリア、RS485 (小型ドーム PTZ、プロドーム PTZ) が含まれています。

ベーシック

PTZ OSD	
Zoom Status:	5 seconds
Pan & Tilt Status:	5 seconds
Preset Status:	5 seconds
Preset	
Preset Freezing:	<input type="checkbox"/>
Speed	
Preset Speed:	5
Patrol	
Patrol Recovering:	<input type="checkbox"/>
Patrol Recovery Time(5-720s):	10 s
Focus	
Focus Mode:	Semi-Auto
Power Off Memory	
Set Resume Time:	Disable


[Save](#)

表 4-5-15 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
PTZ OSD	OSD パラメータを設定します。ズームステータス OSD、パンチルトステータス、プリセットステータスを閉じる/常に開く/2秒/5秒/10秒に設定できます。
Preset	プリセットフリーズを有効にした場合、位置への移動経路とライブビューの両方を表示する代わりに、プリセット位置のライブビューが直接表示されます。それはまたデジタルネットワークシステムにおける帯域幅の使用を減らすことができます。
Speed	プリセットスピード：プリセットを呼び出すスピードを決定します。レベル1~10が利用可能です。
	手動速度：スピードドーム専用で、手動制御の PTZ 速度を決定します。低/中/高があります。
Patrol (プロバレット PTZ)	スキャン速度：スピードドーム専用で、自動スキャンの速度を決定します。レベル1~10が利用可能です。
	パトロールリカバリ：クリックするとパトロールリカバリが有効になります。
Focus	パトロール復旧時間：パトロール復旧の時間を 5~720 秒の間で設定します。
	フォーカスモード：3つのフォーカスモードが利用可能です：自動/半自動/手動。

	<p>最小焦点距離：各焦点のステップ長を調整するための最小焦点距離を設定します。1メートル、1.5メートル、3メートル、6メートル、10メートルと20メートルが用意されています。</p> <p>注意：このオプションはプロドーム PTZ 専用です。</p>
Power Off Memory	<p>カメラが事前定義された時間よりも長い間動作を停止し電源を切った場合、再起動すると、その位置に戻ります。停止位置を記録するまでの時間設定は30秒、60秒、300秒、600秒です。</p>

オートホーム



Enable:	<input checked="" type="checkbox"/>
Latency Time(5-720s):	<input type="text" value="5"/> s
Auto Home Mode:	<input type="text" value="Preset"/>
Auto Home Mode Number:	<input type="text" value="Current Location"/> <input type="button" value="Call"/>

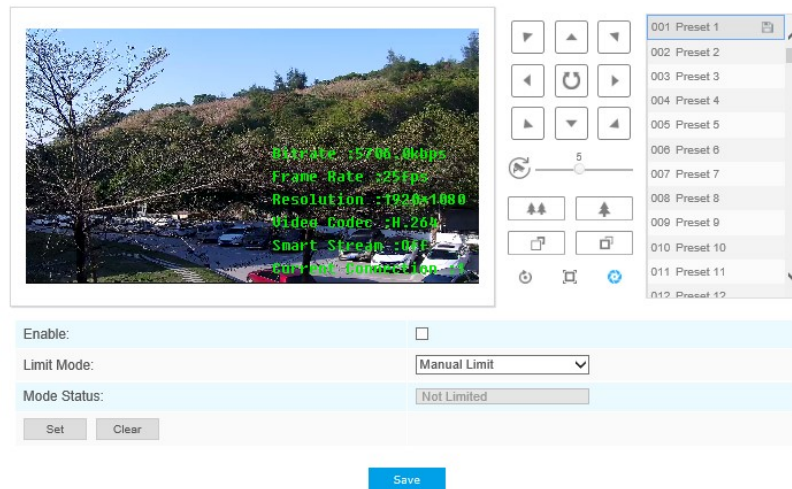
Auto Home を使用すると、待ち時間が経過すると PTZ カメラは自動的に事前定義されたホームポジションに戻ります。チェックボックスをオンにして、オートホームモードを有効にします。

表 4-5-16 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Latency Time	オートホームモードをトリガーするまでの待ち時間を 5~720 秒に設定します。
Auto Home Mode	プリセット：オートホームをトリガーしたときにプリセットポイントが有効になります。
Auto Home Mode Number	リストから事前定義済みのプリセットを選択し、「発信」を押して場所を確認します。現在地選択にも対応。

PTZ 制限

PTZ カメラは、設定可能な PTZ 制限（左/右）で移動するようにプログラムできます。



ステップ 1： チェックボックスをチェックして PTZ 制限機能を有効にします。

ステップ 2： 手動モードまたはスキャンモードとして制限モードを選択します。

▶手動制限：

手動制限停止が設定されている場合は、制限付き監視領域内でのみ PTZ コントロールパネルを手動で操作できます。

▶スキャン制限：

スキャン制限停止が設定されている場合、自動スキャンは制限付き監視領域でのみ実行されます。

ステップ 3： PTZ コントローラボタンをクリックして、左右のリミットストップを設定します。定義済みのプリセットを呼び出して、それらを PTZ カメラの制限として設定することもできます。

ステップ 4： **[設定]**をクリックして制限を保存するか、**[消去]**をクリックして制限を消去します。

初期位置

プロバレット PTZ の初期位置をゼロ点として設定できます。

ステップ 1： PTZ コントロールボタンをクリックして、プロバレット PTZ の初期位置としてプリセットを定めます。

ステップ 2： **[設定]**をクリックして位置を**[初期位置]**として保存します。



表 4-5-17 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Set	クリックして現在位置を初期位置として設定
Clear	初期位置をデフォルト設定にクリアします。
Call	クリックして初期位置を呼び出します。

プライバシーマスク

プライバシーマスクを使用すると、監視エリア内の特定の場所が見られたり録画されたりしないように、ライブビデオ上の特定のエリアを覆うことができます。最大4つまでマスクエリアを設定できます。

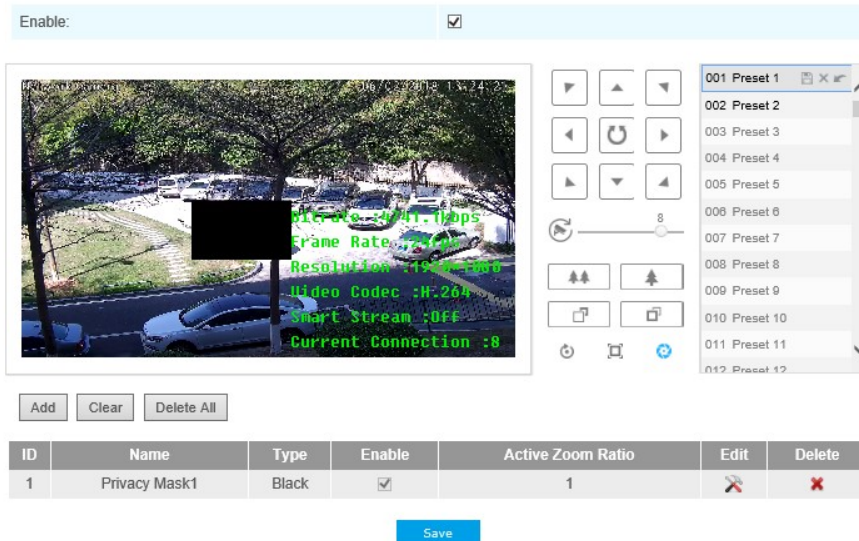


表 4-4-6 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Enable	ボックスにチェックを入れるとプライバシーマスク機能が有効になります
Add	現在の作図領域をプライバシーマスクとして追加
Clear	現在の作図領域を消去

Clear All	前に描かれた全てのエリアが削除されます
Name	プライバシーマスクの名前をカスタマイズするためのサポート
Type	プライバシーエリアに使用する色を選択してください。8色が利用可能です：白、黒、青、黄、緑、茶色、赤、紫
Active Zoom Ratio	必要に応じて Active Zoom Ratio の値を設定すると、ズーム率が事前定義された値より大きい場合にのみマスクが表示されます

スケジュールされたタスク

ユーザー定義の期間内に特定のアクションを自動的に実行するように PTZ カメラを設定できます。
 ステップ 1： スケジュールされたタスク設定インターフェースに入ります。

ステップ 2： チェックボックスをチェックします。

ステップ 3： スケジュールとタスクの詳細を設定します。

ステップ 4： タスクの回復時間を設定します（5～720 秒）。 PTZ カメラがスケジュールとタスクの詳細を開始するまでの時間（非アクティブ期間）を設定できます。

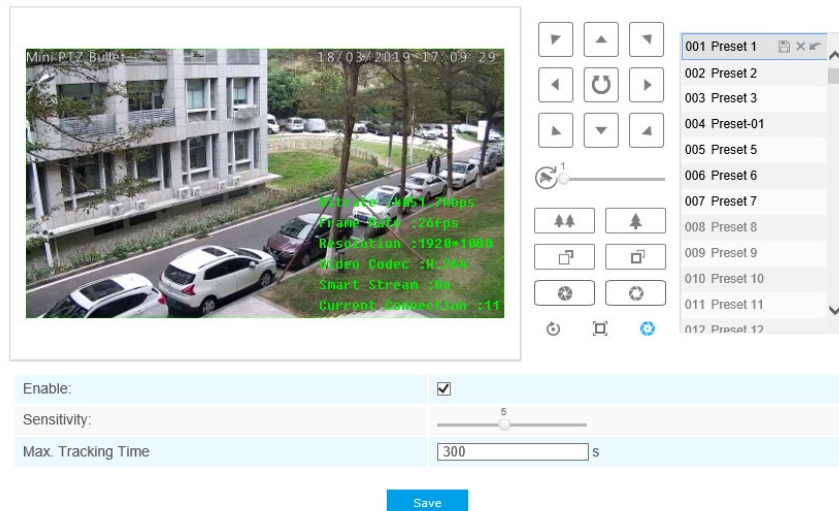
ステップ 5： すべての設定を保存するために、 **Save** ボタンをクリックして下さい。

注意：

- 1) 各タスクの時間を重複させることはできません。 1日に最大 10 個のタスクを設定できます。
- 2) スケジュールタスク機能はオートホーム機能よりも優先されます。これら二つの機能を同時に設定した際は、スケジュールされたタスク機能が有効になります。
- 3) **Select All** ボタンをクリックして、さまざまな種類のタスクのすべてのスケジュールを選択または閉じることができます。

自動追尾

この機能を設定すると、動いている物体の自動追尾をサポートします。



ステップ 1: チェックボックスをオンにして自動追尾を有効にします。

ステップ 2: 検出感度を設定します。

ステップ 3: 5~300 秒で追尾時間を設定します。追尾時間が経過すると、カメラは追尾を停止します。

注意:

自動追尾を使用する前にオートホームをオフにしてください。

設定クリア

Clear All:	<input type="checkbox"/>
Clear All Presets:	<input type="checkbox"/>
Clear All Patrols:	<input type="checkbox"/>
Clear All Patterns:	<input type="checkbox"/>
Clear All Auto Homes:	<input type="checkbox"/>
Clear All PTZ Limits:	<input type="checkbox"/>
Clear Initial Position:	<input type="checkbox"/>
Clear All Privacy Masks:	<input type="checkbox"/>
Clear All Scheduled Tasks:	<input type="checkbox"/>

Save

すべての PTZ 設定（プリセット、パトロール、パターン、オートホーム、PTZ 制限、初期位置（プロバレット PTZ）、プライバシーマスク、スケジュールされたタスク）を消去し、デフォルトに戻します。

RS485

Protocol:	<input checked="" type="radio"/> Pelco-D <input type="radio"/> Pelco-P
Baudrate:	9600
Data Bit:	8
Stop Bit:	1
Parity:	None
Flow Control:	None
PTZ Address:	1

[Save](#)

小型ドーム PTZ、プロドーム PTZ の機能を制御するために RS485 シリアルポートの設定を消去することができます。プロトコル、ボーレート、データビット、ストップビット、パリティ、フロー制御、PTZ アドレスは、制御装置のものとまったく同じでなければなりません。

注意：

小型ドーム PTZ、プロドーム PTZ に対応しています。

4.5.7 LPR (オプション)

LPR 機能は、リアルタイムでナンバープレートを自動的に検知してスクリーンショットを撮り、事前に定義されたリストと比較して、ナンバープレートが事前に定義されたブラックリストに載っていれば、アラートを生成するなどの適切な措置を取ります。

LPR は 2019 年 7 月現在未実装です。

設定

Advanced Settings >> LPR

Settings List Management Black List Mode White List Mode Visitor Mode Logs

Enable License Plate Recognition:

License: [7325220EC7B6C181B38A]

License Status: [Valid]

Processing Resolution: [1280*720]

Set LPR Detection Region

Mini Pt2 Bullet 15/03/2019 17:00:28

Note: Please draw the screen for settings!

ステップ 1： ライセンスを入力して「Save」をクリックします。ライセンスステータスが「Valid」に変わると、カメラはナンバープレートの検知を開始できます。

ステップ 2： チェックボックス「Enable License Plate Recognition」にチェックを入れ、興味のある地域を選択してスクリーンを描くことができます。

ステップ3：スケジュール設定。「Edit」ボタンをクリックしてスケジュールを描くことができます。

表 4-5-16 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明																				
License	カメラの情報によって生成されます。																				
License Status	Valid、Invalid など、現在のナンバープレートのステータスを表示します。																				
Processing Resolution	1920*1280、1280*720、640*360、320*176 を含む、LPR 分析用のストリームの解像度。																				
Enable Day/Night Detection Mode	このオプションを有効にすると、デイ/ナイトモードに応じてカメラは異なる検知モードを有効にします。																				
Add	<p>対象領域を選択するためのスクリーンを描き、「Add」ボタンをクリックして領域を追加します。追加できる認識領域は4つだけです。</p> <p>以下のリストで対象領域の名前を編集したり、領域を削除したりできます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ID</th> <th>Name</th> <th>Edit</th> <th>Delete</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ROI_1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ROI_2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ROI_3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ROI_4</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注意:150ピクセルより大きいナンバープレートのみ認識することができます。</p>	ID	Name	Edit	Delete	1	ROI_1			2	ROI_2			3	ROI_3			4	ROI_4		
ID	Name	Edit	Delete																		
1	ROI_1																				
2	ROI_2																				
3	ROI_3																				
4	ROI_4																				
Clear	描かれた領域を消去するには、「Clear」ボタンをクリックします。																				
Delete All	追加した領域をすべて削除するには「Delete All」ボタンをクリックします。																				
Enable LPR Message Post	チェックボックスにチェックを入れて「LPR Message Post」を有効にします。弊社の製品と互換性のあるサードパーティ製のデバイスやソフトウェアに情報をプッシュ型配信します。																				
Post Type	RTSP または TCP で情報をプッシュ型配信できます。																				

リストマネージメント

Black または White タイプ（ブラック/ホワイトリスト）としてこのインターフェースにナンバープレートを追加してください。そうすれば、これらのナンバープレートに対して、対応するブラックリストモードまたはホワイトリストモードのインターフェースで Alarm action を設定できます。これらのナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

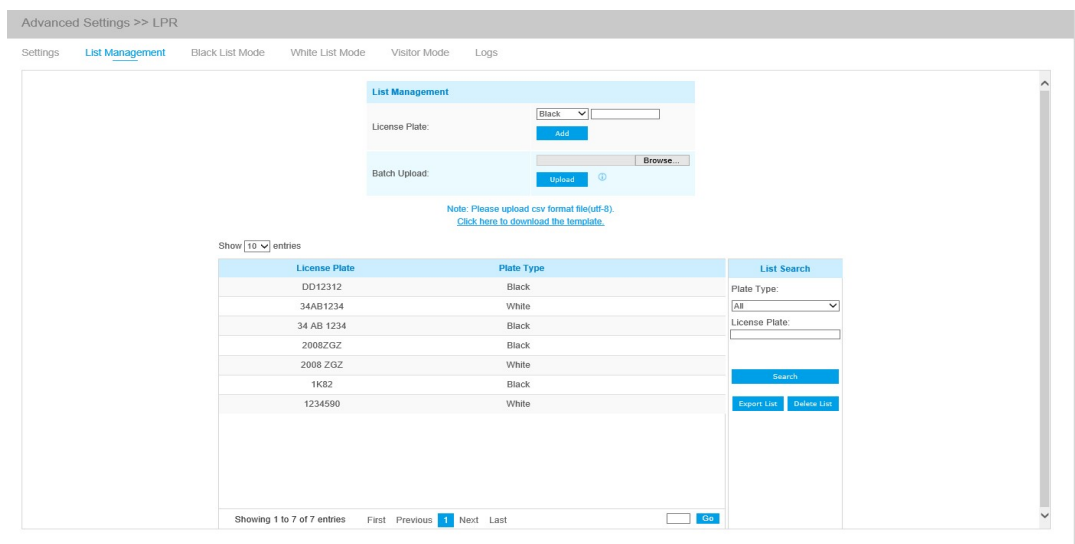


表 4-5-17 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Add License Plate	ナンバープレートのタイプを Black または White として選択し、ナンバープレートを入力し、「Add」ボタンをクリックすると、ナンバープレートが追加されます。
Batch Upload	追加したいナンバープレートの csv フォーマットが追加できます。「Browse」ボタンをクリックして、このインターフェースにフォームをインポートし、「Upload」ボタンをクリックしてください。ナンバープレートが追加されます。 注意：このインターフェースの参照として、最初にテンプレートをダウンロードできます。
List Search	ナンバープレートのタイプを選択するか、ナンバープレートの番号を直接入力し、「Search」ボタンをクリックすると、対応するナンバープレートが以下のリストに表示されます。
Export List	現在のリストのナンバープレートを csv フォームにローカルにエクスポートするには、「Export List」ボタンをクリックします。
Delete List	現在のリストにあるナンバープレートをすべて削除するには、「Delete List」ボタンをクリックします。

ブラックリストモード

- ステップ 1：チェックボックスにチェックを入れてブラックリストモードを有効にします。
- ステップ 2：スケジュールを設定します。「Edit」ボタンをクリックすればスケジュールを描くことができます。
- ステップ 3：Alarm action を設定します。

Alarm Action	
Save Into NAS:	<input type="checkbox"/> File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Record
Upload Via SMTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Snapsho
External Output:	<input type="checkbox"/> (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	<input type="checkbox"/> (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)
Alarm to SIP Phone:	<input type="checkbox"/> (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	<input type="checkbox"/>

- ステップ 4：Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds ▼
Pre-record:	0 second ▼
Snapshot Type:	License Plate ▼
Snapshot:	3 ▼
Snapshot Interval:	1 second ▼
External Output Action Time:	30 seconds ▼
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto ▼

その後「Black」とマークされたナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

ホワイトリストモード

Advanced Settings >> LPR

Settings List Management Black List Mode **White List Mode** Visitor Mode Logs

Enable White List Mode:

Schedule Settings

Sun																									
Mon																									
Tue																									
Wed																									
Thu																									
Fri																									
Sat																									
	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

[Edit](#)

Alarm Action

Save Into NAS: File Format: Record ▼
(Please mount storage device.)

Upload Via FTP: File Format: Record ▼

Upload Via SMTP: File Format: Snapshot ▼

External Output: (Please configure the External Output Action Time)

ステップ 1：チェックボックスにチェックを入れてホワイトリストモードを有効にします。

ステップ 2：スケジュールを設定します。「Edit」ボタンをクリックするとスケジュールを描くことができます。

ステップ 3：Alarm action を設定します。

Alarm Action	
Save Into NAS:	<input type="checkbox"/> File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Record
Upload Via SMTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Snapsho
External Output:	<input type="checkbox"/> (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	<input type="checkbox"/> (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)
Alarm to SIP Phone:	<input type="checkbox"/> (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	<input type="checkbox"/>

ステップ 4 : Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Pre-record:	0 second
Snapshot Type:	License Plate
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
External Output Action Time:	30 seconds
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto

その後「White」とマークされたナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

ビジターモード

Advanced Settings >> LPR

Settings List Management Black List Mode White List Mode **Visitor Mode** Logs

Enable Visitor Mode:

Schedule Settings

Sun	
Mon	
Tue	
Wed	
Thu	
Fri	
Sat	

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

[Edit](#)

Alarm Action

Save Into NAS:	<input type="checkbox"/> File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Snapsho
Upload Via SMTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Snapsho
External Output:	<input type="checkbox"/> (Please configure the External Output Action Time.)

ステップ 1 : チェックボックスにチェックを入れてビジターモードを有効にします。

ステップ 2 : スケジュールを設定します。「Edit」ボタンをクリックするとスケジュールを描くことができます。

ステップ 3 : Alarm action を設定します。

Alarm Action	
Save Into NAS:	<input type="checkbox"/> File Format: Record (Please mount storage device.)
Upload Via FTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Record
Upload Via SMTP:	<input type="checkbox"/> File Format: Snapsho
External Output:	<input type="checkbox"/> (Please configure the External Output Action Time.)
Play Audio:	<input type="checkbox"/> (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)
Alarm to SIP Phone:	<input type="checkbox"/> (Please open the SIP.)
HTTP Notification:	<input type="checkbox"/>

ステップ 4 : Alarm Setting を設定します。

Alarm Setting	
Record Video Sections:	5 seconds
Pre-record:	0 second
Snapshot Type:	License Plate
Snapshot:	3
Snapshot Interval:	1 second
External Output Action Time:	30 seconds
Audio Action Settings:	Edit
Play Audio Interval:	Auto

その後「Black」または「White」としてマークされていないナンバープレートが検知されると、カメラは設定に応じて反応します。

ログ

Advanced Settings >> LPR

Settings List Management Black List Mode White List Mode Visitor Mode **Logs**

Time	Snapshot	License Plate
2019-03-14 14:48:57		34AB1234
2019-03-14 14:48:56		34AB1234
2019-03-14 14:48:55		34AB1234
2019-03-14 14:48:54		34AB1234

Show 35 entries

Time	License Plate	Plate Type
2019-03-14 17:23:34	549K	Visitor
2019-03-14 14:48:57	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:56	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:55	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:54	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:53	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:52	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:51	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:50	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:49	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:48	B1234	Visitor
2019-03-14 14:48:48	34AB1234	White
2019-03-14 14:48:47	B1234	Visitor
2019-03-14 14:48:47	34AB1234	White

Log Search

Plate Type: All

License Plate: []

Start Time: 2019-02-14 00:00:00

End Time: 2019-03-14 20:56:18

[Search](#)

[Log Export](#)

リアルタイムでの検知結果は、検知時間、ライブスクリーンショット、ナンバープレートを含めて、ログページの右側に表示されます。

注意：

右側に表示されるログは 10 個だけです。

Time	Snapshot	License Plate
2019-03-14 14:48:57		34AB1234
2019-03-14 14:48:56		34AB1234
2019-03-14 14:48:55		34AB1234
2019-03-14 14:48:54		34AB1234

Plate Type を選択するか、ナンバープレートの番号を直接入力し、Start Time と End Time を選択して「Search」ボタンをクリックすると、対応するナンバープレートが以下のリストに表示されます。

Show entries

Time	License Plate	Plate Type	Log Search
2019-03-14 17:23:34	5H3K	Visitor	Plate Type: <input type="text" value="All"/> License Plate: <input type="text"/> Start Time: <input type="text" value="2019-02-14 00:00:00"/> End Time: <input type="text" value="2019-03-14 20:56:18"/> <input type="button" value="Search"/> <input type="button" value="Log Export"/>
2019-03-14 14:48:57	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:56	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:55	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:54	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:53	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:52	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:51	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:50	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:49	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:48	B1234	Visitor	
2019-03-14 14:48:48	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:47	B1234	Visitor	
2019-03-14 14:48:47	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:46	34AB1234	White	
2019-03-14 14:48:45	34AB1234	White	

現在のリストのナンバープレートを csv フォームにローカルにエクスポートするには、「Log Export」ボタンをクリックします。

4.5.8 ログ

ログには、ウェブ経由でカメラにアクセスした時間と IP に関する情報が含まれます。

Show entries

Time	Main Type	Sub Type	Param	User	IP	Detail	Log Search
2017-09-04 13:35:41	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	Main Type: <input type="text" value="All Types"/> Sub Type: <input type="text" value="All Types"/> Start Time: <input type="text" value="2017-09-04 00:00:00"/> End Time: <input type="text" value="2017-09-04 13:30:26"/> <input type="button" value="Search"/> <input type="button" value="Log Export"/> Save Period: <input type="text" value="Permanent"/> <input type="button" value="Save"/>
2017-09-04 13:29:18	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.	
2017-09-04 13:29:14	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	
2017-09-04 13:28:54	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.	
2017-09-04 13:28:53	Operation	Login Remotely	-	admin	192.168.8.50	-	
2017-09-04 05:50:00	Information	IR-CUT On	-	-	-	-	
2017-09-03 18:35:25	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-	
2017-09-03 05:43:58	Information	IR-CUT On	-	-	-	-	
2017-09-02 18:37:57	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-	
2017-09-02 05:41:22	Information	IR-CUT On	-	-	-	-	
2017-09-01 18:43:37	Information	IR-CUT Off	-	-	-	-	
2017-09-01 17:00:57	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	
2017-09-01 16:55:24	Event	Motion Detection Stop	-	-	-	-	
2017-09-01 16:55:19	Operation	RTSP Session Start	-	-	192.168.8.50	start one session.	
2017-09-01 16:55:17	Operation	RTSP Session Stop	-	-	192.168.8.50	stop one session.	

Showing 1 to 30 of 1,221 entries First Previous **1** 2 3 4 5 ... 41 Next Last

表 4-5-19 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Main Type	メインログタイプが 5 つあります : All Type、Event、Operation、Information、Exception
Sub Type	メインタイプが選択されているという前提で、サブタイプを選択してログの範囲を絞り込みます。
Start Time	タイムログが開始します。
End Time	タイムログが終了します。
Log Export	ログをエクスポートします。
Save Period	ログ保存の期間を設定します。選択可能な 8 つのオプションがあります : 永久、30 / 60 / 120 / 180 / 240 / 300 / 360 日
Go	ログのページ数を入力します。

4.6 システム

カメラのハードウェアとソフトウェアに関するすべての情報は、このページで確認できます。

System	
Device Name:	<input type="text" value="Network Camera"/>
Product Model:	NC2964-FPB
Hardware Version:	V1.2
Software Version:	40.7.1.69-r2
MAC Address:	1C:C3:16:24:09:D2
Device Information:	SA101EO310N2
Uptime:	5 minutes

Save

表 4-6-1 ボタンの説明

パラメータ	機能の説明
Device Name	デバイス名はカスタマイズできます。ビデオファイルのファイル名で見られます。
Product Model	カメラの製品モデル
Hardware Version	カメラのハードウェアバージョン
Software Version	カメラのソフトウェアバージョンはアップグレードすることができます。
MAC Address	メディアアクセス制御アドレス
Device Information	アラーム入出力、クリッパーチップなど、機器の情報
Alarm Input	アラーム入力インターフェースの数
Alarm Output	アラーム出力インターフェースの数
Uptime	最後にデバイスを再起動してからの経過時間

注意：

アラーム入力／アラーム出力は、カメラにアラーム入力／出力インターフェースがある場合にのみ表示されます。

4.7 メンテナンス

4.7.1 システムメンテナンス

ソフトウェアは次の手順でアップグレードできます。

ステップ 1： アップグレードファイルを探して選択します。

ステップ 2： ファイルのアップロードを促すメッセージが表示されたら、「Upgrade」ボタンをクリックします。システムが正常に再起動したら、アップデートは完了です。

注意：

アップデート中は装置の電源を切らないでください。アップグレードを完了するためにデバイスが再起動されます。

The screenshot shows a web interface with three main sections: System Upgrade, Maintenance, and Reboot. The System Upgrade section includes fields for Software Version (40.7.1.69-r2), Firmware File (with a Browse... button), and an Upgrade button with a checkbox for 'Reset after Upgrading'. A note below states: 'Note: Do not disconnect the power of the device during the upgrade.' The Maintenance section includes a Reset button with checkboxes for 'Keep the IP Configuration' and 'Keep the User information', an Export Config File button, a Config File field (with a Browse... button), and an Import Config File button. The Reboot section includes a Reboot the Device button with a Reboot button.

表 4-7-1 ボタンの説明



パラメータ	機能の説明
System Upgrade	Software Version : カメラのソフトウェアバージョン Firmware File : アップグレードに使用されるファームウェアを選択してください。 Reset after Upgrading : アップグレード後にカメラをリセットするには、このオプションにチェックを入れます。
Maintenance	Reset settings : 「リセット」ボタンをクリックしてカメラを工場出荷時の状態に戻します。 Keep the IP Configuration : カメラをリセットするときに IP 設定を保持するには、このオプションにチェックを入れます。 Keep the User information : カメラをリセットするときにユーザー情報を保持するには、このオプションにチェックを入れます。 Export Config File : このボタンをクリックして設定ファイルをエクスポートします。 Import Config File : このボタンをクリックして古い設定ファイルをインポートします。

Reboot

すぐにデバイスを再起動するには、「Reboot」ボタンをクリックしてください。

4.7.2 自動再起動

日付と時刻を設定して自動再起動(Auto Reboot)機能を有効にします。長時間撮影してカメラが過負荷になった場合、カスタマイズされた時間に従ってカメラは自動的に再起動します。

Auto Reboot Settings	
Enable Auto Reboot:	<input type="checkbox"/>
Day:	Everyday 
Time:	00:00:00 

[Save](#)



PTZ Network Camera

取扱説明書

PTZ Network Camera User Manual

1.02 版 : 2019/8

株式会社 **プロテック**

【本社】〒721-0973

広島県福山市南蔵王町 6-18-40

TEL : 084-943-6444 FAX : 084-943-6446

【東京営業所】〒105-0013

東京都港区浜松町 2-2-15-1106

TEL : 03-6435-7905 FAX : 03-6435-7908